

令和3年度

シラバス

学校法人 福岡医療学院

福岡医療専門学校

看護科

看護科 教育課程

令和3年度 入学生					1年次		2年次		3年次	
分野	教育内容	科目名	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
基礎分野	科学的思考の 基盤人間と生 活・社会の理 解	表現法	2	30	2	30				
		化学	1	30	1	30				
		生物学	1	30	1	30				
		統計学	1	30			1	30		
		情報科学	1	15	1	15				
		社会学	2	30	2	30				
		心理学	1	30	1	30				
		外国語Ⅰ	1	15	1	15				
		外国語Ⅱ	1	15			1	15		
		保健体育	1	30	1	30				
		家族論	1	15			1	15		
	小計	13	270	10	210	3	60			
専門基礎分野	人体の構造と 機能疾病の成 り立ちと回復 の促進	解剖生理学Ⅰ	1	30	1	30				
		解剖生理学Ⅱ	1	30	1	30				
		解剖生理学Ⅲ	1	30	1	30				
		解剖生理学Ⅳ	1	30	1	30				
		生化学	1	15	1	15				
		栄養学	1	15	1	15				
		微生物学	1	30	1	30				
		病理学	1	30	1	30				
		病態生理学Ⅰ	1	30	1	30				
		病態生理学Ⅱ	1	30	1	30				
		病態生理学Ⅲ	1	30	1	30				
		病態生理学Ⅳ	1	30	1	30				
		病態生理学Ⅴ	1	30		20	1	10		
		放射線医学	1	30			1	30		
	薬理学	1	30	1	30					
		小計	15	420	13	380	2	40		
	健康支援と社 会保障制度	公衆衛生学	1	30	1	30				
		社会福祉Ⅰ	1	15			1	15		
		社会福祉Ⅱ	1	15			1	15		
		関係法規	1	15			1	15		
保健医療論		1	15	1	15					
リハビリテーション論		1	30			1	30			
	小計	6	120	2	45	4	75			
専門分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅱ	1	15	1	15				
		基礎看護学Ⅲ※	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅳ	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅴ※	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅵ	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅶ	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅷ	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅸ	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅹ	1	30	1	30				
		基礎看護学Ⅺ※	1	30	1	30				
		小計	11	315	11	315				
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	45	1	45				
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90			2	90		
	小計	3	135	1	45	2	90			

看護科 教育課程

令和3年度 入学生					1年次		2年次		3年次	
分野	教育内容	科目名	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数	単位数	時間数
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護学Ⅰ	1	30	1	30				
		成人看護学Ⅱ	1	30			1	30		
		成人看護学Ⅲ	1	30			1	30		
		成人看護学Ⅳ※	1	30			1	30		
		成人看護学Ⅴ※	1	30			1	30		
		成人看護学Ⅵ	1	30			1	30		
		小計	6	180	1	30	5	150		
	老年看護学	老年看護学Ⅰ	1	30	1	30				
		老年看護学Ⅱ	1	30			1	30		
		老年看護学Ⅲ※	1	30			1	30		
		老年看護学Ⅳ※	1	15			1	15		
		小計	4	105	1	30	3	75		
	小児看護学	小児看護学Ⅰ	1	30	1	30				
		小児看護学Ⅱ	1	15			1	15		
		小児看護学Ⅲ	1	30			1	30		
		小児看護学Ⅳ	1	30			1	30		
		小計	4	105	1	30	3	75		
	母性看護学	母性看護学Ⅰ	1	30			1	30		
		母性看護学Ⅱ	1	15			1	15		
		母性看護学Ⅲ	1	30			1	30		
		母性看護学Ⅳ	1	30			1	30		
		小計	4	105			4	105		
	精神看護学	精神看護学Ⅰ※	1	30	1	30				
		精神看護学Ⅱ※	1	15			1	15		
		精神看護学Ⅲ※	1	30			1	30		
		精神看護学Ⅳ	1	30			1	30		
		小計	4	105	1	30	3	75		
臨地実習	成人看護学実習Ⅰ	2	90			2	90			
	成人看護学実習Ⅱ	2	90					2	90	
	成人看護学実習Ⅲ	2	90					2	90	
	老年看護学実習Ⅰ	2	90			2	90			
	老年看護学実習Ⅱ	2	90					2	90	
	小児看護学実習	2	90					2	90	
	母性看護学実習	2	90					2	90	
	精神看護学実習	2	90					2	90	
	小計	16	720			4	180	12	540	
統合分野	在宅看護論	在宅看護論Ⅰ※	1	30			1	30		
		在宅看護論Ⅱ	1	30			1	30		
		在宅看護論Ⅲ※	1	30			1	30		
		在宅看護論Ⅳ	1	15			1	15		
		小計	4	105			4	105		
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	1	30				24	1	6
		看護の統合と実践Ⅱ	1	30			1	30		
		看護の統合と実践Ⅲ	1	30					1	30
		看護の統合と実践Ⅳ	2	45					2	45
		小計	4	135			1	54	4	81
	臨地実習	在宅看護論実習	2	90					2	90
		統合実習	2	90					2	90
		小計	4	180					4	180
合計			99	3000	41	1115	38	1084	20	801

※実務経験のある教員による授業科目

養成人材像

多職種と連携しながら、さまざまな対象に対して看護を創造できる看護師を養成する。

DP（ディプロマポリシー）

1. 思いやる素直な心を持って他者の言葉を傾聴し、対象をひとりの人間としてかかわることができる。
2. 健康の保持増進、疾病の予防および健康の回復にかかわる知識と技術を身につけている。
3. 臨床判断能力を身につけ、多職種と連携しながら、対象に応じた看護が実践できる。
4. 自己の課題を明確にし、専門職業人として研さんし続ける能力を身につけている。

CP（カリキュラムポリシー）

1. 人間と社会の仕組みを幅広く理解し、科学的思考およびコミュニケーション力を高める能力を養う「基礎分野」の科目を設置する。
2. 人体を系統立てて理解し、健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できる能力を養う「専門基礎分野」の科目を設置する。
3. 身につけた専門的な知識・技術・態度を統合し、多職種と連携しながら、看護を展開できる能力を養う「専門分野」の科目を設置する。

教育課程の構造図

統合分野 在宅看護論，看護の統合と実践 在宅看護論実習，看護の統合と実践実習
専門分野Ⅱ 成人看護学，老年看護学，小児看護学，母性看護学，精神看護学 成人看護学実習，老年看護学実習，小児看護学実習，母性看護学実習，精神看護学実習
専門分野Ⅰ 基礎看護学，基礎看護学実習
専門基礎分野 解剖生理学，生化学，栄養学，微生物学，病理学，病態生理学，放射線医学，薬理学 公衆衛生学，社会福祉Ⅰ・Ⅱ，関係法規，保健医療論，リハビリテーション論
基礎分野 表現法，化学，生物学，統計学，情報科学，社会学，心理学，外国語Ⅰ・Ⅱ，保健体育，家族論

図1:教育課程の構造図

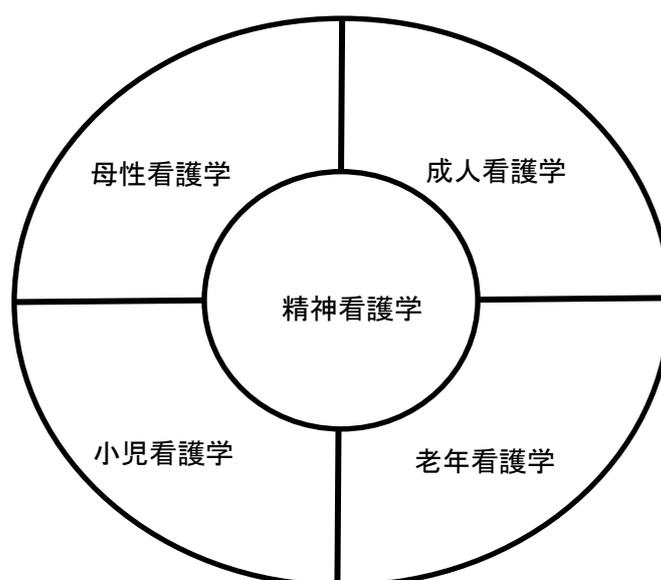


図2:専門分野Ⅱの断面図

基礎分野はすべての教育内容の土台となるため、一番下に位置づけた（図1）。専門基礎分野は基礎分野の上に構成される位置とした。それは基礎分野での考え方や知識が必要であると考えたからである。専門分野Ⅰは基礎看護学とし、基礎分野・専門基礎分野の知識が必要となるため、その上に構成される位置とした。専門分野Ⅱは成人看護学・老年看護学・小児看護学・母性看護学・精神看護学とした。これらの領域は、基礎分野から専門基礎分野、そして専門分野Ⅰの過程を経ての位置づけである。また、精神看護学とその他の領域には繋がりががあると捉え、精神看護学を中心とした（図2）。統合分野は、これまでの過程で獲得した知識・技術の経験を統合する必要がある、専門基礎分野から専門分野Ⅱまでの課程の上に構成される位置とした。カリキュラムデザイン（図3）では、3年間の単位取得の過程を示した。

基礎分野

13単位（270時間）

<ねらい>

- 科学的思考を高め、自由で自主的な判断と行動ができる能力を修得する。
- 国際化、情報化社会に対応しうる能力を修得する。
- 社会の構造と機能を基盤とし、人間と社会の関わりを修得する。
- ヒューマニティに富み、人間への幅広い理解ができる感性を修得する。
- 人生の意義、生命の質を模索し自己の確立の手立てとする。
- 生命の尊厳、畏敬の念を基本的態度とした人間尊重の本質を理解する。
- より良い人間関係を成立するためのコミュニケーション能力を修得する。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
科学的思考の基盤	表現法	2	30
	化学	1	30
	生物学	1	30
	統計学	1	30
	情報科学	1	15
人間と生活・ 社会の理解	社会学	2	30
	心理学	1	30
	外国語Ⅰ	1	15
	外国語Ⅱ	1	15
	保健体育	1	30
	家族論	1	15
合計		13	270

科目名	表現法							看護科	
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目 責任者	竹下 政雄			科目 担当者	竹下 政雄				
科目 概要	意図的コミュニケーションを理解し実践できる基礎的能力を修得する。またコミュニケーションを通じて、自己理解・他者理解を深め、ロールプレイを通して実践力を修得する。								
到達 目標	1. 目的と相手に応じた文書の書き方を理解し、作成できるようにする。 2. 人間関係を円滑にする会話の在り方についての知識を深め、意欲的に会話できるようにする。 3. 履歴書・レポート・論文作成に関する知識を確かにするとともに、履歴書・基礎的なレポート・論文を作成できるようにする。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	日本文化の源流	日本人の自然観，文字形成				講義	竹下		
2	手紙の作法，公文書の作成	手紙の基本様式，近況報告，返信用はがき				演習	竹下		
3	敬語(1)	敬語の種類，敬語の誤列				演習	竹下		
4	敬語(2)	電話のかけ方・受け方・メモの取り方				講義	竹下		
5	レポート作成(1)	レポート作成のための取材表作成				演習	竹下		
6	レポート作成(2)	レポート記述				演習	竹下		
7	履歴書の書き方(1)	自己アピール文の作成，履歴書記入上の留意点				演習	竹下		
8	履歴書の書き方(2)	履歴書記述				演習	竹下		
9	対話力(1)	見ること・あいさつから生じる対話力				講義	竹下		
10	対話力(2)	聴くことから生じる対話力，対話力のまとめ				講義	竹下		
11	医療面接(1)	医療面接の留意点，医療面接の実際				演習	竹下		
12	医療面接(2)	医療面接のまとめ				講義	竹下		
13	論文作成(1)	文章構成，目次作成				演習	竹下		
14	論文作成(2)	論文記述(1)				演習	竹下		
15	論文作成(3)	論文記述(2)				演習	竹下		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	60	-	40	-	-	-	100		
教科書	適宜資料を配布する。								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	水曜日午後								
履修上の 注意点	演習を多く行うため，積極的に参加し，必要な知識を身に付けること。								

科目名	化学							看護科	
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	駒井 友美			科目 担当者	駒井 友美				
科目 概要	代謝をはじめとする生命活動の多くは、化学反応によりもたらされる。この化学反応を薬剤などで制御すれば、生命活動の一部をコントロールすることができる。物質の組成・性質・物質間の概念について学び、様々な化学的变化を理解し、生命活動について新たな視点を修得し、科学的に思考できる能力を養う。								
到達 目標	1. 専門基礎分野を学ぶために必要な基礎的知識を理解できる。 2. 看護を学ぶ上で必要となる基礎的知識を理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	化学の単位と元素の周期表	量と単位, 元素の周期表				講義	駒井		
2	原子の構造と化学結合 (1)	原子の構造				講義	駒井		
3	原子の構造と化学結合 (2)	化学結合				講義	駒井		
4	物質の三態	物質の三態, 状態の変化				講義	駒井		
5	気体の性質	圧力と大気圧				講義	駒井		
6	液体・溶液の性質 (1)	溶液の濃度 (1)				講義	駒井		
7	液体・溶液の性質 (2)	溶液の濃度 (2)				講義	駒井		
8	化学反応 (1)	化学反応の基本的法則と種類 (1)				講義	駒井		
9	化学反応 (2)	化学反応の基本的法則と種類 (2)				講義	駒井		
10	化学平衡 (1)	化学平衡と平衡定数				講義	駒井		
11	化学平衡 (2)	酸と塩基				講義	駒井		
12	有機化学 (1)	有機化合物の基礎				講義	駒井		
13	有機化学 (2)	脂肪族炭化水素, 官能基と有機化合物				講義	駒井		
14	高分子化学 (1)	高分子化合物とは, 糖質 (炭水化物)				講義	駒井		
15	高分子化学 (2)	アミノ酸, ペプチド, タンパク質				講義	駒井		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	80	20	-	-	-	-	100		
教科書	奈良 雅之 系統看護学講座 基礎分野 化学 第7版 医学書院 ¥2,400+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	生物学							看護科	
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	大神 啓裕			科目 担当者	大神 啓裕				
科目 概要	看護を学ぶ上で必要となる生命の流れを軸とした知識の整理を行う。細胞生理・生体内の物質の流れ・からだの恒常性・遺伝等についての知識を修得し、科学的に思考できる能力を養う。								
到達 目標	1. 生物の特性である細胞の構造や機能について学び、基礎科学として生命現象の共通性や特異性を理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	生物学とは			生命観とその変遷、生命の特徴			講義	大神	
2	生命体のつくりとはたらき			細胞の構造、細胞の化学成分、細胞膜の輸送			講義	大神	
3	生体維持のエネルギー			生体内の化学反応、同化作用、異化作用			講義	大神	
4	細胞の増殖とからだのなりたち(1)			細胞分裂			講義	大神	
5	細胞の増殖とからだのなりたち(2)			細胞の分化とからだのなりたち			講義	大神	
6	生殖と発生(1)			生殖のしくみ、動物の受精と発生			講義	大神	
7	生殖と発生(2)			哺乳類の発生、植物の受精と発生			講義	大神	
8	遺伝情報の伝達と発現のしくみ(1)			遺伝の法則と染色体、DNAの複製 遺伝情報の伝達、タンパク質の合成			講義	大神	
9	遺伝情報の伝達と発現のしくみ(2)			変異、ヒトの遺伝、細胞の老化、 遺伝子組み換えの応用			講義	大神	
10	個体の調節			各器官系のはたらき、ホメオスタシス			講義	大神	
11	刺激の受容と行動(1)			生物の電気発生、環境の情報とその受け入れ			講義	大神	
12	刺激の受容と行動(2)			神経系の情報伝達、効果器のはたらき、行動			講義	大神	
13	生命の起源と進化			化学進化と生命の起源、進化のしくみ			講義	大神	
14	生物と環境のかかわり			生態系の経済、人口爆発、環境破壊			講義	大神	
15	地球環境とヒトの未来			バイオテクノロジーとヒトの生活、ヒトの未来			講義	大神	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	高畑雅一他 系統看護学講座 基礎分野 生物学 第10版 医学書院 ¥2,400+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	統計学						看護科		
学年	2年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	弟子丸 正伸				科目 担当者	弟子丸 正伸			
科目 概要	表計算ソフトを用いて統計学的計算法ができるための基礎的能力を修得する。また、統計学的視点を持ち、看護研究時に統計学的手法を用い、科学的に思考できる能力を養う。								
到達 目標	1. 統計学的視点を持ち、看護研究時に統計学的手法を理解できる。 2. 表計算ソフトを用いて、統計学的計算法ができる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	統計学とは	統計学とは、変数の種類、母集団の標本				講義	弟子丸		
2	記述統計(1)	図やグラフを画く				演習	弟子丸		
3	記述統計(2)	代表値、散布度、歪度と尖度、変動係数				演習	弟子丸		
4	Excel の使い方(1)	操作方法、コピーの仕方、表示係数の変え方				演習	弟子丸		
5	Excel の使い方(2)	合計を計算する、平均の求め方、分散の求め方				演習	弟子丸		
6	確率と分布(1)	確率とは何か、期待値				演習	弟子丸		
7	確率と分布(2)	独立な現象とは、条件付き確率、確率分布				演習	弟子丸		
8	正規分布とt分布を使った推定と検定(1)	推定、標本平均の確率分布、母平均の区間推定、信頼度と有意水準、正規分布表				演習	弟子丸		
9	正規分布とt分布を使った推定と検定(2)	t分布、t分布を使った母平均の推定検定、t分布を使った検定				演習	弟子丸		
10	分散に関する推定と検定(1)	χ^2 分布、母分散の推定				演習	弟子丸		
11	分散に関する推定と検定(2)	2つの分散の差の検定				演習	弟子丸		
12	相関	相関係数、相関係数の有意性の検定				演習	弟子丸		
13	回帰	関係を直線で表す、回帰直線の存在範囲				演習	弟子丸		
14	質的データの検定	2項検定、 χ^2 検定				演習	弟子丸		
15	質的データの検定	フィッシャーの直接法、適合度の検定				演習	弟子丸		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	60	20	20	-	-	-	100		
教科書	石井俊全 意味がわかる統計学 ベル出版 ¥2,000+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	木曜日午後								
履修上の 注意点	演習を多く行うため、積極的に参加し、必要な知識を身に付けること。								

科目名	情報科学							看護科	
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	江頭 雄校			担当 教員	江頭 雄校				
科目 概要	現代に必要な情報科学の基本を理解し、情報の適切な取り扱いができるための基礎的能力を修得する。また、情報処理するためのパソコン操作能力を身につけ、科学的に思考できる能力を養う。さらに、倫理観に基づいて情報管理ができる能力を修得する。								
到達 目標	1. 情報科学の基礎理論を学び、人間と情報社会との関係を理解できる。 2. 情報科学と看護との関連について理解できる。 3. 情報収集・蓄積・分析能力を身につけ、情報整理と活用の基礎が理解でき、情報倫理について考えることができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	医療と情報科学		情報技術とコンピュータ パソコンの基本操作 医療と情報システム 病院情報システム 看護と情報に関する倫理				講義 演習	江頭	
2	看護と情報科学(1)		看護情報学の基礎 看護実践における情報流通				講義	江頭	
3	看護と情報科学(2)		看護と情報科学基礎教育 看護研究と情報システム 地域看護と情報システム				演習	江頭	
4	情報科学各論(1)		表計算の概要				演習	江頭	
5	情報科学各論(2)		統計ソフトの演習				演習	江頭	
6	情報科学各論(3)		統計ソフトの演習				演習	江頭	
7	情報科学各論(4)		プレゼンテーションの演習				演習	江頭	
8	情報科学各論(5)		情報検索の演習				演習	江頭	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	中山和弘他 系統看護学講座 別巻 看護情報学 第2版 医学書院 ¥2,500+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義時間だけでは専門的な手技を取得できない場合もあるので、必要に応じて各自で演習を行うこと。								

科目名	社会学							看護科	
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	2単位
科目 責任者	岩崎 瑞枝			科目 担当者	岩崎 瑞枝				
科目 概要	医療と深くかかわる現代の死において、インフォームドコンセント、告知、痛み、最後の居場所など、われわれを取り巻く関心事を中心に、具体的な事例を多く活用しながら考えていく。また、人間と社会の仕組みを幅広く理解することによって、その人の死によってもたらされる家族の社会的、精神的な変容について理解する能力を修得する。								
到達 目標	1. 自分なりの死生観をもち、生命への関心を深める。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	保健医療と社会学(1)		日本人の死生観，死生学からのアプローチ) 「死」について(1)				講義	岩崎	
2	保健医療と社会学(2)		医療人類学など学際的アプローチ) 「死」について(2)				講義	岩崎	
3	保健医療と社会学(3)		歴史，意味，現在での状況 インフォームドコンセント，がん告知				講義	岩崎	
4	健康・病気行動と病経験(1)		末期がん(1)現状				講義	岩崎	
5	健康・病気行動と病経験(2)		末期がん(2)死へのプロセス				講義	岩崎	
6	健康・病気行動と病経験(3)		ホスピス(1)成り立ちと歴史				講義	岩崎	
7	健康・病気行動と病経験(4)		世界/日本緩和ケア病棟の現状，在宅ホスピス				講義	岩崎	
8	健康・病気行動と病経験(5)		子どもの「死」 病児と医療保育，親の死と子ども				講義	岩崎	
9	健康・病気行動と病経験(6)		グリーフ（悲嘆） グリーフとは，グリーフケアとは				講義	岩崎	
10	健康・病気行動と病経験(7)		グリーフケア，グリーフワーク				講義	岩崎	
11	健康・病気行動と病経験(8)		痛みについて，トータルペイン《全人的痛み》				講義	岩崎	
12	保健医療の現代的課題(1)		コミュニケーション How to Break Bad News 「悪い知らせの伝え方」				講義	岩崎	
13	保健医療の現代的課題(2)		SP(模擬患者) 活用模擬トレーニング				講義	岩崎	
14	保健医療の現代的課題(3)		患者の語り				講義	岩崎	
15	保健医療の現代的課題(4)		全体のまとめ				講義	岩崎	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	80	-	20	-	-	-	-	100	
教科書	適宜資料を配布する。								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	看護の対象と向き合うための基礎的な知識となるため，積極的に参加すること。								

科目名	心理学						看護科		
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	井上 哲雄				科目 担当者	井上 哲雄			
科目 概要	看護の対象は人間である。人間関係を円滑にし、看護を実践するためには、人間と人間をとりまく社会を幅広く理解することが重要である。人間関係の基盤となる人間理解を認知・行動・発達の側面から学び、社会的存在としての人間を理解する能力を修得する。								
到達 目標	1. 自分自身が自分の適性・性格・感情さらに心の動きなどを正しく理解し、自分を冷静に統制するための知識を学ぶことができる。 2. 患者の示す心理や不適応行動について正しく理解し、それに対応するために、人間の知覚・記憶・思考・知能・性格・感情・情緒・適応・発達などについての知識を学ぶことができる。 3. 人間関係や集団の心理について理解できる。								
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員	
1	心理学の問題	心理学の発展, 心理学の研究方法					講義	井上	
2	感覚と知覚	感覚・知覚の仕組みと働き					講義	井上	
3	記憶	記憶のメカニズム, 短期記憶, 作業記憶, 長期記憶					講義	井上	
4	思考, 言語, 知能	思考, 言語とコミュニケーション, 知能と知能検査					講義	井上	
5	学習(1)	古典的条件づけ, オペラント条件づけ, 社会的学習					講義	井上	
6	学習(2) 感情と動機づけ(1)	学習の工夫 感情の諸相, 感情のメカニズム					講義	井上	
7	感情と動機づけ(2)	動機づけとは, 動機づけの理論					講義	井上	
8	性格とパーソナリティ(1)	性格とは, 性格の理論					講義	井上	
9	性格とパーソナリティ(2) 社会と集団(1)	性格の測定(性格検査) 社会的認知, 態度と説得的コミュニケーション					講義	井上	
10	社会と集団(2)	対人関係と対人魅力, 集団とリーダーシップ					講義	井上	
11	発達(1)	発達とは, 乳幼児の発達, 児童, 青年の発達					演習	井上	
12	発達(2)	成人, 高齢者の発達, 発達障害					講義	井上	
13	心理臨床(1)	ストレスと適応, こころの問題(精神疾患, 不適応)					講義	井上	
14	心理臨床(2)	心理療法, カウンセリング					講義	井上	
15	医療, 看護と心理	対人援助, ケアする仕事とこころのケア, 患者の心理					講義	井上	
評価方法									
評価指標	中間試験	期末試験	小テスト	レポート	-	合計			
評価割合(%)	40	40	10	10	-	100			
教科書	山村 豊他 系統看護学講座 基礎分野 心理学 第6版 医学書院 ¥2,300+税。								
教材・参考図書	適宜プリントを配布する								
オフィスアワー	授業の前後								
履修上の 注意点	看護の対象と向き合うための基礎的な知識となるため, 積極的に参加すること。								

科目名	外国語 I							看護科	
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	金子 知恵			科目 担当者	金子 知恵				
科目 概要	社会の国際化に対応する能力を備えるためには、一般的にも医学的にも汎用されている英語を学習することは必要である。多様な文化的背景を持つ外国人患者に対し、状況に応じて適切な配慮ができ、国際化社会の中で看護実践として役立つコミュニケーションの基礎的対応能力を修得する。								
到達 目標	1. 基本的な英会話を習得し、看護に必要な医療英単語を身につける。 2. 看護場面における基本的な英会話を習得する。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	英会話の必要性			オリエンテーション			演習	金子	
2	Unit 1			Asking Basic Questions			演習	金子	
3	Unit 2			A Patient' s First Visit			演習	金子	
4	Unit 3			Where' s Internal Medicine?			演習	金子	
5	Unit 4			Admission to the Hostital			演習	金子	
6	Unit 5			Giving Infomataion			演習	金子	
7	Unit 6			Symptoms			演習	金子	
8	Review1-6						演習	金子	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	80	20	-	-	-	-	-	-	100
教科書	Speaking of Nursing ¥2,300+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	月曜日午前								
履修上の 注意点	英和辞書・和英辞書を各自持参すること。								

科目名	外国語Ⅱ							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	金子 知恵			科目 担当者	金子 知恵				
科目 概要	社会の国際化に対応する能力を備えるためには、一般的にも医学的にも汎用されている英語を学習することは必要である。多様な文化的背景を持つ外国人患者に対し、状況に応じて適切な配慮ができ、国際化社会の中で看護実践として役立つコミュニケーションの基礎的対応能力を修得する。								
到達 目標	1. 基本的な英会話を習得し、看護に必要な医療英単語を身につける。 2. 看護場面における基本的な英会話を習得する。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	Classroom English		オリエンテーション				演習	金子	
2	Unit 7		Injuries and Emergencies				演習	金子	
3	Unit 8		How Are You Feeling?				演習	金子	
4	Unit 9		A Patient's Medical History				演習	金子	
5	Unit 10		Medicine				演習	金子	
6	Unit 11		I'm Going to Give You an IV				演習	金子	
7	Unit 12		Congratulations! You're Having a Baby Girl				演習	金子	
8	Review7-12						演習	金子	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	80	20	-	-	-	-	-	-	100
教科書	Speaking of Nursing ¥2,300+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	月曜日午前								
履修上の 注意点	英和辞書・和英辞書を各自持参すること。								

科目名	保健体育						看護科		
学年	1年	学期	前期	分野	基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	田中 七郎			科目 担当者	田中 七郎, 平山 葉月				
科目 概要	看護は健康障害時の援助のみでなく、自らの心身の健康保持増進も重要である。さらに、健康を育む専門職として、人々のQOLを高めるための健康づくりや運動実践の支援をしていく必要もあると考えられる。実技形態を伴う活動において、自己の健康意識を高め、他者との関わりを通じた仲間づくりやコミュニケーション、および運動の実践を行い、礼節や協調性を育めるよう進めていく。								
到達 目標	1. 自らの体力の向上と把握に努め、健康管理と安全教育の徹底を行うと共に、自主自立と協調性の精神を養う。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	オリエンテーション		授業概要説明等				講義	田中・平山	
2	体力づくり(1)		生活に必要な基礎体力づくり(1)				実技	田中・平山	
3	体力づくり(2)		生活に必要な基礎体力づくり(2)				実技	田中・平山	
4	アイスブレイクの理解と生涯スポーツ(1)		アイスブレイクの実践と生涯スポーツ実践(1)				実技	田中・平山	
5	アイスブレイクの理解と生涯スポーツ(1)		アイスブレイクの実践と生涯スポーツ実践(1)				実技	田中・平山	
6	体操の実践(1)		ラジオ体操1～13 グループ課題練習(1)				実技	田中・平山	
7	体操の実践(2)		ラジオ体操1～13 グループ課題練習(2)				実技	田中・平山	
8	体操の実践(3)		ラジオ体操1～13 グループ課題練習(3)				実技	田中・平山	
9	レクリエーションバレー(1)		チーム作りとゲーム(1)				実技	田中・平山	
10	レクリエーションバレー(2)		チーム作りとゲーム(2)				実技	田中・平山	
11	レクリエーションバレー(3)		チーム作りとゲーム(3)				実技	田中・平山	
12	障害者スポーツの実践		シッティングバレー				実技	田中・平山	
13	各種ストレッチングとマット運動(1)		スタティックストレッチ, マット運動(1)				実技	田中・平山	
14	各種ストレッチングとマット運動(2)		スタティックストレッチ, マット運動(2)				実技	田中・平山	
15	各種ストレッチングとマット運動(3)		スタティックストレッチ, マット運動(3)				実技	田中・平山	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	50	50	-	-	-	-	-	100	
教科書	必要時に資料を配布する。								
教材・参考図書	講義時に適宜確認すること。								
オフィスアワー	授業時間に確認すること								
履修上の 注意点	基礎体力・精神力の向上のため、積極的に取り組むこと。								

科目名	家族論							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	岩崎 瑞枝			科目 担当者	岩崎 瑞枝				
科目 概要	ある家族成員に生じた健康問題は、当の患者の身体的・心理的・社会的な各領域に影響を及ぼすばかりでなく、家族全体にも大きく影響を及ぼす。そのため、人間と社会の仕組みや現代の家族の特徴を理解し、家族病理に関連する夫婦関係、親子関係についての知識を修得する。								
到達 目標	1. 人間生活の基盤としての家族及び家族関係を理解できる。 2. 現代家族が直面する諸問題を考察し、理解を深め、家族ケアの進め方が理解できる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	家族と家族関係		家族とは何か(家族へのアプローチの必要性)				講義	岩崎	
2	家族と家族関係		家族の変化				講義	岩崎	
3	家族と家族関係		ジェンダー論と家族関係				講義	岩崎	
4	家族と家族関係		現代の親子関係(若者の自立, パラサイトシングル)				講義	岩崎	
5	家族と家族関係		現代の結婚(未婚化と晩婚化の社会背景)				講義	岩崎	
6	家族と家族関係		現代の夫婦関係				講義	岩崎	
7	家族と家族関係		子育てと親子関係(母性から親性へ)				講義	岩崎	
8	家族支援のアプローチ		事例から家族関係を考える				講義	岩崎	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	-	-	100	-	-	-	-	100	
教科書	適宜資料を配布する。								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	金曜日午前								
履修上の 注意点	看護の対象と向き合うための基礎的な知識となるため、積極的に参加すること。								

専 門 基 礎 分 野

21単位（540時間）

<ねらい>

- 人体を系統立てて構造と機能を理解し人間の持つ能力を知る。
- 医療の発展と課題を学び看護の役割について考える。
- 疾病の成り立ちを学び健康維持・回復の促進に関する観察する力, 判断する力を身につけていく。
- 人間の生活を取り巻く環境と生活習慣を整えるための基礎能力を学ぶ。
- 人々が自らより良い生活を営むための生活資源の活用に関して支援する基礎的能力を学ぶ。
- 地域における関係諸機関との連携を理解する。
- 看護師としての倫理的判断に則った態度の遵守について理解する。

<構 成>

教育内容	科 目	単 位	時間数
人体の構造と機能 疾病の成り立ちと 回復の促進	解剖生理学Ⅰ	1	30
	解剖生理学Ⅱ	1	30
	解剖生理学Ⅲ	1	30
	解剖生理学Ⅳ	1	30
	生化学	1	15
	栄養学	1	15
	微生物学	1	30
	病理学	1	30
	病態生理学Ⅰ	1	30
	病態生理学Ⅱ	1	30
	病態生理学Ⅲ	1	30
	病態生理学Ⅳ	1	30
	病態生理学Ⅴ	1	30
	放射線医学	1	30
薬理学	1	30	
健康支援と社会保 障制度	公衆衛生学	1	30
	社会福祉Ⅰ	1	15
	社会福祉Ⅱ	1	15
	関係法規	1	15
	保健医療論	1	15
	リハビリテーション論	1	30
	合 計		21

科目名	解剖生理学 I						看護科		
学年	1年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	長門 俊一			科目 担当者	長門 俊一				
科目 概要	解剖生理学 I では、特に遺伝子や細胞レベルの理解から、皮膚組織、体温調節、消化機能に関する内容を学習する。これらの学習により、遺伝子治療に関する内容が理解できるようになるとともに、日常生活を維持していくためのエネルギー源、人体を構築する栄養素の消化吸収メカニズムを正しく理解する能力を修得し、看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 細胞や遺伝子、各組織の構造・機能についての内容を説明することができる。 2. 皮膚組織やそれに付随する器官、体温調節について説明することができる。 3. 消化について、食物の摂取、栄養素の吸収、代謝産物の排泄機能を説明することができる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	解剖学、生理学とは 解剖学的用語			解剖学、生理学についての概要を学ぶ。 解剖・生理学に使用される言葉を理解する。			講義	長門	
2	ホメオスタシス フィードバック機構			ホメオスタシスと内部環境を理解する。 フィードバックについて理解する。			講義	長門	
3	細胞 (1)			細胞を構成する器官について理解する。			講義	長門	
4	細胞 (2)			細胞の機能について理解する。			講義	長門	
5	人体を構成する 4 種の組織			人体を構成する組織について理解する。			講義	長門	
6	体内の膜			漿膜や粘膜など体内の膜について理解する。			講義	長門	
7	皮 膚			皮膚の構造や付属器官について理解する。			講義	長門	
8	体熱産生と体温			体温調節機構について理解する。			講義	長門	
9	食欲・咀嚼			食欲の発生、咀嚼機能について理解する。			講義	長門	
10	嚥 下			嚥下の機能について理解する。			講義	長門	
11	消 化 (1)			胃、小腸、肝臓の機能や構造を理解する。			講義	長門	
12	消 化 (2)			胆嚢、膵臓の消化機能を理解する。			講義	長門	
13	吸 収			栄養素の吸収形態、輸送について理解する。			講義	長門	
14	排 泄			大腸の構造と排泄機能について理解する。			講義	長門	
15	消化系の成長と老化			消化系の加齢的变化を理解する。			講義	長門	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	80	10	10	-	-	-	-	-	100
教科書	林正健二他 ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能①解剖生理学 第4版 メディカ出版 ¥4,800+税								
教材・参考図書	その都度指定する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	人体についての基礎知識であり、薬理学、病理学、内科学などを理解する上で必須のものであるため、授業で分からなかったことは、理解できるまで必ず調べ、考え、質問し、解決する癖を身につけること。								

科目名	解剖生理学Ⅱ						看護科		
学年	1年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	松野 健二郎			科目 担当者	松野 健二郎				
科目 概要	解剖生理学Ⅱでは、血液、循環器、呼吸器について学習する。さらに、血液・循環器系に密接に関係している免疫の機能について学習する。これらの学習を通じて、酸素、栄養素の運搬をはじめ、止血や免疫などの生体防御機構を正しく理解する能力を修得し、看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 血液の組成や機能について説明することができる。 2. 循環器系の機能や役割について説明することができる。 3. 呼吸器系の機能や役割について説明することができる。 4. 免疫系の細胞の種類、それらの機能や役割について説明することができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	血液の機能と成分 血球とその機能		血液の基本的な構成成分を理解する。 血球の種類とそれぞれの役割を理解する。				講義	松野	
2	血液型と輸血 血液の発生		血液型を理解し輸血で考慮する点を理解する。 造血機能の年齢的变化を理解する。				講義	松野	
3	心 臓		心臓の構造や機能について理解する。				講義	松野	
4	血管と循環（1）		血管の形態や名称などを理解する。				講義	松野	
5	血管と循環（2）		血管の機能や血圧調節機構について理解する。				講義	松野	
6	心臓、血管の成長と老化 リンパ系		心臓・血管の加齢的变化を理解する。 リンパ系器官とその働きを理解する。				講義	松野	
7	呼吸器系の構造と機能		呼吸器系の構造について理解する。				講義	松野	
8	呼吸のプロセス（1）		ガス交換のメカニズムを理解する。				講義	松野	
9	呼吸のプロセス（1）		ガスの運搬システムなどを理解する。				講義	松野	
10	呼吸の調節 呼吸器系の成長と老化		化学受容器と呼吸中枢の関係、および呼吸器系の加齢的变化を理解する。				講義	松野	
11	免疫系の大まかなしくみ 獲得免疫のしくみ（1）		免疫系の大まかなしくみと、抗原抗体反応、自己寛容、免疫記憶などを理解する。				講義	松野	
12	獲得免疫のしくみ（2）		抗体の構造、細胞性免疫について理解する。				講義	松野	
13	自然免疫のしくみと獲得免疫との関連		自然免疫の働きと、獲得免疫との関連について理解する。				講義	松野	
14	免疫と感染症		感染症に対する免疫機能の働きを理解する。				講義	松野	
15	アレルギーと自己免疫疾患		アレルギー発症機構について理解する。				講義	松野	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	80	10	10	-	-	-	-	-	100
教科書	林正健二他 ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能①解剖生理学 第4版 メディカ出版 ¥4,800+税								
教材・参考図書	その都度指定する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	人体についての基礎知識であり、薬理学、病理学、内科学などを理解する上で必須のものであるため、授業で分からなかったことは、理解できるまで必ず調べ、考え、質問し、解決する癖を身につけること。								

科目名	解剖生理学Ⅲ							看護科	
学年	1年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	加藤 健一			科目 担当者	加藤 健一				
科目 概要	解剖生理学Ⅲでは、特に内分泌や神経・感覚系について学習する。人体の種々の機能は内分泌系や神経系により調節されている。外部からの刺激に対する応答や身体行動がどのようなメカニズムで調節、発現されているかを正しく理解する能力を修得し、看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 内分泌系について、ホルモンの分泌メカニズムやその作用を説明することができる。 2. 神経系について、神経の種類やその機能について説明することができる。 3. 感覚器について、種々の感覚刺激を受容する機能を説明することができる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	内分泌系とホルモン 脳にあるホルモン分泌器官	ホルモンの基礎的な内容を理解する。 脳にあるホルモン分泌器官について理解する。				講義	加藤		
2	甲状腺、上皮小体、膵臓	甲状腺、上皮小体、膵臓のホルモンを理解する。				講義	加藤		
3	副腎、性腺	副腎、性腺のホルモンについて理解する。				講義	加藤		
4	古典的の内分泌器官以外のホル モン分泌器官	消化管ホルモンやその他の新しく発見された ホルモンなどについて理解する。				講義	加藤		
5	内分泌系の成長と老化	内分泌系の加齢的变化を理解する。				講義	加藤		
6	神経系の分類	神経の種類と分類の仕方を理解する。				講義	加藤		
7	神経組織の構造と機能	神経組織の構造と機能を理解する。				講義	加藤		
8	中枢神経系（1）	大脳、間脳、脳幹、小脳について理解する。				講義	加藤		
9	中枢神経系（2）	脊髄、中枢保護機能、伝導路を理解する。				講義	加藤		
10	末梢神経系（1）	末梢神経の基礎を理解する。				講義	加藤		
11	末梢神経系（2）、生体のリズム	自律神経、体性神経とそれらの生体リズム調節 メカニズムを理解する。				講義	加藤		
12	感覚の特徴、視覚	感覚の特徴、視覚について理解する。				講義	加藤		
13	聴覚と平衡覚、化学的感覚	聴覚、平衡覚、化学的感覚を理解する。				講義	加藤		
14	体性感覚、内臓感覚	体性感覚と内臓感覚を理解する。				講義	加藤		
15	感覚系の成長と老化	感覚系の加齢的变化を理解する。				講義	加藤		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	80	10	10	-	-	-	100		
教科書	林正健二他 ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能①解剖生理学 第4版 メディカ出版 ¥4,800+税								
教材・参考図書	その都度指定する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	人体についての基礎知識であり、薬理学、病理学、内科学などを理解する上で必須のものであるため、授業で分からなかったことは、理解できるまで必ず調べ、考え、質問し、解決する癖を身につけること。								

科目名	解剖生理学Ⅳ							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	松野 健二郎			科目 担当者	松野 健二郎				
科目 概要	解剖生理学Ⅳでは、特に泌尿器、生殖器、骨格、筋系の内容を学習する。これにより、排尿のメカニズムや生殖機能について理解を深める。また、人体を支え、動かす、骨や筋の働きについて、その構造やメカニズムを正しく理解する能力を修得し、看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 尿の生成、排尿について説明することができる。 2. 生殖器官の構造や機能を説明することができる。 3. 骨の構造や機能、名称を説明することができる。 4. 筋の構造や機能、名称を説明することができる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	腎臓（1）			腎臓の構造や機能を理解する。			講義	松野	
2	腎臓（2）			尿の生成、血液成分の調節機能を理解する。			講義	松野	
3	尿管、膀胱、尿道			尿管、膀胱、尿道の構造や機能を理解する。			講義	松野	
4	排尿の生理 泌尿器系の成長と老化			排尿の生理的メカニズムと、泌尿器系の加齢的変化を理解する。			講義	松野	
5	女性生殖器			女性生殖器について理解する。			講義	松野	
6	男性生殖器			男性生殖器について理解する。			講義	松野	
7	骨と骨格			骨の構造や骨格について理解する。			講義	松野	
8	頭蓋・体幹・体肢の骨格			頭蓋・体幹・体肢の骨格について理解する。			講義	松野	
9	関節の構造と種類 骨格系の成長と老化			関節の構造と種類について理解する。 骨格系の加齢的変化を理解する。			講義	松野	
10	筋の種類			筋の種類について理解する。			講義	松野	
11	筋の機能（1）			筋収縮のメカニズムなどについて理解する。			講義	松野	
12	筋の機能（2）			筋収縮の種類、反射について理解する。			講義	松野	
13	身体の運動と骨格筋			身体の運動と骨格筋の働きを理解する。			講義	松野	
14	骨格筋の解剖生理			骨格筋の各部位での働きや名称を理解する。			講義	松野	
15	筋系の成長と老化			筋系の加齢的変化を理解する。			講義	松野	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合（%）	80	10	10	-	-	-	-	100	
教科書	林正健二他 ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能①解剖生理学 第4版 メディカ出版 ¥4,800+税								
教材・参考図書	その都度指定する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00～18:00								
履修上の 注意点	人体についての基礎知識であり、薬理学、病理学、内科学などを理解する上で必須のものであるため、授業で分からなかったことは、理解できるまで必ず調べ、考え、質問し、解決する癖を身につけること。								

科目名	生化学							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	弟子丸 正伸			科目 担当者	弟子丸 正伸				
科目 概要	<p>生体を成り立たせる化合物は何か、また生体の恒常性はどのように維持されているのかということを知り、科学的思考により、生体の正常なしくみ・機能の破綻した状態である病気を正しく理解する能力を修得し、看護の実践性を滋養できる能力を養う。</p>								
到達 目標	<p>1. 生体内で行われている代謝について理解できる。 2. 体内の遺伝情報について理解できる。</p>								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	代謝, 酵素, ビタミン補酵素		代謝とは, 酵素に関する基礎知識 ビタミン補酵素とは				講義	弟子丸	
2	糖質代謝		糖質代謝, グルコースの分解, 糖代謝 ペントースリン代謝, ガラクトース等の代謝				講義	弟子丸	
3	脂質代謝		脂質の消化と吸収, 脂肪酸の分解 ケトン体の産生と利用, トリグリセリドの生合成 コレステロールの生合成と利用				講義	弟子丸	
4	たんぱく質代謝		たんぱく質代謝, たんぱく質の消化と吸収 α -ケト酸を経由するアミノ酸の利用 アミノ酸の合成				講義	弟子丸	
5	核酸代謝, ポルフィリン代謝		核酸の合成と分解, ヘムの合成・分解 ビリルビンの代謝				講義	弟子丸	
6	代謝の異常		骨粗鬆症, 糖尿病, 脂質異常症 抗尿酸血症・痛風				講義	弟子丸	
7	遺伝情報(1)		遺伝情報とは				講義	弟子丸	
8	遺伝情報(2)		複製・転写・翻訳 DNAの損傷と修復				講義	弟子丸	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	100		
教科書	宮澤恵二 ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能②臨床生化学 第5版 ¥2,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	金曜日午前								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	栄養学							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	白石 美恵			科目 担当者	白石 美恵				
科目 概要	生体内の物質代謝の流れの変化を科学的に解析できる能力を修得する。人間の体を構成し、疾病に抵抗する力は食べ物に含まれる成分（栄養）などの働きによって養われていることを理解する能力を修得し、看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 栄養状態の評価・判定が理解でき、実際に活用できる。 2. 各発達段階に応じた栄養マネジメントができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	人間栄養学と看護		栄養の概念, 食事摂取基準, バランスガイド 栄養素と食品				講義	白石	
2	消化吸収について 栄養素の種類とはたらき(1)		糖質, たんぱく質 消化管(三大栄養素) 消化酵素				講義	白石	
3	消化吸収について 栄養素の種類とはたらき(2)		脂質の種類 ビタミン・ミネラルの種類と機能, 欠乏症				講義	白石	
4	消化吸収について 栄養素の種類とはたらき(3)		各栄養素の詳細, 欠乏症 料理の際の注意点 エネルギー代謝				講義	白石	
5	ライフステージと栄養 臨床栄養(1)		乳児期・幼児期・学童期・思春期・青年期・妊娠期・ 授乳期における栄養				講義	白石	
6	ライフステージと栄養 臨床栄養(2)		成人期・更年期・高齢期における栄養				講義	白石	
7	食事療法(1)		病院食, 疾患別食事療法の実際 栄養補給法, 人間の食事と食文化				講義	白石	
8	食事療法(2)		食品と食品群, 食生活の変遷と栄養の問題点 生活習慣病の予防, 食生活指針と健康日本 21				講義	白石	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	-	合計	
評価割合(%)	80	-	20	-	-	-	100		
教科書	關戸啓子 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち④臨床栄養学 第5版 ¥2,800+税 新しい食生活を考える会 新ビジュアル食品成分表 改訂版 大修館書店 ¥1,050+税 日本糖尿病学会 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂 ¥900+税 足立香代子他 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 ¥1,800+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日午前								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	微生物学							看護科		
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位	
科目 責任者	上西 秀則				科目 担当者	上西 秀則				
科目 概要	看護の対象である人々の健康を脅かす問題という視点で、感染症の原因となる微生物・医動物の特徴、それぞれの微生物・医動物によって引き起こされる感染症の病態・治療・検査について学ぶ。また、医療従事者として感染・発症を予防するための感染予防の基本的能力を修得し、看護の実践性を滋養できる能力を養う。									
到達 目標	1. 微生物の基礎を学び、看護に活かすことができる。 2. 感染と防御について理解できる。 3. 主な病原微生物について理解できる。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	微生物学総論①				微生物・医動物とは			講義	上西	
2	微生物学総論②				感染症の分類と感染防御機構感染・発症予防			講義	上西	
3	微生物学総論③				感染・発症予防			講義	上西	
4	微生物学総論④				感染症の検査・治療			講義	上西	
5	宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体①				呼吸器感染症，結核			講義	上西	
6	宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体②				消化器系感染症，肝炎，			講義	上西	
7	宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体③				尿路感染症，性感染症，			講義	上西	
8	宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体④				皮膚・粘膜の感染症，発疹が出現するウイルス感染症とリケッチア感染症，			講義	上西	
9	宿主の臓器・組織別にみる感染症と病原体⑤				脳・神経系感染症			講義	上西	
10	主の因子が影響する感染症と病原体①				人獣共通感染症，寄生虫感染症			講義	上西	
11	主の因子が影響する感染症と病原体②				小児の感染症，母子感染，高齢者の感染症			講義	上西	
12	主の因子が影響する感染症と病原体③				日和見感染症，移植患者と感染症			講義	上西	
13	主の因子が影響する感染症と病原体④				手術創・外傷と感染症			講義	上西	
14	主の因子が影響する感染症と病原体⑤				血管内カテーテル関連血流感染症			講義	上西	
15	主の因子が影響する感染症と病原体⑥				薬剤耐性菌患			講義	上西	
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	80	10	10	-	-	-	-	100		
教科書	矢野久子他 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち③ 臨床微生物・医動物 第3版 メディカ出版 ¥3,200+税									
教材・参考図書	適宜紹介する。									
オフィスアワー	火曜日 14:00～18:00									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。									

科目名	病理学						看護科		
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	本田 武司			科目 担当者	本田 武司				
科目 概要	健康から疾患に至るまでに起こる変化のプロセスについて学ぶ。臨床医学全般についての病理・病態的変化の発生機序を学び、科学的思考に基づき、護実践の基礎になる能力を修得する。								
到達 目標	1. 人体の構造と機能において、正常から逸脱する場合の現象を理解できる。 2. 重要な症状・徴候の原因と対応の原則が理解できる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	看護と病理学		看護と病理学, 病気の原因, 疾病分類				講義	本田	
2	先天異常と遺伝子異常(1)		先天異常とは, 遺伝子異常, 遺伝性疾患				講義	本田	
3	先天異常と遺伝子異常(2)		先天異常・遺伝性疾患の診断				講義	本田	
4	代謝性障害(1)		細胞の損傷と適応, 物質沈着, 脂質代謝障害と疾患				講義	本田	
5	代謝性障害(2)		たんぱく質・糖質代謝障害と疾患				講義	本田	
6	循環障害(1)		循環器系の概要				講義	本田	
7	循環障害(2)		局所性の循環障害, 全身性の循環障害				講義	本田	
8	炎症と免疫, 膠原病(1)		炎症, 炎症の各型, 免疫				講義	本田	
9	炎症と免疫, 膠原病(2)		アレルギーと自己免疫疾患, 膠原病				講義	本田	
10	感染症(1)		病原体と感染症, 宿主の防御機構				講義	本田	
11	感染症(2)		感染症の治療, 感染症の予防				講義	本田	
12	腫瘍(1)		腫瘍の定義と分類, 腫瘍の発生病理				講義	本田	
13	腫瘍(2)		悪性腫瘍の転移と進行度, 腫瘍の診断と治療				講義	本田	
14	老化と死(1)		細胞の老化と個体の老化				講義	本田	
15	老化と死(2)		加齢に伴う諸臓器の変化, 個体の死				講義	本田	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	80	10	10	-	-	-	100		
教科書	山内豊明他 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち ①病態生理学 第4版 メディカ出版 ¥3,600+税 林正健二他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護⑦ 疾病と治療② 第3版 メディカ出版 ¥3,400+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	病態生理学 I							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	宇田津 明彦			科目 担当者	宇田津 明彦				
科目 概要	各系統別の疾患と発生機序, 主な疾患の診断・検査・治療・予後について理解し, 科学的根拠に基づいた看護を展開する能力を修得し, 看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 主な循環器疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 2. 主な呼吸器疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	循環器の機能と疾患(1)			循環器の構造と機能 心不全			講義	宇田津	
2	循環器の機能と疾患(2)			血圧異常			講義	宇田津	
3	循環器の機能と疾患(3)			アテローム性動脈硬化症			講義	宇田津	
4	循環器の機能と疾患(4)			狭心症			講義	宇田津	
5	循環器の機能と疾患(5)			心筋梗塞			講義	宇田津	
6	循環器の機能と疾患(6)			刺激伝導系の障害			講義	宇田津	
7	循環器の機能と疾患(7)			弁機能の障害, 先天性の心臓の形態異常			講義	宇田津	
8	循環器の機能と疾患(8)			心筋障害, 心膜の異常, 血管の器質異常			講義	宇田津	
9	呼吸器の機能と疾患(1)			呼吸器の構造と機能, 呼吸不全			講義	宇田津	
10	呼吸器の機能と疾患(2)			酸素化障害, 換気障害			講義	宇田津	
11	呼吸器の機能と疾患(3)			肺循環障害			講義	宇田津	
12	呼吸器の機能と疾患(4)			呼吸器感染症			講義	宇田津	
13	呼吸器の機能と疾患(5)			肺がん			講義	宇田津	
14	呼吸器の機能と疾患(6)			免疫・アレルギー性肺疾患			講義	宇田津	
15	呼吸器の機能と疾患(7)			胸膜・縦隔疾患, その他の肺疾患			講義	宇田津	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	讃井将光他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護①呼吸器 第1版 メディカ出版 ¥2,400+税 野原隆司他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護②循環器 第1版 メディカ出版 ¥2,700+税								
教材・参考図書	山内豊明他 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち ①病態生理学 第4版 メディカ出版 佐伯由香他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ①呼吸機能障害/循環機能障害 第3版 メディカ出版 林正健二他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑦疾病と治療 第3版 メディカ出版								
オフィスアワー	水曜日午前								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	病態生理学Ⅱ						看護科		
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	梶岡 俊一			科目 担当者	宮城 靖, 梶岡 俊一, 合馬 慎二, 工藤 美樹				
科目 概要	各系統別の疾患と発生機序, 主な疾患の診断・検査・治療・予後について理解し, 科学的根拠に基づいた看護を展開する能力を修得し, 看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 主な脳・神経系疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 2. 主な腎・泌尿器疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 3. 主な生殖器疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	脳・神経機能と疾患(1)	脳梗塞, 脳出血				講義	宮城		
2	脳・神経機能と疾患(2)	くも膜下出血, 脳動脈奇形, もやもや病				講義	宮城		
3	脳・神経機能と疾患(3)	脳腫瘍				講義	宮城		
4	脳・神経機能と疾患(4)	頭部外傷, 水頭症				講義	宮城		
5	脳・神経機能と疾患(5)	感染性疾患, 脊椎・脊髄疾患				講義	合馬		
6	脳・神経機能と疾患(6)	神経変性疾患・不随意運動症				講義	合馬		
7	脳・神経機能と疾患(7)	認知症				講義	合馬		
8	脳・神経機能と疾患(8)	末梢神経疾患, 随意性疾患				講義	合馬		
9	脳・神経機能と疾患(9)	筋疾患, てんかん				講義	合馬		
10	腎機能と疾患(1)	腎臓の構造と機能, 腎不全				講義	梶岡		
11	腎機能と疾患(2)	原発性糸球体疾患,				講義	梶岡		
12	腎機能と疾患(3)	腎血管疾患, 尿管・間質性疾患, 全身性疾患に伴う腎障害, 嚢胞性腎疾患				講義	梶岡		
13	泌尿器機能と疾患(1)	男性生殖器の異常				講義	梶岡		
14	女性生殖器機能と疾患(1)	女性生殖器の構造と機能, 女性生殖器の診察・ 検査・治療・処置, 性器炎症・性感染症				講義	工藤		
15	女性生殖器機能と疾患(2)	子宮, 卵巣・卵管, 乳房の疾患				講義	工藤		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	100		
教科書	永廣信治他	ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑤脳・神経 第1版 メディカ出版 ¥2,700+税							
	繪本正憲他	ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 第1版 メディカ出版 ¥3,900+税							
	苛原稔他	ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑨女性生殖器 第1版 メディカ出版 ¥2,600+税							
教材・参考図書	山内豊明他	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち ①病態生理学 第4版 メディカ出版							
	林正健二他	ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ④脳・神経機能障害/感覚機能障害 第3版 メディカ出版							
	林正健二他	ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑥内部環境調節機能障害/性・生殖機能障害 第4版 メディカ出版							
	林正健二他	ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑦疾病と治療 第3版 メディカ出版							
オフィスアワー	各担当講師の講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	病態生理学Ⅲ							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	宇田津 明彦			科目 担当者	宇田津 明彦				
科目 概要	各系統別の疾患と発生機序, 主な疾患の診断・検査・治療・予後について理解し, 科学的根拠に基づいた看護を展開する能力を修得し, 看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 主な消化管疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 2. 主なアレルギー疾患, 膠原病の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 3. 主な皮膚疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。								
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員	
1	消化管の機能と疾患(1)	消化器の構造と機能. 食道の疾患					講義	宇田津	
2	消化管の機能と疾患(2)	胃・十二指腸疾患					講義	宇田津	
3	消化管の機能と疾患(3)	小腸・大腸疾患(1)					講義	宇田津	
4	消化管の機能と疾患(4)	小腸・大腸疾患(2)					講義	宇田津	
5	消化管の機能と疾患(5)	小腸・大腸疾患(3)					講義	宇田津	
6	消化管の機能と疾患(6)	肛門疾患					講義	宇田津	
7	消化管の機能と疾患(7)	肝炎ウイルス, 急性肝炎, 劇症肝炎, 慢性肝炎					講義	宇田津	
8	消化管の機能と疾患(8)	肝硬変, 門脈圧亢進症					講義	宇田津	
9	消化管の機能と疾患(9)	肝不全, 肝臓がん					講義	宇田津	
10	消化管の機能と疾患(10)	胆石症, 急性胆嚢炎, 胆管炎, 胆管がん					講義	宇田津	
11	消化管の機能と疾患(11)	膵臓炎, すい臓がん, 急性腹症					講義	宇田津	
12	免疫不全と免疫疾患(1)	免疫不全, アレルギー反応による障害					講義	宇田津	
13	免疫不全と免疫疾患(2)	自己免疫疾患					講義	宇田津	
14	皮膚の機能と皮膚疾患(1)	表在性皮膚疾患, 真皮・皮下脂肪組織の疾患					講義	宇田津	
15	皮膚の機能と皮膚疾患(2)	血行障害, 褥瘡, 腫瘍および色素異常症, 感染症					講義	宇田津	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	三原弘他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護③消化器 第1版 メディカ出版 ¥2,900+税 薊隆文他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症 第1版 メディカ出版 ¥3,800+税 永井由巳他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚 第1版 メディカ出版 ¥3,800+税								
教材・参考図書	山内豊明他 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち ①病態生理学 第4版 メディカ出版 矢野久子他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ③造血機能障害/免疫機能障害 第3版 メディカ出版 林正健二他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ④脳・神経機能障害/感覚機能障害 第3版 メディカ出版 林正健二他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑦疾病と治療 第3版 メディカ出版								
オフィスアワー	水曜日午後								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	病態生理学Ⅳ						看護科		
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	片伯部 裕次郎			科目 担当者	片伯部 裕次郎, 田邊 真紀人, 宇田津 明彦				
科目 概要	各系統別の疾患と発生機序, 主な疾患の診断・検査・治療・予後について理解し, 科学的根拠に基づいた看護を展開する能力を修得し, 看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 主な血液・造血器疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 2. 主な内分泌・代謝系疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 3. 主な運動器疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	血液・造血器機能と疾患(1)	血液の組成と機能, 血液・造血器の異常で行われる検査・治療				講義	宇田津		
2	血液・造血器機能と疾患(2)	貧血				講義	宇田津		
3	血液・造血器機能と疾患(3)	出血傾向				講義	宇田津		
4	血液・造血器機能と疾患(4)	血球異常				講義	宇田津		
5	血液・造血器機能と疾患(5)	リンパ腫				講義	宇田津		
6	内分泌・代謝疾患(1)	視床下部-下垂体前-後葉系疾患				講義	田邊		
7	内分泌・代謝疾患(2)	甲状腺・副甲状腺疾患, 副腎皮質・髄質疾患				講義	田邊		
8	内分泌・代謝疾患(3)	糖尿病と合併症				講義	田邊		
9	内分泌・代謝疾患(4)	肥満症, 脂質異常症, 高尿酸血症・痛風, 骨粗鬆症 ビタミン欠乏・過剰症, 体温調節機能障害				講義	田邊		
10	運動器疾患(1)	骨折				講義	片伯部		
11	運動器疾患(2)	脱臼, 靭帯損傷, その他の外傷				講義	片伯部		
12	運動器疾患(3)	骨・関節の炎症性疾患(1)				講義	片伯部		
13	運動器疾患(4)	骨・関節の炎症性疾患(2)				講義	片伯部		
14	運動器疾患(5)	骨腫瘍および軟部腫瘍, コンパートメント症候群				講義	片伯部		
15	運動器疾患(6)	筋疾患, 末梢神経麻痺, その他の疾患				講義	片伯部		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	100		
教科書	薊隆文他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症 第1版 メディカ出版 ¥3,800+税 繪本正憲他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝 第1版 メディカ出版 ¥3,900+税 萩野浩他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑦運動器 第1版 メディカ出版 ¥2,500+税								
教材・参考図書	山内豊明他 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち ①病態生理学 第4版 メディカ出版 矢野久子他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ③造血機能障害/免疫機能障害 第3版 メディカ出版 明石恵子他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ②栄養代謝機能障害 第3版 メディカ出版 石川ふみよ他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑤運動機能障害 第3版 メディカ出版 林正健二他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑥内部環境調節機能障害/性・生殖機能 障害 第4版 メディカ出版 林正健二他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑦疾病と治療 第3版 メディカ出版								
オフィスアワー	各担当講師の講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	病態生理学V							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	20時間	単位数	0.67単位
科目 責任者	谷口 邦久			科目 担当者	谷口 邦久, 平野 木代衣, 大森 幸江				
科目 概要	各系統別の疾患と発生機序, 主な疾患の診断・検査・治療・予後について理解し, 科学的根拠に基づいた看護を展開する能力を修得し, 看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 主なリンパ系疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 2. 主な歯・口腔疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 3. 東洋医学の概要が理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	リンパ浮腫(1)	リンパ系の機能と構造, リンパ浮腫の分類と診断				講義	大森		
2	リンパ浮腫(2)	リンパ浮腫の検査・合併症, リンパ浮腫の治療				講義	大森		
3	リンパ浮腫(3)	用手的リンパドレナージ				演習	大森		
4	歯科・口腔系疾患	歯科・口腔疾患, 顎関節疾患, 口腔粘膜疾患				講義	谷口		
5	東洋医学(1)	東洋医学概論, 気概念, 陰陽論, 五行学説				講義	平野		
6	東洋医学(2)	気・血・津液の働き				講義	平野		
7	東洋医学(3)	臓腑の働きと病理				講義	平野		
8	東洋医学(4)	心・肝・脾・肺・腎の働きと病理				講義	平野		
9	東洋医学(5)	病因について, 外感, 内傷				講義	平野		
10	東洋医学(6)	各疾患(頭痛, 風邪, 便秘, 婦人科, 痺証)				講義	平野		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	100		
教科書	永井由巳他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚 第1版 メディカ出版 ¥3,800+税 野原隆司他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護②循環器 第1版 メディカ出版 ¥2,700+税 三原弘他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護③消化器 第1版 メディカ出版 ¥2,900+税								
教材・参考図書	山内豊明他 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち ①病態生理学 第4版 メディカ出版 明石恵子他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ②栄養代謝機能障害 第3版 メディカ出版 矢野久子他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ③造血機能障害/免疫機能障害 第3版 メディカ出版 石川ふみよ他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑤運動機能障害 第3版 メディカ出版 林正健二他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑦疾病と治療 第3版 メディカ出版								
オフィスアワー	講義時に各担当教員へ確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	病態生理学V							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	10時間	単位数	0.33単位
科目責任者	中山 浩次, 力丸 由起子			科目担当者	中山 浩次, 力丸 由紀子				
科目概要	各系統別の疾患と発生機序, 主な疾患の診断・検査・治療・予後について理解し, 科学的根拠に基づいた看護を展開する能力を修得し, 看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達目標	1. 主なリンパ系疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 2. 主な歯・口腔疾患の病態・症状・検査と診断・治療法を理解できる。 3. 東洋医学の概要が理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
11	感染症 (1)			感染症でみられる症候, 感染症で行われる検査・治療			講義	中山	
12	感染症 (2)			ウイルス感染症, 細菌感染症			講義	中山	
13	眼疾患			基礎知識と主な検査方法, 主な眼疾患			演習	力丸	
14	耳鼻咽喉疾患 (1)			主な耳疾患, 鼻疾患, 咽喉頭疾患			講義	力丸	
15	耳鼻咽喉疾患 (2)			唾液腺・頸部の疾患, 気管・食道・甲状腺疾患			講義	力丸	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	薊隆文他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症 第1版 メディカ出版 ¥3,800+税 永井由巳他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚 第1版 メディカ出版 ¥3,800+税								
教材・参考図書	山内豊明他 ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち ①病態生理学 第4版 メディカ出版 明石恵子他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ②栄養代謝機能障害 第3版 メディカ出版 矢野久子他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ③造血機能障害/免疫機能障害 第3版 メディカ出版 石川ふみよ他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑤運動機能障害 第3版 メディカ出版 林正健二他 ナーシング・グラフィカ 健康の回復と看護 ⑦疾病と治療 第3版 メディカ出版								
オフィスアワー	講義時に各担当教員へ確認すること。								
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	放射線医学						看護科		
学年	2年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	細川 聖記				担当 教員	細川 聖記			
科目 概要	画像診断, 放射線治療, 放射線防護についての基礎的知識を深め, 看護実践において活用できる能力を修得する。また, 放射線医学を学び, 多職種と協働・連携することの重要性が理解できる。								
到達 目標	1. 画像診断について, それぞれの特徴を理解できる。 2. 放射線治療を受ける対象者に対する看護師の役割を理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	放射線医学とは			画像診断の役割, 放射線治療の役割			講義	細川	
2	画像診断と看護			画像診断における看護師の役割			講義	細川	
3	X線診断			X線診断の特徴・成り立ち, X線診断の実際			講義	細川	
4	C T			C Tの特徴, C T画像の成り立ち, 検査の実際			講義	細川	
5	MR I			MR Iの特徴, MR I画像の成り立ち, 検査の実際			講義	細川	
6	超音波診断			超音波診断の特徴, 成り立ち, 検査の実際			講義	細川	
7	核医学検査			核医学検査の特徴, 成り立ち, 検査の実際			講義	細川	
8	I V R・血管造影			I V R・血管造影の成り立ち, 実際と看護			講義	細川	
9	放射線治療総論			放射線治療の原理と基礎, 放射線治療の特徴と目的, 正常組織の有害反応と耐容線量			講義	細川	
10	放射線治療各論(1)			脳腫瘍, 頭頸部癌, 肺癌, 食道癌, 乳癌			講義	細川	
11	放射線治療各論(2)			直腸癌, 子宮頸癌, 前立腺癌			講義	細川	
12	放射線治療各論(3)			悪性リンパ腫, 骨転移・脳転移, 上大静脈症候群			講義	細川	
13	放射線治療各論(4)			骨軟部腫瘍, 小児癌			講義	細川	
14	放射線による障害と防護			放射線障害, 放射線防護			講義	細川	
15	学習のまとめ			放射線看護のまとめ			演習	細川	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合(%)	80	-	20	-	-	-	-	-	100
教科書	福田国彦他 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学 第9版 医学書院 ¥2,200+税								
教材・参考図書	必要時に資料を配布する。その他, 適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	薬理学							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	岡本 順子			科目 担当者	岡本 順子				
科目 概要	基本的な薬物の種類と作用・機序・特徴を学び、人体への影響を理解し看護実践において活用できる能力を修得する。高齢化に伴い、複数の薬剤を投与される患者が増加している今日、薬の適応を決定し、疾患に基づく薬物体内動態の変化に対応した投与設計から、安全でかつ有効な薬物治療を確立していく能力を修得し、看護の実践性を滋養できる能力を養う。								
到達 目標	1. 薬の作用、体内動態、副作用等について理解できる。 2. 薬物療法を行っている対象者の看護が理解できる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	薬物学総論(1)		薬物治療の目指すもの				講義	岡本	
2	薬物学総論(2)		薬の作用、薬の体内循環				講義	岡本	
3	薬物学総論(3)		薬効に影響する因子、薬の有害作用				講義	岡本	
4	薬物学総論(4)		薬の管理と新薬の誕生				講義	岡本	
5	末梢の神経活動と薬物(1)		神経による情報伝達				講義	岡本	
6	末梢の神経活動と薬物(2)		自律神経系薬、交感神経作用薬				講義	岡本	
7	末梢の神経活動と薬物(3)		副交感作用薬、筋弛緩薬・局所麻酔薬				講義	岡本	
8	中枢神経薬(1)		全身麻酔薬				講義	岡本	
9	中枢神経薬(2)		催眠薬、抗不安薬				講義	岡本	
10	中枢神経薬(3)		抗精神病薬、抗てんかん薬、麻薬性鎮痛薬				講義	岡本	
11	心臓・血管系と薬物		抗高血圧薬、抗不整脈薬、利尿薬				講義	岡本	
12	呼吸器・生殖系と薬物		呼吸器系・生殖系に作用する薬物				講義	岡本	
13	消化器系と薬物		消化器系・物質代謝に作用する薬物				講義	岡本	
14	抗アレルギー・抗炎症薬		抗菌薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬				講義	岡本	
15	アルコールと性ホルモン		アルコール・性ホルモンの作用				講義	岡本	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	80	-	20	-	-	-	-	100	
教科書	古川裕之他 ナーシング・グラフィカ疾病の成り立ち②臨床薬理学 第5版 メディカ出版 ¥3,400+税								
教材・参考図書	林正健二他 ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能①解剖生理学 メディカ出版 ¥4,800+税								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	公衆衛生学							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	本川 渉			科目 担当者	本川 渉				
科目 概要	医療職にとって欠かせない保健・医療・福祉の概念について理解し、「個」だけでなく、「集団」「社会」の視点からも健康問題を見ることができる能力を養う。また、地域での看護専門職の役割として、対象に応じた対応ができる公衆衛生システム・地域保健活動の知識と実践能力を修得する。								
到達 目標	1. 現在行われている公衆衛生システムについて理解できる。 2. 様々な対象者に対して行われている公衆衛生活動について理解できる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	公衆衛生のエッセンス(1)		公衆衛生とは、公衆衛生の歴史				講義	本川	
2	公衆衛生のエッセンス(2)		公衆衛生の理念・概念				講義	本川	
3	公衆衛生の活動対象		公衆衛生のものさし(集団の見方と健康保障)				講義	本川	
4	公衆衛生のしくみ		公衆衛生のプロセス				講義	本川	
5	環境と健康(1)		地球規模の環境と健康				講義	本川	
6	環境と健康(2)		身のまわりの環境と健康				講義	本川	
7	国際保健		経済格差と健康格差, 国際保険と日本				講義	本川	
8	子どもと保健		子どもと保健・高齢者保健の考え方				講義	本川	
9	成人の健康作り		成人保健の意義と目的				講義	本川	
10	歯科保健・精神		歯科疾患の特徴と対策				講義	本川	
11	難病・健康危機管理		難病対策のあゆみ				講義	本川	
12	健康危機管理		健康危機管理・感染症				講義	本川	
13	学校保健・産業保健		学校保健の概要・産業保健				講義	本川	
14	環境保健(1)		職場における健康とは				講義	本川	
15	環境保健(2)		健康危機管理				講義	本川	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	30	-	-	-	-	100		
教科書	古川裕之他 ナーシング・グラフィカ健康支援と社会保障② 公衆衛生 第5版 メディカ出版 ¥3,200 +税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	社会福祉 I							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	木山 淳一				科目 担当者	木山 淳一			
科目 概要	現代社会における社会福祉にどのような問題があるのかを知り、医療従事者として学習しておくべき社会福祉に関する知識と「福祉の心」を修得する。また、対象者が日々の暮らしと福祉制度・社会保障がどう関係するのか専門的知識を修得し、個々のライフスタイルに沿った対応ができる基礎的能力を養う。								
到達 目標	1. 我が国の社会保障制度の概要を理解できる。 2. 我が国の医療保障、介護保障の特徴について理解できる。 3. 所得保障の概要と、年金保険、社会手当、労働保険について理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	看護と生活・社会との関わり			健康・社会を念頭にいた仕組みの再構築			講義	木山	
2	社会の意味			社会の成り立ち・個人・集団・社会			講義	木山	
3	個人の生活の理解（1）			日常生活と健康問題			講義	木山	
4	個人の生活の理解（2）			生活の諸相と生活の理論			講義	木山	
5	個人の生活の理解（3）			保健・医療・看護とQOL			講義	木山	
6	家族の現在			家族の現在・家族ケア機能			講義	木山	
7	社会的な健康			健康とは・社会的健康とは			講義	木山	
8	集団・組織・個人および集団 における対立と協働			人間と集団・さまざまなレベルでの対立・ 葛藤・紛争・コンフリクト			講義	木山	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	70	30	-	-	-	-	-	100	
教科書	増田雅暢他 ナーシング・グラフィカ健康支援と社会保障 社会福祉と社会保障 第5版 メディカ出版 ¥3,000+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00～18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	社会福祉Ⅱ							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	木山 淳一				科目 担当者	木山 淳一			
科目 概要	現代社会における社会福祉にどのような問題があるのかを知り、医療従事者として学習しておくべき社会福祉に関する知識と「福祉の心」を修得する。また、対象者が日々の暮らしと福祉制度・社会保障がどう関係するのか専門的知識を修得し、個々のライフスタイルに沿った対応ができる基礎的能力を養う。								
到達 目標	1. 公的扶助制度として、生存権の保障である生活保護制度を理解できる。 2. 社会福祉サービスの実態と抱えている問題を学び、行われている施策を理解できる。 3. 社会福祉実践の共通基盤としてどのような援助が必要なのか、どのような援助方法があるのかを理解できる。 4. 社会福祉の歴史を学び、今後の社会福祉の展開を考察できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	地域社会（1）			地域社会の再発見			講義	木山	
2	地域社会（2）			社会的ネットワークとその意義			講義	木山	
3	グローバルゼーションと社会			現代の国際社会・グローバルゼーション			講義	木山	
4	生命倫理			生命倫理とは			講義	木山	
5	科学からとらえた健康行動			行動科学とは			講義	木山	
6	授業まとめ(1)			学習要点の整理と確認(1)			講義	木山	
7	授業まとめ(2)			学習要点の整理と確認(2)			講義	木山	
8	まとめ			社会福祉のまとめ			講義	木山	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合(%)	70	30	-	-	-	-	-	-	100
教科書	増田雅暢他 ナーシング・グラフィカ健康支援と社会保障 社会福祉と社会保障 第5版 メディカ出版 ¥3,000+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00～18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	関係法規							看護科		
学年	2年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位	
科目 責任者	瀬戸山 美和				科目 担当者	瀬戸山 美和				
科目 概要	医療・生活に関する諸制度の概要と諸法令を理解し、看護職として国民の健康を守り、与えられた職責を正しく遂行する能力を修得する。現在の医療現場では種々の医療問題が生じており、看護職もその職務上、多くの法規に関係している。その中で、看護師が看護サービスを提供するうえで、基盤となる法規および関係法規を理解することが不可欠である。看護職として正しく職務を遂行するために、看護職として基盤となる法規および関連法規について理解し、適切な看護を行う上での根拠や判断基準となる能力を修得し、対象に応じ柔軟に対応できる能力を養う。									
到達 目標	1. 私たちがかわる医療・生活に関する法の概要を理解できる。 2. 保健師法、助産師法、看護師法及びその周辺の法について理解できる。									
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員		
1	看護師と基本となる法規	関係法規とは、法の種類・分類、保健師助産師看護師法、看護師の人材確保促進に関する法律、					講義	瀬戸山		
2	医療職種に関する法規	医師法、医療法、関係資格法等、医療を支える法					講義	瀬戸山		
3	薬物に関する法規 感染予防	医薬品医療機器等法、麻薬及び向精神薬取締法 感染症法、予防接種法、					講義	瀬戸山		
4	母子保健・小児保健に関する 法規、高齢者保健に関する 法律	母子保健法、DV法、学校保健安全法、児童虐待防止 法、老人福祉法、介護保険法、高齢者虐待防止法、					講義	瀬戸山		
5	障害者保健に関する法律	障害者基本法、障害者総合支援法、障害者虐待防止法、 難病の患者に対する医療等に関する法律					講義	瀬戸山		
6	福祉・保険に関する法規	社会保障法、生活保護法					講義	瀬戸山		
7	労働衛生に関する法規	労働基準法、労働安全衛生法、 社会基盤整備に関する法					講義	瀬戸山		
8	覚えておきたい法規	環境基本法、食品衛生法、廃棄物処理法、臓器移植法、 個人情報保護法					講義	瀬戸山		
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	80	10	10	-	-	-	-	100		
教科書	今西春彦他 ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障④看護をめぐる法と制度 第2版 メディカ出版 ¥2,800+税									
教材・参考図書	厚生統計協会編集 国民衛生の動向 厚生統計協会出版 ¥2,800+税									
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00									
履修上の 注意点	学んだ知識を元に、それをさらに発展させていくため、授業に積極的に参加し、自身の考えを表現すること。ニュース、新聞、インターネットなどで医療・看護に関する情報に触れ、考える習慣を持つこと。									

科目名	保健医療論							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門基礎	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	尾崎 正雄			科目 担当者	尾崎 正雄				
科目 概要	大きく変動する現代社会環境の中で、看護職者として現代社会のあり方をとらえ直すとともに、社会の基盤をなす一人ひとりであったその人の生活・暮らしを理解することを通じて、患者や住民の生活を援助することの重要性を理解する。生活に深くかかわる保健・医療システムや医療技術の現状と課題を理解する能力を修得する。								
到達 目標	1. 医療行政や医療技術の現状及び課題を理解できる。 2. 医療における倫理について理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	看護と生活・社会との関わり 関わり, 社会			現代社会の在り方, 社会の成り立ち成り立ち 現代社会の特徴と社会変動の方向			講義	尾崎	
2	個人の生活の理解			日常生活と健康問題 健康的ライフスタイル 保健・医療・看護とQOL			講義	尾崎	
3	家族 社会的な健康			21世紀社会の家族の在り方 ライフコースの変化と家族 家族の変化とケア機能 健康の定義, 社会的な健康 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ			講義	尾崎	
4	集団・組織 個人および集団における対 立と協働			集団とは 組織とは 対立の種類と要素			講義	尾崎	
5	地域社会			地域社会の重要性 コミュニティの構成要素 社会的ネットワークとその意義			講義	尾崎	
6	グローバリゼーションと社 会			グローバリゼーションの概念や影響			講義	尾崎	
7	生命倫理			生命倫理の成立と基本的な考え方 新たな診断方法や治療法の発展に伴う生命 倫理の問題			講義	尾崎	
8	科学からとらえた健康行動			行動科学とは 保健・医療領域に見られる小集団の特徴			講義	尾崎	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	平野かよ子他 ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障①健康と社会・生活 第4版 メディカ出版 ¥2,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日午前								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	リハビリテーション論							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	専門基礎	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	山本 拓史			科目 担当者	山本 拓史				
科目 概要	リハビリテーションを受ける対象者の身体的・心理的・社会的立場を理解し、具体的なリハビリテーション援助法を修得する。また、多職種と協働・連携の重要性を理解し、対象に応じた援助ができる能力を養う。								
到達 目標	1. リハビリテーションを受ける対象者の身体的・心理的・社会的立場を理解できる。 2. 健康障害をもつ対象者のリハビリテーションの実際を知り、具体的な援助方法を理解できる。								
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員	
1	リハビリテーション概論(1)	リハビリテーションの定義と理念					講義	山本	
2	リハビリテーション概論(2)	リハビリテーションに用いられる主要概念					講義	山本	
3	呼吸・循環器系の障害(1)	慢性閉塞性肺疾患患者のリハビリテーション					講義	山本	
4	呼吸・循環器系の障害(2)	呼吸リハビリテーション(体位ドレナージ・タッピング・スクイーピング)の実際					演習	山本	
5	呼吸・循環器系の障害(3)	虚血性心疾患患者のリハビリテーション					講義	山本	
6	呼吸・循環器系の障害(4)	心臓リハビリテーションの実際					演習	山本	
7	運動器の障害(1)	ROM, MMT, CPM, 大腿四頭筋訓練					演習	山本	
8	運動器の障害(2)	歩行器, 松葉杖を使用したリハビリテーション					講義	山本	
9	運動器の障害(2)	関節リウマチ患者のリハビリテーション					講義	山本	
10	中枢神経系の障害(1)	脳血管障害患者のリハビリテーション(1)					講義	山本	
11	中枢神経系の障害(2)	脳血管障害患者のリハビリテーション(2)					演習	山本	
12	中枢神経系の障害(3)	脊髄損傷患者のリハビリテーション(1)					講義	山本	
13	中枢神経系の障害(4)	脊髄損傷患者のリハビリテーション(2)					講義	山本	
14	感覚器系の障害(1)	視覚・聴覚障害患者のリハビリテーション					講義	山本	
15	学習のまとめ	リハビリテーションのまとめ					講義	山本	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	80	10	10	-	-	-	-	100	
教科書	奥宮暁子他 ナーシング・グラフィカ成人看護学⑤リハビリテーション看護 第3版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	必要時に資料を配布する。その他、適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

専 門 分 野 I

1 1 単 位 （ 3 1 5 時 間 ）

<ねらい>

- 看護を体系的に捉え、看護の視点を理解するために、人間・健康・環境・看護・看護の倫理の主要概念について学ぶ。
- 看護の対象である人間を全人的な存在として捉え、生活者として包括的に理解する。
- 人間としてよりよく生きる（生活する）ことの意味を認識し、安全・安楽・自立をふまえた基本技術を修得する。
- 看護を実践するための看護技術や状況を踏まえた看護技術の適応方法を学ぶ。
- 看護とは何か、看護職が果たす役割について考え、看護を探究する姿勢を培う。
- 看護における知識、技術、態度のなかでも特に態度や倫理を重視し、対象一人ひとりの生命の尊厳と人格を尊重する態度を養う。

<構 成>

教育内容	科 目	単 位	時間数
基礎看護学	基礎看護学 I	1	30
	基礎看護学 II	1	15
	基礎看護学 III	1	30
	基礎看護学 IV	1	30
	基礎看護学 V	1	30
	基礎看護学 VI	1	30
	基礎看護学 VII	1	30
	基礎看護学 VIII	1	30
	基礎看護学 IX	1	30
	基礎看護学 X	1	30
	基礎看護学 XI	1	30
合 計		11	315

基礎看護学

11単位（315時間）

<ねらい>

専門分野Ⅰは、看護学すべての基盤であり、また看護を学ぶ最初の分野であり、看護学を専門分野として認識する。看護を体系的に捉え、看護の視点を理解するために、人間・健康・環境・看護・看護の倫理の主要概念について学ぶ。看護とは何か、看護職が果たす役割について考える機会となる。看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的側面から捉えることで、人間を包括的に理解することができる。

また、人間としてよりよく生きる（生活する）ことの意味を認識し、安全・安楽・自立をふまえた基本技術を修得する。看護を実践するための枠組みとして、「看護の基本となる技術」、「日常生活への援助技術」、「検査・治療・処置に伴う援助技術」に分け、状況を踏まえた看護技術として学ぶ。

<目的>

対象となる人間を理解し、看護を実践できる基礎能力を養う。

<目標>

1. 看護の対象と役割について理解する。
2. 看護の基本となる技術を修得する。
3. 日常生活への援助技術を修得する。
4. 検査・治療・処置に伴う援助技術を修得する。
5. 対象者のもつ看護上の問題を抽出し、計画立案・実施・評価する方法を理解する。
6. 対象者の「生命の尊厳」と「人格を尊重できる態度」を養い、責任遂行のための倫理的行動がとれる。
7. 自己の看護観を養う。

科目名	基礎看護学Ⅰ						看護科		
学年	1年	学期	前期	分野	専門Ⅰ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	瀬戸山 美和			科目 担当者	瀬戸山 美和, 池田 悦子				
科目 概要	看護者は豊かな人間性や優れた人権意識, 明確な目的意識に根差した人材が求められる。したがって生命を大切に, 相手を尊重して対象者に応じた行動ができる豊かな感性を育成する。看護倫理は, 看護における倫理の必要性を理解する。また, 看護の歴史を学ぶことで, 現在の看護を取り巻く状況や今後の課題を理解する能力を修得する。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の歴史の変遷と看護の定義を理解し, 看護の本質とは何かについて, 常に考える態度を身につけることができる。 2. 健康と人々を取り巻くさまざまな環境との関係について理解できる。 3. 看護の実践に携わる職業の成り立ちと機能, 及び役割について理解できる。 4. 看護における倫理について考えることができる。 5. チーム医療について理解し, 看護職としての役割を考えることができる。 								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	看護とは何か(1)	看護の歴史と変遷(1)				講義	瀬戸山・池田		
2	看護とは何か(2)	看護の歴史と変遷(2)				演習	瀬戸山・池田		
3	看護とは何か(3)	看護の定義, 役割と機能				講義	瀬戸山・池田		
4	看護とは何か(4)	看護の継続性と情報共有				演習	瀬戸山・池田		
5	看護の対象の理解(1)	人間の「こころ」と「からだ」(1)				講義	瀬戸山・池田		
6	看護の対象の理解(2)	人間の「こころ」と「からだ」(2)				演習	瀬戸山・池田		
7	看護の対象の理解(3)	生涯発達しつづける存在				講義	瀬戸山・池田		
8	健康の捉え方(1)	健康とはなにか, 健康の関連要因 社会の変遷と健康観の変化				講義	瀬戸山・池田		
9	健康の捉え方(2)	人々の生活と健康に関する統計				演習	瀬戸山・池田		
10	看護の提供者(1)	職業としての看護, 看護職の養成制度と就業状況				講義	瀬戸山・池田		
11	看護の提供者(2)	看護職者の教育とキャリア開発				講義	瀬戸山・池田		
12	看護における倫理(1)	医療をめぐる倫理の歴史的経緯と看護倫理				講義	瀬戸山・池田		
13	看護における倫理(2)	看護実践における倫理問題への取り組み				講義	瀬戸山・池田		
14	看護の提供のしくみ(1)	サービスとしての看護, 看護サービス提供の場				講義	瀬戸山・池田		
15	看護の提供のしくみ(2)	看護をめぐる制度と政策				講義	瀬戸山・池田		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	70	-	20	10	-	-	100		
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護①看護学概論 第6版 メディカ出版 ¥2,800+税								
教材・参考図書	杉田暉道 系統看護学講座 別巻 看護史 第7版 医学書院 ¥2,100 ガーゼニア・ハンダーソン 看護の基本となるもの 日本看護協会出版社 ¥1,050								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の中で, 適宜グループワークを行うため, 積極的に参加すること。								

科目名	基礎看護学Ⅱ						看護科		
学年	1年	学期	後期	分野	専門Ⅰ	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	瀬戸山 美和			科目 担当者	瀬戸山 美和, 田中 初枝				
科目 概要	看護理論は、看護に関する現象の記述、説明、予測、コントロールを目的とする。看護理論の変遷、看護人間の基本的ニーズと自立、人間の全体性、看護師と患者の相互作用、ケアリングなどが看護理論で考えることができ、対象に応じた対応ができることを理解し、自己の看護観を構築する。								
到達 目標	1. 看護理論の定義や理論の種類を学ぶことで、看護理論について理解できる。 2. 主な看護理論家とその理論を理解できる。								
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員		
1	理論とは何か		理論の定義、用語の定義、理論の種類 理論の説明			講義 演習	瀬戸山・田中		
2	理論の評価 理論のクリティーク		理論の評価モデル、理論の分析 理論のクリティーク			講義 演習	瀬戸山・田中		
3	理論の理解と看護 実践への応用(1)		・ヒルデガードE. ペプロウ ・マーサE. ロジャーズ ・ドロセアE. オレム			講義 演習	瀬戸山・田中		
4	理論の理解と看護 実践への応用(2)		・アイモジンM. キング ・マーガレット・ニューマン ・ジーン・ワトソン			講義 演習	瀬戸山・田中		
5	理論の理解と看護 実践への応用(3)		・パトリシア・ベナー ・ジョイス・トラベルビー ・ヴァージニアA. ヘンダーソン ・シスター・カリスタ・ロイ			講義 演習	瀬戸山・田中		
6	学習のまとめ(1)		グループ発表(1)			講義 演習	瀬戸山・田中		
7	学習のまとめ(2)		グループ発表(2)			講義 演習	瀬戸山・田中		
8	学習のまとめ(3)		グループ発表(3)、総括			講義 演習	瀬戸山・田中		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	80	-	10	10	-	-	100		
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護①看護学概論 第6版 メディカ出版 ¥2,800+税								
教材・参考図書	Tomey, A.M. & ALLgood, M.R. / 都留伸子監訳 看護理論家とその業績(第3版) 医学書院 ¥6,720 筒井真優美編集 看護理論(看護理論20の理解と実践への応用) 南江堂 ¥2,200 勝又正直: はじめての看護理論(第2版) 医学書院 ¥2,730 竹尾恵子監修 新訂版事例で学ぶ看護理論 学研 ¥2,400								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の中で、適宜グループワークを行う。								

科目名	基礎看護学Ⅲ							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門Ⅰ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	平井 亨樹			科目 担当者	平井 亨樹, 大森 幸江				
科目 概要	看護の対象者を全人的に把握し、問題と援助の方法を明確化するための具体的方法を展開できる能力を修得することによって、対象者に応じた柔軟な対応ができる能力を養う。								
到達 目標	1. 看護過程の発展の歴史や構成要素及びその役割と意義について学び、看護過程が看護の根幹をなす科学的思考であることが理解できる。 2. 看護過程を展開するための必要な知識と技術について理解できる。 3. 具体的な事例演習をすることで基本的な看護の展開ができる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	基本的欲求の理論	マズローの基本的欲求の階層図				講義	平井・大森		
2	情報の整理(1)	情報収集とは、情報収集の方法				講義	平井・大森		
3	情報の整理(2)	ヘンダーソンの基本的ニード 14 項目				講義	平井・大森		
4	情報の整理(3)	ゴードンの 11 の機能的健康パターン				講義	平井・大森		
5	アセスメント(1)	情報の分析の仕方(1)				講義	平井・大森		
6	アセスメント(2)	情報の分析の仕方(2)				講義	平井・大森		
7	看護診断	NANDA 看護診断の活用法, 優先順位				講義	平井・大森		
8	看護計画	目標の設定, 看護計画立案				講義	平井・大森		
9	事例展開	紙上事例展開				演習	平井・大森		
10	事例展開	紙上事例展開				演習	平井・大森		
11	事例展開	紙上事例展開				演習	平井・大森		
12	事例展開	紙上事例展開				演習	平井・大森		
13	事例展開	紙上事例展開				演習	平井・大森		
14	事例展開	紙上事例展開				演習	平井・大森		
15	学習のまとめ	事例展開記録, 筆記試験				講義	平井・大森		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	30	-	70	-	-	-	100		
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護①看護学概論 第6版 メディカ出版 ¥2,800+税 松尾ミヨ子他 ナーシング・グラフィカ基礎看護学②ヘルスアセスメント 第4版メディカ出版¥3,200+税								
教材・参考図書	T.ヘザー・ハードマン他 NANDA-1看護診断 2018-2020 第11版 ¥3,000+税 ガーゾニア・ヘンダーソン 看護の基本となるもの 日本看護協会出版社 ¥1,050								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義より演習が多いため、積極的に取り組むこと。								
担当教員の実務経験	急性期混合病棟にて看護師として10年間の臨床経験があり、新人教育担当も担っており、科目の内容に精通している。								

科目名	基礎看護学Ⅳ						看護科		
学年	1年	学期	前期	分野	専門Ⅰ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	村田 大輔			科目 担当者	村田 大輔, 立岡 孝之				
科目 概要	環境調整技術として環境を多角的にとらえ、対象者の安全・安楽への配慮を具体的な行為として実践できる能力を修得する。また、日常生活活動全般の根幹にかかわる活動・休息の意味と意義を深く考え、対象者一人ひとりのセルフケア能力や個別の状況に応じた援助方法を工夫し、実施できる能力を修得する。								
到達 目標	1. 健康的な日常生活を作り出す必要条件を説明できる。 2. 対象者の日常生活における環境と活動・休息を見つめる看護の視点を述べることができる。 3. 対象者の日常生活への援助（環境・活動と休息）が実施できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	環境調整技術(1)	環境調整援助の基礎知識				講義	村田・立岡		
2	環境調整技術(2)	病室の環境のアセスメントと環境整備				講義	村田・立岡		
3	環境調整技術(3)	ベッドメイキングの技術と実際(1)				演習	村田・立岡		
4	環境調整技術(4)	ベッドメイキングの技術と実際(2)				演習	村田・立岡		
5	環境調整技術(5)	臥床患者のリネン交換技術と実際(1)				演習	村田・立岡		
6	環境調整技術(6)	臥床患者のリネン交換技術と実際(2)				演習	村田・立岡		
7	環境調整技術(7)	臥床患者のリネン交換技術と実際(3)				演習	村田・立岡		
8	活動と休息(1)	基本的活動の援助の基礎知識				演習	村田・立岡		
9	活動と休息(2)	ボディメカニクス技術の基本(1)				演習	村田・立岡		
10	活動と休息(3)	ボディメカニクス技術の基本(2)				演習	村田・立岡		
11	活動と休息(4)	移動・移乗・移送の基礎知識				講義	村田・立岡		
12	活動と休息(5)	移動・移乗・移送援助技術(1)				演習	村田・立岡		
13	活動と休息(6)	移動・移乗・移送援助技術(2)				演習	村田・立岡		
14	活動と休息(7)	睡眠の種類と睡眠制御のメカニズム				演習	村田・立岡		
15	学習のまとめ	環境調整と活動・休息のまとめ				演習	村田・立岡		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	実技	-	-	合計		
評価割合(%)	60	-	20	20	-	-	100		
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	演習方法：演習項目にある看護技術は演習時間内に実施。また学生各自の修得状況に応じて、実施回数が複数回となる場合もある（再演習）。看護技術の修得にあたっては、事前の自己学習が前提となる。								

科目名	基礎看護学V						看護学科		
学年	1年	学期	前期	分野	専門I	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	平井 亨樹			科目 担当者	平井 亨樹, 田中 初枝				
科目 概要	あらゆる健康レベルにある人々を対象に、それぞれの健康状態を把握する能力を修得する。また、対象者がその人らしくその人であった生活するにはどのような看護が必要かということ判断する能力を修得する。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヘルスアセスメントの意義および必要性を説明できる。 2. 対象を全人的にとらえる重要性を説明できる。 3. 身体的情報を得るための基本的技術を用い、フィジカルアセスメントが実施できる。 4. 対象者の身体情報についての健康レベルや正常・異常の判断ができる。 5. 対象のヘルスアセスメントを行う上で個人情報保護と倫理的配慮に基づき、礼節、態度を遵守できる。 								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	ヘルスアセスメントと看護の役割	身体の理解とフィジカルアセスメント				講義	平井・田中		
2	フィジカルアセスメント(1)	フィジカルアセスメントの必要物品				講義	平井・田中		
3	フィジカルアセスメント(2)	フィジカルアセスメントのテクニック(問診)				実技	平井・田中		
4	フィジカルアセスメント(3)	フィジカルアセスメントのテクニック(視診, 触診, 打診, 聴診)				実技	平井・田中		
5	フィジカルアセスメント(4)	フィジカルアセスメントのテクニック(バイタルサイン測定)				実技	平井・田中		
6	系統別アセスメント(1)	リンパ系・生殖器のアセスメント				実技	平井・田中		
7	系統別アセスメント(2)	頭部・顔面・頸部のアセスメント				実技	平井・田中		
8	系統別アセスメント(3)	鼻・耳・口腔・咽頭・眼のアセスメント				実技	平井・田中		
9	系統別アセスメント(4)	肺(呼吸器系)のアセスメント				実技	平井・田中		
10	系統別アセスメント(5)	心臓・血管系のアセスメント				実技	平井・田中		
11	系統別アセスメント(6)	腹部(消化器系)のアセスメント				実技	平井・田中		
12	系統別アセスメント(7)	筋・神経のアセスメント				実技	平井・田中		
13	心理的・社会的側面のアセスメント	心理社会的側面を理解する問診方法				実技	平井・田中		
14	フィジカルアセスメント活用(1)	シミュレーション事例(急変時および症状別)				実技	平井・田中		
15	フィジカルアセスメント活用(2)	シミュレーション事例(集中治療室の患者)				実技	平井・田中		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	実技	-	-	合計		
評価割合(%)	40	10	20	30	-	-	100		
教科書	松尾ミヨ子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント 第4版 メディカ出版¥3,200+税 志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 基礎看護技術 第6版 メディカ出版¥3,600+税								
教材・参考図書	任和子他 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第1版 医学書院 ¥5,500+税								
オフィスアワー	木曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	看護技術の習得にあたっては、事前の自己学習が前提となる。演習項目にある看護技術は演習時間内に実施するが、学生各自の習得状況に応じて、実施回数が複数回となる場合もある(再演習)。								
担当教員の 実務経験	急性期混合病棟にて看護師として10年間の臨床経験があり、新人教育担当も担っており、科目の内容に精通している。								

科目名	基礎看護学VI						看護科		
学年	1年	学期	前期	分野	専門I	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	大森 幸江			科目 担当者	大森 幸江, 平井 亨樹				
科目 概要	自分自身で身体を清潔に保つことや、必要に応じて衣服を着替えることが困難な状況にある人たちへの専門的な援助技術を修得し、対象に応じて柔軟に援助ができる能力を養う。								
到達 目標	1. 健康的な日常生活を作り出す必要条件を説明できる。 2. 対象者の日常生活を見つめる看護の視点を述べるができる。 3. 対象者の日常生活への援助(清潔・衣生活)が実施できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	清潔の意義・皮膚・粘膜の生理的メカニズムとケア	清潔の意義, 皮膚・粘膜について, ケアの効果等				講義	大森・平井		
2	清潔ニーズのアセスメント	清潔のニーズ, セルフケアの程度等				講義	大森・平井		
3	清潔の援助(1)	全身清拭・入浴・シャワー浴の基礎知識				講義	大森・平井		
4	清潔の援助(2)	洗髪・整容の基礎知識				講義	大森・平井		
5	清潔の援助(3)	手浴・足浴・寝衣交換の基礎知識				講義	大森・平井		
6	清潔の援助方法(1)	全身清拭・寝衣交換の援助の実際(1)				演習	大森・平井		
7	清潔の援助方法(2)	全身清拭 寝衣交換の援助の実際(2)				演習	大森・平井		
8	清潔の援助方法(3)	全身清拭 寝衣交換の援助の実際(3)				演習	大森・平井		
9	清潔の援助方法(4)	全身清拭 寝衣交換の援助の実際(4)				演習	大森・平井		
10	清潔の援助方法(5)	洗髪・整容の実際(1)				演習	大森・平井		
11	清潔の援助方法(6)	洗髪・整容の実際(2)				演習	大森・平井		
12	清潔の援助方法(7)	洗髪・整容の実際(3)				演習	大森・平井		
13	清潔の援助方法(8)	手浴・足浴の実際(1)				演習	大森・平井		
14	清潔の援助方法(9)	手浴・足浴の実際(2)				演習	大森・平井		
15	まとめ	まとめ				講義	大森・平井		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	50	30	20	-	-	-	100		
教科書	志自岐康子他 ナースが・グラフィカ 基礎看護技術③基礎看護技術 第6版 メディカ出版 ¥3,600+税 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版 医学書院 ¥5,500+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	演習方法：演習項目にある看護技術は演習時間内に実施。また学生各自の習得状況に応じて、実施回数が複数回となる場合もある(再演習)。看護技術の習得にあたっては、事前の自己学習が前提となる。								

科目名	基礎看護学Ⅶ						看護科		
学年	1年	学期	前期	分野	専門Ⅰ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	箱崎 奈々子			科目 担当者	箱崎 奈々子, 立岡 孝之				
科目 概要	食事援助技術は、人が生きることの根幹にかかわる食事という行為の意味と意義を深く考え、それに配慮できる能力を修得する。排泄援助技術は、とくに自立と個別性を重視する技術であり、看護者はどうしたら対象者の個性を大切に、自立を促し、羞恥心を最小限にすることができるかを考えながら、ケアを計画・実施できる能力を修得する。さらに、対象に応じて柔軟に援助ができる能力を養う。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康的な日常生活を作り出す必要条件を説明できる。 2. 対象者の日常生活を見つめる看護の視点を述べるができる。 3. 対象者の日常生活への援助(排泄, 食事)が実施できる。 								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	食事援助技術(1)	食事と栄養に関する基礎知識				講義	箱崎・立岡		
2	食事援助技術(2)	栄養状態のアセスメント				講義	箱崎・立岡		
3	食事援助技術(3)	食事介助の基本				演習	箱崎・立岡		
4	食事援助技術(4)	食事介助の応用				演習	箱崎・立岡		
5	食事援助技術(5)	オーラルケアの実際				演習	箱崎・立岡		
6	食事援助技術(6)	摂食嚥下訓練法の実際				演習	箱崎・立岡		
7	食事援助技術(7)	経管栄養の基礎知識と援助の実際				演習	箱崎・立岡		
8	排泄の援助技術(1)	排泄の意義, 排泄の観察とアセスメント				講義	箱崎・立岡		
9	排泄の援助技術(2)	床上での排泄援助(尿器・便器)				演習	箱崎・立岡		
10	排泄の援助技術(3)	陰部洗浄・おむつの当て方(1)				演習	箱崎・立岡		
11	排泄の援助技術(4)	陰部洗浄・おむつの当て方(2)				演習	箱崎・立岡		
12	排泄の援助技術(5)	ポータブルトイレ介助の実際				演習	箱崎・立岡		
13	排泄の援助技術(6)	一時的・持続的導尿 ストーマの基礎知識と援助				演習	箱崎・立岡		
14	排泄の援助技術(7)	排便を促す援助の基礎知識, 浣腸・摘便の 基礎知識				演習	箱崎・立岡		
15	学習のまとめ	食事と排泄のまとめ				講義	箱崎・立岡		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	10	20	-	-	-	100		
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ基礎看護学③基礎看護技術 第6版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	看護技術の習得にあたっては、事前の自己学習が前提となる。演習項目にある看護技術は演習時間内に実施するが、学生各自の習得状況に応じて、実施回数が複数回となる場合もある(再演習)。								

科目名	基礎看護学Ⅷ							看護科	
学年	1年	学期	前期 後期	分野	専門Ⅰ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	葉室 裕子			科目 担当者	葉室 裕子, 小川 美穂子				
科目 概要	コミュニケーション技術を活用し、看護実践において対象者との関係を成立・発展させるための高度なコミュニケーション能力を修得する。さらに、既習のコミュニケーションを活用し、看護におけるカウンセリング様々な健康場面にある対象者への健康教育的支援の意味や必要性・方法を理解する。専門的な援助技術を修得し、対象に応じて柔軟に援助ができる能力を養う。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの意義と目的、医療におけるコミュニケーションの重要性を理解できる。 2. コミュニケーションの構成要素と成立過程を理解し、関係構築のための基本を理解できる。 3. 看護における健康教育的支援の目的と意義を理解し、学生間で実施できる。 4. 看護に活用できるカウンセリングの種類と特徴を理解できる。 								
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員	
1	コミュニケーション(1)	看護学でコミュニケーションを学ぶ意義					講義	葉室・小川	
2	コミュニケーション(2)	コミュニケーションの概念と基本原理					講義	葉室・小川	
3	コミュニケーション(3)	コミュニケーションの構造とプロセス					講義	葉室・小川	
4	効果的コミュニケーション	社交的、専門的コミュニケーション					講義	葉室・小川	
5	対人関係の振り返り(1)	医療者としてのプロセスレコードの必要性					講義	葉室・小川	
6	対人関係の振り返り(2)	プロセスレコードによる振り返り					演習	葉室・小川	
7	看護と人間尊重	援助過程とコミュニケーション					講義	葉室・小川	
8	セルフケア向上のために	看護における教育的支援とその対象者					講義	葉室・小川	
9	対象者の理解	カウンセリングの定義と特徴					講義	葉室・小川	
10	カウンセリング(1)	カウンセリングの意義と主な手法					講義	葉室・小川	
11	カウンセリング(2)	看護におけるカウンセリングの適用					講義	葉室・小川	
12	健康教育支援技術(1)	学習の三原則と、指導過程のアプローチ方法					講義	葉室・小川	
13	健康教育支援技術(2)	対象者別指導過程(方法)の作成					演習	葉室・小川	
14	健康教育支援技術(3)	対象者別指導過程(方法)の展開					演習	葉室・小川	
15	学習のまとめ	コミュニケーション・健康教育支援のまとめ					講義	葉室・小川	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	-	100	
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ基礎看護学③基礎看護技術 第6版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	月曜日から金曜日 9:00~17:00								
履修上の 注意点	看護技術の修得にあたっては、事前の自己学習が前提となる。演習は、演習内容に応じて教室か看護演習室を使用して行う。								

科目名	基礎看護学Ⅸ						看護科		
学年	1年	学期	後期	分野	専門Ⅰ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	村田 大輔			科目 担当者	村田 大輔, 西田 美香				
科目 概要	対象者にとっての安全な治療・処置の実際についての知識・技術を修得する。また、対象者の健康状態を把握し、看護の必要性を的確に判断できる能力と対象に応じて柔軟に援助ができる能力を養う。								
到達 目標	1. 感染の成立条件及び施設内で発生する院内感染を防止するための方法を実施できる。 2. 創傷の処置、褥瘡予防の援助の方法が理解できる。 3. 侵襲的処置介助の技術及びそれに関わる看護独自の責務が理解できる。 4. 診察・検査・治療における看護師の役割が理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	感染防止の技術(1)	スタンダード・プリコーション, 手指衛生				講義	村田・西田		
2	感染防止の技術(2)	洗浄・消毒・滅菌, 感染経路別予防策				演習	村田・西田		
3	感染防止の技術(3)	感染性廃棄物の取り扱い, 針刺し防止				講義	村田・西田		
4	創傷管理技術(1)	創傷管理・創傷処置, 包帯法, 褥瘡ケア				講義	村田・西田		
5	創傷管理技術(2)	創傷処置を必要とする対象者の看護				演習	村田・西田		
6	侵襲的処置の介助技術(1)	胸腔穿刺, 腹腔穿刺, 腰椎穿刺, 骨髄穿刺				講義	村田・西田		
7	侵襲的処置の介助技術(2)	気管支洗浄, 胃洗浄, 膀胱洗浄				講義	村田・西田		
8	生体機能管理技術(1)	血液検査, 検尿				講義	村田・西田		
9	生体機能管理技術(2)	検便, 喀痰検査				講義	村田・西田		
10	生体機能管理技術(3)	心電図・パルスオキシメーター				講義	村田・西田		
11	診察・検査介助技術(1)	採血の実際				演習	村田・西田		
12	診察・検査介助技術(2)	酸素吸入の基礎知識とその実際				演習	村田・西田		
13	診察・検査介助技術(3)	薬剤吸入療法の基礎知識とその実際				演習	村田・西田		
14	診察・検査介助技術(4)	一時的吸引, 持続的吸引の実際				演習	村田・西田		
15	学習のまとめ	感染・創傷処置・診察・検査のまとめ				演習	村田・西田		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	100		
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ基礎看護学③基礎看護技術 第6版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	演習方法：演習項目にある看護技術を、演習時間内に実施する。また学生各自の修得状況に応じて、実施回数が複数回となる場合もある（再演習）。看護技術の修得にあたっては、事前の自己学習が前提となる。								

科目名	基礎看護学Ⅹ						看護科		
学年	1年	学期	後期	分野	専門Ⅰ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	箱崎 奈々子				科目 担当者	箱崎 奈々子, 小川 美穂子			
科目 概要	対象者自身にしか体験・理解することができない苦痛への緩和の方法, それに対する安楽確保の技術, また, 与薬に必要な技術を修得し, 看護の必要性を的確に判断できる能力と対象に応じて柔軟に援助ができる能力を養う。								
到達 目標	1. 与薬や輸血を安全に実施するための適切な物品の選択と基本的な手順が理解できる。 2. 苦痛の緩和・安楽確保の技術が実施できる。 3. 誤薬防止, 患者誤認防止, チューブ類の予定外抜去防止, 転倒転落防止, 薬剤・放射線曝露の防止について理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	与薬のための援助技術(1)	投薬における法的根拠と基礎知識				講義	箱崎・小川		
2	与薬のための援助技術(2)	経口与薬, 吸入, 点眼, 点鼻, 座薬の技術				演習	箱崎・小川		
3	注射のための援助技術(1)	注射の種類と特徴, 注射針・器の構造と種類				講義	箱崎・小川		
4	注射のための援助技術(2)	皮下注射, 皮内注射, 筋肉内注射				演習	箱崎・小川		
5	注射のための援助技術(3)	静脈内注射(点滴静脈内注射)				演習	箱崎・小川		
6	注射のための援助技術(4)	静脈内注射(中心静脈カテーテル)				演習	箱崎・小川		
7	注射のための援助技術(5)	輸液速度の調整, 輸液ポンプ				演習	箱崎・小川		
8	輸血のための援助技術(6)	輸血管理の基礎知識				演習	箱崎・小川		
9	安全を守る技術(1)	薬剤投与における対策(誤薬・チューブトラブル)				講義	箱崎・小川		
10	安全を守る技術(2)	誤嚥・窒息・転倒転落防止				講義	箱崎・小川		
11	安全を守る技術(3)	放射線・薬剤曝露の予防				講義	箱崎・小川		
12	苦痛の緩和・安楽確保(1)	安楽な体位				演習	箱崎・小川		
13	苦痛の緩和・安楽確保(1)	ボディメカニクス				演習	箱崎・小川		
14	苦痛の緩和・安楽確保(1)	罨法の実際				演習	箱崎・小川		
15	学習のまとめ	与薬・輸血・安全安楽確保のまとめ				演習	箱崎・小川		
評価方法									
評価指標	定期試験	レポート	-	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	30	-	-	-	-	-	100	
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護技術基礎看護学③ メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	講義内で適宜紹介する								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	基礎看護学XI						看護科			
学年	1年	学期	後期	分野	専門I	時間数	30時間	単位数	1単位	
科目 責任者	大森 幸江				科目 担当者	大森 幸江, 村田 大輔				
科目 概要	対象者の健康を経過別に分け, それぞれの経過をたどる患者の看護と実際の援助の方法を修得する。また, 主要症状について理解し, 看護の必要性を的確に判断できる能力と対象に応じて柔軟に援助ができる能力を養う。									
到達 目標	1. 看護の対象の健康を経過別に分け, それぞれの経過をたどる患者の看護を学び, 実際の援助の方法が理解できる。 2. 主要症状について理解し, その患者の看護について理解できる。									
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員		
1	臨床看護総論とは			臨床判断プロセス			講義	大森・村田		
2	経過段階と看護			急性期, 回復期, 慢性期, 終末期			講義	大森・村田		
3	症状別看護(1)			呼吸機能障害, 循環機能障害			講義	大森・村田		
4	症状別看護(2)			栄養代謝機能障害, 造血機能障害			講義	大森・村田		
5	症状別看護(3)			免疫機能障害, 脳神経機能障害			講義	大森・村田		
6	治療の種類と方法(1)			薬物, 輸液, 手術, 創傷管理			講義	大森・村田		
7	治療の種類と方法(2)			救急蘇生, 安静, 運動, エンゼルケア			講義	大森・村田		
8	事例学習(1)			心筋梗塞の患者さんへの看護			講義	大森・村田		
9	事例学習(2)			心筋梗塞の患者さんへの看護			講義	大森・村田		
10	事例学習(1)			大腸がんの患者さんへの看護			講義	大森・村田		
11	事例学習(2)			大腸がんの患者さんへの看護			演習	大森・村田		
12	事例学習(1)			脳梗塞の患者さんへの看護			演習	大森・村田		
13	事例学習(2)			脳梗塞の患者さんへの看護			演習	大森・村田		
14	チーム医療と看護師の役割			看護師の業務, 多職種連携,			講義	大森・村田		
15	学習のまとめ			学習のまとめ			講義	大森・村田		
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	-	30	-	-	-	-	100		
教科書	任和子他 ナーシング・グラフィカ基礎看護学⑤臨床看護総論 第1版 メディカ出版 ¥2,400+税									
教材・参考図書	高木永子 看護過程に沿った対症看護 Gakken 2010 ¥4,600+税									
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。									
担当教員の 実務経験	救急センター, 泌尿器科, 皮膚科, 形成外科の混合病棟, 緩和ケア病棟にて看護師として17年間の臨床経験があり, 科目の内容に精通している。									

専 門 分 野 II

22単位（600時間）

<ねらい>

- 人間が誕生し成長・発達を遂げ人生を全うする過程における特徴と健康な生活について学ぶ。
- 特に各発達段階におけるセルフケア支援とよりよい生活について考える。
- 各発達段階において多様な健康課題を有する対象に、科学的根拠に基づき看護実践ができる基礎的能力を養う。
- 人間のもつ機能と能力を障害・喪失することで生じる様々な影響な理解し、その人がその人らしく生活することについて考える。
- 人生の終焉にある人とその人を取り巻く人々へ対する看護を学ぶ。
- 対象に共感しながら寄り添う姿勢を養う。

<構 成>

教育内容	科 目	単 位	時間数
成人看護学	成人看護学Ⅰ	1	30
	成人看護学Ⅱ	1	30
	成人看護学Ⅲ	1	30
	成人看護学Ⅳ	1	30
	成人看護学Ⅴ	1	30
	成人看護学Ⅵ	1	30
老年看護学	老年看護学Ⅰ	1	30
	老年看護学Ⅱ	1	30
	老年看護学Ⅲ	1	30
	老年看護学Ⅳ	1	15
小児看護学	小児看護学Ⅰ	1	30
	小児看護学Ⅱ	1	15
	小児看護学Ⅲ	1	30
	小児看護学Ⅳ	1	30
母性看護学	母性看護学Ⅰ	1	30
	母性看護学Ⅱ	1	15
	母性看護学Ⅲ	1	30
	母性看護学Ⅳ	1	30
精神看護学	精神看護学Ⅰ	1	30
	精神看護学Ⅱ	1	15
	精神看護学Ⅲ	1	30
	精神看護学Ⅳ	1	30
合 計		22	600

成人看護学

6単位（180時間）

<ねらい>

成人看護学が対象とする「成人」とは、身体的及び心理・社会的に成長・成熟した人、すなわち「大人」である。成人看護学は、大人を対象に、その人にとって最適な健康を維持、促進するための看護援助を学ぶ。成人看護学Ⅰでは、成人期にある人の成長・成熟により、青年期、壮年期、向老期と3期に分け学習を深める。成人期は、人の一生の中の大半を占める時期と重なる。この時期こそ自立して社会や環境との関わりを持ち、その中で日々の生活を営み、自らの意思決定による判断と責任で行動する。社会的役割のみならず、家庭においても大きな役割を担い、社会的役割や責任が大きいという特徴を持つ。そのため、成人の健康課題はストレスやライフスタイル、加齢に伴う心身の機能も関与する。これらのことを複合的に学び、成人期にある対象を理解する。

成人看護学Ⅱ～Ⅵでは、身体の機能障害に焦点をあて学習を深める。成人看護学Ⅱでは呼吸循環機能障害、成人看護学Ⅲでは消化器、眼・耳鼻咽喉・口腔機能障害、成人看護学Ⅳでは血液・造血器・内分泌・代謝・腎・泌尿器・女性生殖器機能障害、成人看護学Ⅴでは脳・神経・運動器機能障害、成人看護学Ⅵではアレルギー・膠原病・感染症・緩和ケアで構成する。これらの機能障害により、生命の危機・苦痛、悪化と再発の危機、生活障害、治療からの影響を引き起こすことを理解し、援助の具体的方法を学び、実践できるようにする。また対象の健康の保持増進・機能障害からの回復を目指し、その人がその人らしく生活できるセルフケアアプローチを学習する。さらに人生の終焉にある対象者への全人的苦痛に寄り添い、看護の役割を考える機会とする。

<目的>

成人期にある対象者の特徴を理解し、健康の保持増進および健康障害時の看護を学ぶ。

<目標>

1. 成人期にある対象者の特徴と健康課題を理解する。
2. 対象者の健康保持・増進および機能障害からの回復を促す看護を理解する。
3. 人生の終焉にある対象者への看護の役割を理解する。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
成人看護学	成人看護学Ⅰ	1	30
	成人看護学Ⅱ	1	30
	成人看護学Ⅲ	1	30
	成人看護学Ⅳ	1	30
	成人看護学Ⅴ	1	30
	成人看護学Ⅵ	1	30
合計		6	180

科目名	成人看護学Ⅰ（成人保健）							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	田中 初枝			科目 担当者	田中 初枝, 平井 亨樹				
科目 概要	成人看護学概論として、成人期を発達理論から学ぶ。ライフサイクルにおいて長い期間である成人期の健康観、死について、また成人期における健康障害や健康危機状況、看護の特徴についての学びを深める。さらに成人看護に有用な概念について理解し、専門的な知識を修得し、実践に応用できる能力を養う。								
到達 目標	1. 成人期にある対象の特性を理解できる。 2. 成人期にある対象の看護に有用な概念・理論を理解できる。 3. 成人期における健康問題の特徴を知り、ニーズに応じた看護を理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	成人の特徴(1)			成人と生活			講義	田中・平井	
2	成人の成長発達			成人期の発達段階			講義	田中・平井	
3	成人の成長発達と健康			成人期の発達段階と健康			演習	田中・平井	
4	成人期の健康障害(1)			健康観の多様性「セルフケア」「ヘルスプロモーション」			講義	田中・平井	
5	成人期の健康障害(2)			学習の特徴と看護「アンドラゴジー」			講義	田中・平井	
6	成人の看護に有用な概念(1)			生活習慣に関連する健康障害「エンパワーメント」			講義	田中・平井	
7	成人の看護に有用な概念(2)			生活習慣に関連する健康障害「自己効力」			講義	田中・平井	
8	成人の看護に有用な概念(3)			生活習慣に関連する健康障害「病みの軌跡」			講義	田中・平井	
9	成人の看護に有用な概念(4)			健康破綻による危機状況「ストレス」「コーピング」			講義	田中・平井	
10	成人期の健康障害(3)			生活ストレスに関する健康障害と看護			講義	田中・平井	
11	成人期の健康障害(4)			職業に関する健康障害と看護			講義	田中・平井	
12	成人期の健康障害(5)			セクシュアリティに関する健康障害と看護 更年期にみられる健康障害と看護			講義	田中・平井	
13	成人期の健康障害と看護			多様な健康観に対応する看護の方向性 「自己の健康上の課題への取り組みと考察」			演習	田中・平井	
14	成人期の死			死に直面した本人・家族への看護			講義	田中・平井	
15	学習のまとめ			成人期における看護のまとめ			講義	田中・平井	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	60	10	30	-	-	100			
教科書	安酸史子他 ナーシング・グラフィカ 23巻 成人看護学概論 第3版 メディカ出版 ¥3,200+税 安酸史子他 ナーシング・グラフィカ 24巻 健康危機状況/セルフケアの再獲得 第1版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	任和子他 ナーシング・グラフィカ 22巻 臨床看護総論 第3版 メディカ出版 ¥2,400+税								
オフィスアワー	金曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 成人看護学の基礎として学び、必要に応じて復習をしておくこと。								

科目名	成人看護学Ⅱ(急性期看護)						看護学科		
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	平井 亨樹			科目 担当者	白石 淳也, 野田 建二, 平井 亨樹, 田中 初枝				
科目 概要	セルフケアという概念を軸に捉え、「急激な健康破綻と回復過程にある人々を援助する能力」に必要な知識と支援方法を学ぶ。自身の健康を維持・セルフケアすることが困難な危機的状況に焦点を当て、一人ひとりの健康に沿う看護について考える。また、対象をセルフケアが低下した生活者として捉え、健康観に沿い身体面の支援だけでなく、精神・社会面の指導・支援の必要性をリハビリテーション看護の視点も踏まえて学ぶ。そして、専門的知識・技術・態度を統合し、具体的な事例を展開することで、対象に応じた実践に活かせる看護展開能力を養う。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 急激な身体侵襲により急性期から回復期にある対象の特徴および看護を理解できる 2. 対象を生活者として捉え、指導・支援の方法が理解できる。 3. 急激な生体侵襲による生体変化を理解し、必要な看護を考えることができる。 								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	クリティカルケアの考え方	救急・クリティカルケア看護の概要				講義	平井		
2	対象の理解(1)	急性状態の身体的観察とアセスメント				講義	平井		
3	対象の理解(2)	急性状態の精神・社会的観察とアセスメント 家族看護の実際				講義	平井		
4	看護方法の検討(1)	循環機能障害 (虚血性心疾患, 大動脈解離, 弁膜症)				講義	白石		
5	看護方法の検討(2)	呼吸機能障害(急性呼吸不全, 人工呼吸器管理)				講義	白石		
6	看護方法の検討(3)	脳神経障害(脳出血, くも膜下出血, 脳梗塞)				講義	白石		
7	看護方法の検討(4)	運動機能障害(外傷, 骨折)ショック(熱傷・中毒)				講義	白石		
8	看護方法の検討(5)	ショック(熱傷・中毒)				講義	白石		
9	危機状況にある患者の看護(1)	シミュレーション事例展開(肝臓がん・大腸がん)				演習	平井・田中		
10	危機状況にある患者の看護(2)	シミュレーション事例展開(肺がん・薬物中毒)				演習	平井・田中		
11	危機状況にある患者の看護(3)	[事例展開] 急性心筋梗塞の患者(1)				演習	平井・田中		
12	危機状況にある患者の看護(4)	[事例展開] 急性心筋梗塞の患者(2)				演習	平井・田中		
13	危機状況にある患者の看護(5)	生体防御機能障害(急性白血病)				講義	野田		
14	危機状況にある患者の看護(6)	生体防御機能障害(急性白血病)				講義	野田		
15	危機状況にある患者の看護(7)	シミュレーション事例展開(化学療法・放射線療法)				実技	平井・田中		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	60	10	10	20	-	-	100		
教科書	安酸 史子他 ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況/セルフケアの再獲得 第1版 メディカ出版¥3,600+税 安酸 史子他 ナーシング・グラフィカ 成人看護学①成人看護学概論 第3版 メディカ出版 ¥3,200+税 任 和子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論 第1版 メディカ出版¥2,400+税								
教材・参考図書	讚井將光他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護①呼吸器 第1版 メディカ出版 ¥2,400+税 野原隆司他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護②循環器 第1版 メディカ出版 ¥2,700+税 永廣信治他 ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護⑤脳・神経 第1版 メディカ出版 ¥2,700+税 その他、適宜紹介する。								
オフィスアワー	木曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	実技の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて授業日程及び、実技内容を変更することがある。 実技方法: 実技項目にある看護技術は、実技時間内に実技室にて実施。また学生各自の修得状況に応じて、実施回数が複数回となる場合もある。看護技術の習得にあたっては、事前の自己学習が前提となる。								

科目名	成人看護学Ⅲ（周手術期看護）							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	田中 初枝			科目 担当者	田中 初枝, 箱崎 奈々子, 安永 杏子				
科目 概要	周手術期にある成人期の対象の理解と、看護過程の展開を通し、回復過程に応じた看護の実際を理解する。外科的侵襲からの生体反応の観察や、積極的な回復にむけた早期離床、合併症予防といった看護介入を理解する。手術前、手術中、手術後それぞれの過程における看護実践能力、専門的知識・技術・態度を統合して応用できる能力を養う。								
到達 目標	1. 手術療法を受ける対象の生体反応と周手術期の看護、回復過程の看護を理解できる。 2. 主要な術式における周手術各期に必要な看護を理解できる。 3. 周手術期における看護過程の展開を理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	周手術期とは	周手術期の看護とは				講義	田中		
2	周手術期看護(1)	手術侵襲・麻酔と生体反応, 手術前の看護				講義	田中		
3	周手術期看護(2)	手術中の看護				講義	田中		
4	周手術期看護(3)	手術後の看護①<合併症の特徴とその要因>				講義	田中		
5	周手術期看護(4)	手術後の看護②<疼痛コントロール>				講義	田中		
6	周手術期看護(5)	腹腔鏡下手術を受ける患者の看護(1)胆石				講義	田中		
7	周手術期看護(6)	胸腔鏡下手術を受ける患者の看護(2)肺癌				講義	田中		
8	周手術期看護(7)	開腹術を受ける患者の看護(3)胃癌				講義	田中		
9	周手術期看護(8)	開腹術を受ける患者の看護(4)大腸・ストーマ				講義	安永		
10	周手術期看護(9)	人工関節置換術・乳房切除術を受ける患者の看護				講義	安永		
11	周手術期看護(10)	[事例展開] 胃癌・胃摘出術の患者(1)				演習	田中・箱崎		
12	周手術期看護(11)	[事例展開] 胃癌・胃摘出術の患者(2)				演習	田中・箱崎		
13	周手術期看護(12)	術後観察の実際(胃全摘出術の患者)(1)				演習	安永・田中		
14	周手術期看護(13)	術後観察の実際(胃全摘出術の患者)(2)				演習	安永・田中		
15	学習のまとめ	周手術期看護のまとめ				講義	田中		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	100		
教科書	中島恵美子他 ナーシング・グラフィカ 26巻 周術期看護 第3版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高い為、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。代表的な手術療法を受ける患者の看護について学ぶ。病態生理学等の知識は既習であるため、復習をして臨むこと。								

科目名	成人看護学Ⅳ(リハ看護)						看護科		
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目責任者	立岡 孝之			科目担当者	立岡 孝之, 田中 初枝				
科目概要	何らかの健康障害を有し、日々の生活や社会生活に支障をきたしている人とその家族が、障害を抱えながらもその人らしい生活を再構築していく過程において、専門的知識・技術・態度を統合して応用できる能力を養う。								
到達目標	1. 様々な身体機能障害のある対象の特徴および、障害への適応と社会復帰への看護を理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	リハビリテーション看護とは(1)	リハビリテーション看護の専門性と役割				講義	立岡		
2	リハビリテーション看護とは(2)	時期および目的から見たリハビリテーション看護				講義	立岡		
3	リハビリテーション看護とは(3)	リハビリテーション看護に用いられる主要な概念				講義	立岡		
4	リハビリテーション看護とは(4)	チームアプローチと看護の役割				講義	立岡		
5	リハビリテーション看護とは(5)	障害の定義と動向、障害者の権利				講義	立岡		
6	リハビリテーション看護の実際(2)	障害を負った人の心を支える看護				講義	立岡		
7	リハビリテーション看護の実際(3)	日常生活行動の再獲得を援助する看護				講義	立岡		
8	リハビリテーション看護の実際(4)	生活の再構築を支える社会資源の活用				講義	立岡		
9	リハビリテーション看護の実際(5)	呼吸・循環機能障害のある対象の看護				講義	立岡		
10	リハビリテーション看護の実際(6)	運動機能障害のある対象の看護				講義	立岡		
11	リハビリテーション看護の実際(7)	脳神経機能障害のある対象の看護				講義	立岡		
12	リハビリテーション看護の実際(8)	嚥下障害のある対象の看護				講義	立岡		
13	リハビリテーション看護の実際(9)	[事例展開] 脊髄損傷のある対象の看護(1)				演習	立岡・田中		
14	リハビリテーション看護の実際(5)	[事例展開] 脊髄損傷のある対象の看護(2)				演習	立岡・田中		
15	学習のまとめ	リハビリテーション看護のまとめ				講義	立岡		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	10	20	-	-	-	100		
教科書	奥宮暁子他 ナーシング・グラフィカ成人看護学⑤リハビリテーション看護 第3版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。成人期の健康障害として代表的な機能障害と回復・リハビリテーション看護について学ぶ。病態生理学等は既習であるため、復習をして臨むこと。								
担当教員の実務経験	急性期病棟、循環器内科病棟にて看護師として9年間の臨床経験があり、科目の内容に精通している。								

科目名	成人看護学Ⅴ(慢性期看護)						看護科		
学年	2	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	箱崎 奈々子			科目 担当者	箱崎 奈々子, 平井 亨樹				
科目 概要	慢性期的な経過をたどる健康障害をもつ成人とその家族に対する看護について学習する。成人期に起こりやすい健康障害と生活機能障害の特徴, および疾病・障害の認知と受容に対するセルフマネジメント能力を高め, 専門的知識・技術・態度を統合して応用できる能力を養う。								
到達 目標	1. 慢性疾患の特徴および慢性疾患を抱えて生きる成人の特徴がわかる。 2. 成人期に起こりやすい慢性健康障害に対する看護の役割が分かる。 3. 代表的な慢性疾患を抱えて生きる成人の事例を通して, 病気の悪化予防, セルフケア, 仕事・家庭生活との両立を目指す看護方法を学ぶ。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	セルフマネジメント(1)	セルフマネジメントのための対象理解				講義	箱崎		
2	セルフマネジメント(2)	エンパワメントモデル				講義	箱崎		
3	セルフマネジメント(3)	自己効力・コミュニケーション理論				講義	箱崎		
4	セルフマネジメントの過程(1)	対象理解				演習	箱崎・平井		
5	セルフマネジメントの過程(2)	援助方法				演習	箱崎・平井		
6	セルフマネジメントの過程(3)	評価の仕方				演習	箱崎・平井		
7	セルフマネジメント看護(1)	糖尿病患者のセルフマネジメント				演習	箱崎		
8	セルフマネジメント看護(2)	腎不全患者のセルフマネジメント				講義	箱崎		
9	セルフマネジメント看護(3)	肝硬変患者のセルフマネジメント				講義	箱崎		
10	セルフマネジメント看護(4)	慢性呼吸不全患者のセルフマネジメント				講義	箱崎		
11	セルフマネジメント看護(5)	HIV 患者のセルフマネジメント				講義	箱崎		
12	セルフマネジメント看護(6)	慢性心不全患者のセルフマネジメント				講義	箱崎		
13	セルフマネジメント看護(7)	癌患者のセルフマネジメント				講義	箱崎		
14	セルフマネジメント看護(8)	難病患者のセルフマネジメント				演習	箱崎・平井		
15	学習のまとめ	慢性期看護のまとめ				演習	箱崎		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	-	30	-	-	-	100		
教科書	安酸史子他 ナーシング・グラフィカ セルフマネジメント 第3版 メディカ出版 ¥3,000+税								
教材・参考図書	講義内で適宜紹介する								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある								
担当教員の 実務経験	呼吸器内科, 循環器内科, ICUにて看護師として7年以上の臨床経験があり, 科目の内容に精通している。								

科目名	成人看護学Ⅵ (ターミナル看護)						看護科		
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	大森 幸江			科目 担当者	大森 幸江, 金崎 美穂, 廣畑 由美子, 岩崎 瑞枝				
科目 概要	人生の終焉を迎える対象を理解し, 援助の方法を修得する。その一方法として, 緩和ケアにおける東洋医学の活用, リンパ浮腫治療について学び, 緩和ケアについて理解を深める。さらにグリーフケアについて理解し, 専門的な知識・技術・態度を統合し応用できる能力と自己の死生観を深める能力を修得する。								
到達 目標	1. ターミナル期にある特徴を知り, 緩和ケアの方法を理解できる。 2. ターミナル期にある患者及びその家族の特徴を								
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員		
1	緩和ケア概論		緩和ケアとは, 国内外における緩和ケア			講義	大森		
2	身体症状と看護(1)		がん性疼痛のメカニズムと治療			講義	大森		
3	身体症状と看護(2)		全身倦怠感, 消化器症状, 呼吸困難など			講義	大森		
4	身体症状と看護(3)		リンパ浮腫, 泌尿器症状, 治療に伴う症状			演習	大森		
5	精神症状と看護(1)		不安, 抑うつの治療と看護			講義	大森		
6	精神症状と看護(2)		せん妄, 不眠の治療と看護			講義	大森		
7	社会的ケア		社会的苦痛とは, ソーシャルサポート			講義	大森		
8	スピリチュアルケア		スピリチュアルペインと看護			講義	大森		
9	意思決定		意思決定支援			講義	廣畑		
10	コミュニケーション		SHARE, 難しいコミュニケーション			演習	岩崎・大森		
11	在宅緩和ケア		在宅での看取りの特徴			講義	金崎		
12	臨死期のケア		臨終後のケア, 家族ケア			講義	大森		
13	家族ケア		看護の対象としての家族, 悲嘆, 遺族ケア			講義	岩崎		
14	非がん疾患の緩和ケア		非がん疾患の終末期の特徴と緩和ケア			講義	廣畑		
15	学習のまとめ		まとめ			講義	大森		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	80	-	20	-	-	-	-	-	100
教科書	宮下光令 ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア 第2版 メディカ出版 ¥2,400+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

老 年 看 護 学

4 単 位 (1 0 5 時 間)

<ねらい>

老年期はライフサイクルの最終段階であり、人生の円熟期である。同時に、加齢による心身の変化の中で自己の老いと葛藤を持ちあわせている時期でもある。人生の終末に向けそれぞれの生活の中で培った経験から、精神的・社会的な価値観の個人差は大きく、個々の健康な生活に対するニーズも多様化する。そのため生活者としての視点で、高齢者をとりまく環境（家族や社会資源）との関連にも着目していくことが必要であり、過去も未来も見据えた広い視野で考えられる能力を培うことが要求される。

老年看護学では、このような高齢者の心身の変化や社会背景、生活状況を理解し、個人に応じた豊かな老年期が過ごせるための看護について学ぶ。

<目 的>

高齢者の特徴と高齢社会における老年看護の役割を理解し、加齢と生活障害の程度に応じた、その人らしい生活を支援できる能力を養う。

<目 標>

1. 高齢者のライフステージとその健康課題を理解する。
2. わが国における高齢者の保健・医療・福祉制度の動向と諸問題を理解する。
3. 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解し、高齢者の日常生活支援技術を修得する。
4. 健康障害の程度に応じた高齢者の看護を捉え、実践する能力を修得する。

<構 成>

教育内容	科目	単位	時間数
老年看護学	老年看護学Ⅰ	1	30
	老年看護学Ⅱ	1	30
	老年看護学Ⅲ	1	30
	老年看護学Ⅳ	1	15
合 計		4	105

科目名	老年看護学Ⅰ							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	小川 美穂子			科目 担当者	小川 美穂子				
科目 概要	老年看護学概論として、ライフサイクルにおける老年期の特徴を理解する。また、加齢に伴う老化を理解し、高齢者の尊厳について理解するために必要な専門的知識を修得する。								
到達 目標	1. 老年期を生きる高齢者の身体的・精神的・社会的機能の加齢変化を理解する。 2. 高齢者の生活に関連する保健医療福祉サービスについて理解できる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	高齢者の理解		ライフサイクルからみた高齢者の理解				講義	小川	
2	高齢者を取りまく社会		高齢者の生活と家族・高齢者を支える制度				講義	小川	
3	長期療養施設・在宅の看護		介護保険施設・在宅				講義	小川	
4	高齢者看護の基本(1)		高齢者看護の特性, 高齢者看護に関わる諸理論				講義	小川	
5	高齢者看護の基本(2)		高齢者看護の倫理				講義	小川	
6	高齢者看護の基本(3)		高齢者に対するアセスメント				講義	小川	
7	高齢者看護の基本(5)		高齢者のバイタルサインの特性, 高齢者によく見られる疾患				講義	小川	
8	高齢者看護の基本(6)		高齢者看護におけるチームアプローチ				講義	小川	
9	高齢者のヘルスプロモーション(1)		高齢者の健康づくり, 生活習慣病予防				講義	小川	
10	高齢者のヘルスプロモーション(2)		転倒予防・認知症予防				講義	小川	
11	高齢者のヘルスプロモーション(3)		健康増進プログラム参加者の事例				講義	小川	
12	生活を支える看護(1)		コミュニケーション, 食生活				講義	小川	
13	生活を支える看護(2)		セクシュアリティ, 住まい				演習	小川	
14	生活を支える看護(3)		経済状態, 社会参加				講義	小川	
15	学習のまとめ		老年看護学概論のまとめ				演習	小川	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	-	100	
教科書	古川裕之他 ナーシング・グラフィック 老年看護学① 高齢者の健康と障害 第6版 メディカ出版 ¥3,400+税								
教材・参考図書	古川裕之他 ナーシング・グラフィック 老年看護学② 高齢者看護の実践第5版 メディカ出版 ¥3,600+税 高齢者類似体験教材								
オフィスアワー	講義時に適時確認すること								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	老年看護学Ⅱ						看護科		
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	小川 美穂子			科目 担当者	小川 美穂子, 村田 大輔				
科目 概要	高齢者の生活機能の視点からアセスメントし、安全・安楽・自立を踏まえた援助の方法を理解する。健康障害を持つ高齢者の特徴をアセスメントし、その健康レベルに応じた援助の方法を理解し、専門的な知識・実践する力を養う。食生活、排泄、清潔や衣生活、移動・移乗、睡眠や活動についての具体的な援助技術を習得する。								
到達 目標	1. 加齢による身体的・精神的・社会的機能の変化が高齢者の生活に及ぼす影響を理解する。 2. 高齢者の生活機能の視点からアセスメントし、安全・安楽・自立をふまえた援助の方法を理解する。								
回数	単元項目		授業内容			形態	担当教員		
1	食生活を支える看護(1)		食事・食事に影響を及ぼす要因			講義	小川		
2	食生活を支える看護(2)		脱水・摂食嚥下障害・低栄養			講義	小川		
3	食生活を支える看護(3)		栄養・食事の援助			演習	小川・村田		
4	排泄を支える看護(1)		排泄・加齢による排泄の変化			講義	小川		
5	排泄を支える看護(2)		尿失禁・便秘・下痢			講義	小川		
6	排泄を支える看護(3)		排泄の援助			演習	小川・村田		
7	清潔・衣生活を支える看護(1)		清潔・衣生活			講義	小川		
8	清潔・衣生活を支える看護(2)		痒み・痛み・痺れ			講義	小川		
9	清潔・衣生活を支える看護(3)		清潔・衣生活の援助			演習	小川・村田		
10	活動と休息を支える看護(1)		活動と休息			演習	小川・村田		
11	活動と休息を支える看護(2)		視覚・聴覚の障害			演習	小川・村田		
12	活動と休息を支える看護(3)		睡眠・睡眠障害			講義	小川		
13	歩行・移動を支える看護(1)		高齢者の歩行と移動			講義	小川		
14	歩行・移動を支える看護(2)		歩行・移動の支援			演習	小川・村田		
15	歩行・移動を支える看護(3)		歩行・移動を助ける補助具の使用			演習	小川・村田		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	100		
教科書	堀内ふき他 ナンキンググラフィック 老年看護学② 高齢者看護の実践 第5版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	講義内で適宜紹介する								
オフィスアワー	講義時に適時確認すること								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	老年看護学Ⅲ						看護科		
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	村田 大輔			科目 担当者	村田 大輔, 小川 美穂子, 矢倉 奈保美				
科目 概要	健康障害を持つ高齢者の特徴をアセスメントし、その健康レベルに応じた援助の方法を理解する。検査・治療・リハビリテーション・手術を受ける高齢者の看護、終末期における高齢者と家族への看護するための専門的知識・技術・態度を統合し、実践できる基礎的能力を修得する。								
到達 目標	1. 健康障害をもつ高齢者の特徴をアセスメントし、その健康レベルに応じた援助の方法を理解できる。 2. 検査・治療・リハビリテーション・手術を受ける高齢者の看護について理解できる。 3. 終末期における高齢者と家族への看護について理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	高齢者の生活を支える看護 (2)	呼吸機能障害を支える看護				講義	村田		
2	高齢者の生活を支える看護 (2)	循環機能障害を支える看護 (1)				講義	村田		
3	高齢者の生活を支える看護 (3)	循環機能障害を支える看護 (2)				講義	村田		
4	高齢者の生活を支える看護 (4)	高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護				講義	村田		
5	高齢者の生活を支える看護 (1)	歩行・移動を支える看護 (1) (骨粗鬆症・骨折・褥瘡)				講義	矢倉		
6	高齢者の生活を支える看護 (1)	歩行・移動を支える看護 (2) (骨粗鬆症・骨折・褥瘡)				講義	矢倉		
7	治療を受ける高齢者の看護 (1)	薬物療法・手術療法				講義	矢倉		
8	治療を受ける高齢者の看護 (2)	リハビリテーション・診察・検査・入院・退院・行動制限				講義	矢倉		
9	終末期の看護	終末期看護の実際				講義	村田		
10	事例による看護過程 (1)	事例紹介 (大腿骨頸部骨折・脳梗塞)				演習	村田・小川		
11	事例による看護過程 (2)	情報の分類とアセスメント				演習	村田・小川		
12	事例による看護過程 (3)	全体像と看護の焦点				演習	村田・小川		
13	事例による看護過程 (4)	診断確定				演習	村田・小川		
14	事例による看護過程 (5)	看護計画の立案と評価				演習	村田・小川		
15	学習のまとめ	高齢者のリハビリテーションのまとめ				演習	村田・小川		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	70	30	-	-	-	-	100		
教科書	堀内ふさ他 ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践第5版メデイカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	古川裕之他 ナーシング・グラフィカ老年看護学① 高齢者の健康と障害 第6版 メデイカ出版 ¥3,400+税								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								
担当教員の 実務経験	I C U, 脳神経センター, 養護老人ホームにて看護師として15年以上の臨床経験があり、科目の内容に精通している。								

科目名	老年看護学Ⅳ							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	村田 大輔				科目 担当者	村田 大輔, 小川 美穂子, 西川 敬一			
科目 概要	老年期におこりやすい疾病・障害に応じた看護・援助方法を学ぶ。また、認知症をもつ高齢者の特徴を理解し、コミュニケーションの方法を修得する。修得した専門的知識・技術・態度を統合して実践できる基礎的能力を養う。								
到達 目標	1. 老年期に起こりやすい疾病・障害に応じた看護・援助方法を理解できる。 2. 認知症をもつ高齢者の特徴を理解し、コミュニケーションの方法を身につけることができる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	高齢者のリスクマネジメント(1)			高齢者のリスクマネジメントの考え方			講義	西川	
2	高齢者のリスクマネジメント(2)			高齢者に多い医療事故(転倒・転落 熱傷 誤嚥 窒息 チューブ類の自己抜去)			講義	西川	
3	認知症患者の看護(1)			認知症をもつ高齢者の看護			講義	西川	
4	認知症患者の看護(2)			認知症をもつ高齢者とのコミュニケーション			講義	西川	
5	事例による高齢者への実際の援助(1)			老年看護学Ⅲで事例展開した患者の援助計画			講義		
6	事例による高齢者への実際の援助(2)			援助の実際(フィジカルアセスメント・日常生活援助の実際)(1)			演習		
7	事例による高齢者への実際の援助(3)			援助の実際(フィジカルアセスメント・日常生活援助の実際)(2)			演習		
8	学習のまとめ			高齢者への看護のまとめ			演習		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合(%)	70		30	-	-	-	-	-	100
教科書	古川裕之他 ナーシング・グラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害 第6版メディカ出版 ¥3,400+税 堀内ふき他 ナーシング・グラフィカ老年看護学②高齢者看護の実際 第5版メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書									
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								
担当教員の 実務経験	ICU, 脳神経センター, 養護老人ホームにて看護師として15年以上の臨床経験があり、科目の内容に精通している。								

小児看護学

4単位（105時間）

<ねらい>

小児は限りない可能性を秘めた未来を担う存在である。また、成長発達が著しく人間形成の大切な時期にある。小児期の過ごし方がその後の身体的・精神的・社会的・霊的成熟に大きな影響を与えるため、小児を取り巻く人々や社会は、小児が健全に発育していけるような環境を整えなければならない。小児看護学は、このようなライフステージにある小児の健康の保持増進、健康回復を促すとともに、すべての小児が健全な成長発達を遂げられるよう援助することを学習する。

<目的>

成長発達を続ける小児の特徴を理解し、あらゆる健康状態にある小児とその家族に対する看護を実践できる能力を養う。

<目標>

1. 小児各期の特徴と小児の健やかな育成に関わる看護師の役割を理解する。
2. 小児保健・医療・福祉の動向と対策を学び、小児の健康に関わる諸問題の概要を理解する。
3. 成長発達段階に応じた日常生活援助に必要な基本的知識と技術を修得する。
4. 小児期に特有な疾患とその症状、検査、治療、看護について理解する。
5. 健康課題が小児とその家族に与える影響について理解する。
6. あらゆる健康レベルの小児とその家族に応じた看護実践能力を養う。
7. 小児領域の課題である「不慮の事故」、「子どもの虐待」についての理解を深める。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
小児看護学	小児看護学Ⅰ	1	30
	小児看護学Ⅱ	1	15
	小児看護学Ⅲ	1	30
	小児看護学Ⅳ	1	30
合計		4	105

科目名	小児看護学 I							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	谷 由佳			科目 担当者	谷 由佳, 奥田 佐和				
科目 概要	小児看護学概論として, 小児各期の成長・発達を理解する。また, 小児を取り巻く社会情勢や法的制度について理解し, 実践的に応用できる専門的知識を修得する。								
到達 目標	1. 小児看護の特徴と理念が理解できる。 2. 小児を取り巻く社会情勢や法的制度について理解できる。 3. 小児への効果的な支援を提供する基盤として小児各期の成長・発達について学び, 子どもを理解する。 4. 児童虐待について学び, 社会的支援を理解し, 子どもの権利や社会人としての責務を理解する。								
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員	
1	小児看護学で用いられる概念と理論	小児看護学の対象・目的と役割					講義	谷	
2	子どもの権利条約と小児看護	子どもの権利思想の流れ, 小児看護と倫理的配慮 子どもの権利条約と小児医療					講義 演習	谷・奥田	
3	小児統計と母子保健	統計からみる小児の動向, 母子保健の指標					講義	奥田	
4	小児看護と法律	児童福祉法, 母子保健法, 健やか親子 21					講義	奥田	
5	子どもの成長・発達と看護	成長・発達とは, 成長発達に影響する因子					講義	谷	
6	乳児期の成長・発達と看護	乳児の形態的・身体生理的特徴と各機能の発達					講義	奥田	
7	幼児期の成長・発達と看護	幼児の形態的・身体生理的特徴と各機能の発達					講義	奥田	
8	小児の事故防止と安全教育	小児の事故の特徴と原因, 小児の不慮の事故					講義	谷	
9	学童の成長・発達と看護	学童期の形態的・身体生理的特徴と各機能の発達					講義	谷	
10	思春期の成長発達と看護	思春期の形態的・身体生理的特徴と各機能の発達					講義	谷	
11	予防接種	予防接種法, 学校保健法, 予防接種の実際					講義	谷	
12	子どもと虐待	子どもの虐待, 虐待予防と地域の連携					講義	奥田	
13	子どもと生活習慣 子どもとメディア(1)	グループワーク					演習	谷・奥田	
14	子どもと生活習慣 子どもとメディア(2)	発表					演習	谷・奥田	
15	学習のまとめ	小児看護学概論のまとめ					演習	谷	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	70	-	10	20	-	-	100		
教科書	中野綾美 ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 第6版 メディカ出版 ¥3,800+税								
教材・参考図書	厚生統計協会編集 国民衛生の動向 厚生統計協会出版 ¥2,450+税								
オフィスアワー	金曜日午前中								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	小児看護学Ⅱ						看護科		
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅱ	時間	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	谷 由佳			科目 担当者	谷 由佳				
科目 概要	病気や症状の経過とともに、さまざまな状況におかれる入院が、子どもの成長発達や家族にどのような影響を及ぼすのか理解する。また、外来受診や入院、検査・治療・処置、活動制限や隔離など小児看護の特徴を踏まえ、専門的知識・技術・態度を統合し、看護師の役割と看護を実践できる基礎的能力を修得する。								
到達 目標	1. 入院・受診が必要な小児の特徴を理解することができる。 2. 小児の特有な健康障害に対する検査、処置・プレパレーションの方法が理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	健康障害をもつ子ども・ 家族の看護	子どもの病気の理解、ストレスと対処・支援・援助				講義 演習	谷・奥田		
2	援助関係を形成する技術	小児とのコミュニケーションの発達の特徴 プレパレーションの目的と方法				講義 演習	谷・奥田		
3	外来における 小児と家族の看護	外来における子どもと家族への援助 小児外来の環境虐待への気づき 事故防止				講義 演習	谷・奥田		
4	検査・処置を受ける小児 と家族の看護	小児の説明と同意 腰椎穿刺・骨髄穿刺・検体の採取（採血・採尿） 酸素療法 吸引 与薬 注射				講義	谷		
5	体動制限と 小児と家族の看護	身体測定、乳児ベッドの取扱い、抑制				演習	谷・奥田		
6	プレパレーション演習 (1)	プレパレーションのグループワーク				演習	谷・奥田		
7	プレパレーション方法 (2)	プレパレーションのグループワーク発表				演習	谷・奥田		
8	学習のまとめ	小児の入院・受診への看護のまとめ				演習	谷・奥田		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	70	10	10	10	-	-	100		
教科書	中野綾美 ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 第6版 メディカ出版 ¥3,800+税 中野綾美 ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 第4版 メディカ出版 ¥3,200+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	小児看護学Ⅲ						看護科		
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	谷 由佳			科目 担当者	谷 由佳, 奥田 佐和, 岩崎 瑞枝				
科目 概要	小児のアセスメントに必要な技術, フィジカルアセスメントをはじめ, 子どもの特有の病態・症状・治療について修得する。また, 医療技術の高度化に伴い, 在宅に移行する子どもが増えつつあるため, 障害をもった子どもとその家族への理解を深め, 死に向かう子どもとその家族について理解し, 専門的知識・技術・態度を統合して応用できる基礎的能力を修得する。								
到達 目標	1. 小児期に特徴的な疾患の病態・症状・診断・治療を理解し, 必要な看護技術を学ぶことができる。 2. 先天性疾患・障害を持つ小児と家族の看護について理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	小児のフィジカルアセスメント	バイタルサインの測定				講義	谷		
2	小児看護技術(1)	小児への食物・栄養の摂取の実際 (離乳食・調乳・食事援助方法・衣類の選択)				演習	谷・奥田		
3	小児看護技術(2)	小児の経管栄養・歯磨きトレーニング) 小児への排泄の援助の実際 (おむつ交換・浣腸)				講義	谷		
4	保育園児との コミュニケーション	レクリエーション計画立案				演習	谷・奥田		
5	急性期にある小児(1)	急性期にある小児の特徴と家族への看護				講義	谷		
6	急性期にある小児(2)	救命救急を必要とする小児と家族の看護				講義	谷		
7	手術を受ける子どもの看護	手術を受ける小児の特徴と家族への援助				講義	谷		
8	運動器疾患	主な小児の運動器筋疾患 (先天性股関節脱臼)				講義	谷		
9	先天異常, 遺伝性疾患	主な先天異常, 遺伝性疾患をもつ小児の看護				講義	谷		
10	新生児の疾患と看護	主な新生児の疾患, 小児と家族の看護				講義	谷		
11	発達障害のある小児	主な発達障害の種類と特徴				講義	谷		
12	神経疾患	主な小児の神経疾患 (てんかん, 脳性麻痺)				講義	谷		
13	終末期にある小児	終末期の特徴, 小児を亡くした家族の看護				講義	岩崎		
14	在宅における小児と家族	在宅療養を必要とする子どもと家族の特徴				講義	岩崎		
15	学習のまとめ	疾患を持つ小児への看護のまとめ				演習	谷		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	70	10	10	10	-	-	100		
教科書	中野綾美 ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 第6版 メディカ出版 ¥3,800+税 中野綾美 ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 第4版 メディカ出版 ¥3,200+税 廣間武彦他 ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護 第2版 メディカ出版 ¥3,200+税								
教材・参考図書	厚生統計協会編集 国民衛生の動向 厚生統計協会出版 ¥2,450+税								
オフィスアワー	金曜日午前中								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	小児看護学Ⅳ						看護科		
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	谷 由佳			科目 担当者	谷 由佳				
科目 概要	先天性疾患・障害をもつ小児と家族の看護について修得する。また、専門的な知識・技術・態度を統合して実践的に応用できる小児期に特徴的な疾患の病態・症状・診断・治療について理解できる能力を修得する。								
到達 目標	1. 先天性疾患・障害を持つ小児と家族の看護について理解できる。 2. 小児期に特徴的な疾患の病態・症状・診断・治療を理解し、看護に活かすことができる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	慢性期にある小児の看護		慢性期にある小児の特徴と家族への看護				講義	谷	
2	災害を受けた小児の看護		災害を受けた小児の特徴と家族への看護				講義	谷	
3	免疫・アレルギー疾患 感染症		主な小児の免疫・アレルギー疾患, 感染症				講義	谷	
4	呼吸器疾患		主な小児の呼吸器疾患, ウイルス性・細菌性疾患				講義	谷	
5	血液疾患・悪性新生物		主な小児の血液・造血器疾患, 固形腫瘍疾患				講義	谷	
6	腎・泌尿器疾患		主な小児の腎・泌尿器疾患				講義	谷	
7	循環器疾患		主な小児の循環器疾患				講義	谷	
8	消化器疾患		主な小児の消化器疾患				講義	谷	
9	小児看護の実践方法(1)		事例による小児看護過程の展開				演習	谷・奥田	
10	小児看護の実践方法(2)		PBL 演習(1)				演習	谷・奥田	
11	小児看護の実践方法(3)		PBL 演習(2)				演習	谷・奥田	
12	小児看護の実践方法(4)		PBL 演習(3)				演習	谷・奥田	
13	小児看護の実践方法(5)		PBL 演習(4)				演習	谷・奥田	
14	小児看護の実践方法(6)		発表				演習	谷・奥田	
15	学習のまとめ		先天性疾患・障害をもつ小児の看護のまとめ				講義	谷	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	課題	-	-	合計		
評価割合(%)	70	10	10	10	-	-	100		
教科書	中野綾美 ナーシング・グラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護 第6版 メディカ出版 ¥3,800+税 中野綾美 ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術 第4版 メディカ出版 ¥3,200+税 廣間武彦他 ナーシング・グラフィカ 小児看護学③ 小児の疾患と看護 第2版 メディカ出版 ¥3,200+税								
教材・参考図書	山元恵子他 写真でわかる小児看護技術 インターメディカ ¥2,500+税 厚生統計協会編集 国民衛生の動向 厚生統計協会出版 ¥2,450+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 小児看護の実践方法は、事例により看護過程を展開し、PBL 演習によりグループワークの後、発表する。								

母性看護学

4単位（105時間）

<ねらい>

現在，“母性”を取り巻く社会環境の変化は著しく，母性看護の役割はますます拡大されつつある。その対象は，妊産褥婦とその子どもを含む全てのライフサイクルにある女性のみならず，そのパートナーや家族，さらに地域社会を含む。これをふまえて，母性看護学では主に“女性のライフサイクル”と“マタニティサイクルにおけるケア”について学ぶ。

また，体外受精，代理母，クローン技術などの生殖技術の進歩に伴って問われる生命倫理，リプロダクティブヘルスケアについても考える機会とする。

<目的>

母性の特徴を理解し，女性の一生を通じた健康の維持，増進，疾病の予防および回復に向けた看護を実践できる基礎能力を養う。

<目標>

1. 母性看護の概念と役割を理解できる。
2. 女性のライフサイクルと各期の身体的，心理・社会的特徴を理解できる。
3. 母子保健・医療・福祉の動向と対策を学び，母性に関する諸問題について考える。
4. マタニティサイクルにある対象者の経過と健康からの逸脱状態を理解できる。
5. マタニティサイクルにある対象者がよりよい生活を送るための看護を理解できる。
6. 母性看護学における基本技術を修得する。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
母性看護学	母性看護学Ⅰ	1	30
	母性看護学Ⅱ	1	15
	母性看護学Ⅲ	1	30
	母性看護学Ⅳ	1	30
合計		4	105

科目名	母性看護学 I							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	奥田 佐和			科目 担当者	奥田 佐和				
科目 概要	母性看護学概論として、ライフサイクルからみた女性の特徴を理解する。また、ライフステージ各期の女性の成熟過程を理解し、身体的・精神的・社会的変化を学ぶ能力を養う。さらにリプロダクティブヘルスケアについて理解し、実践的に応用できる専門的知識を取得する。								
到達 目標	1. ライフサイクルからみた女性の特徴を理解できる。 2. リプロダクティブヘルスケアについて理解できる。 3. 女性の健康問題と看護について考えることができる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	母性看護の基盤となる概念(1)			母性の定義/特性と母親役割獲得過程			講義	奥田	
2	母性看護の基盤となる概念(2)			女性のライフサイクルと母性看護の実践概念			講義	奥田	
3	リプロダクティブヘルス(1)			リプロダクティブヘルスとヘルスプロモーション			講義	奥田	
4	リプロダクティブヘルス(2)			セクシャリティとジェンダー/性意識の発達			講義	奥田	
5	リプロダクティブヘルス(3)			母子保健の動向と関連法規, 施策, 看護支援			講義	奥田	
6	リプロダクティブヘルス(4)			母性看護領域における看護倫理			講義	奥田	
7	リプロダクティブヘルス(5)			母性看護領域における倫理的問題: GW			講義	奥田	
8	リプロダクティブヘルス(6)			母性看護領域における倫理的問題: GW 発表			講義	奥田	
9	生殖に関する生理			生殖器, 性周期, 妊娠のメカニズム等			講義	奥田	
10	生殖における健康問題と看護			月経異常・性感染症・女性生殖器の腫瘍			講義	奥田	
11	ライフステージ各期の特徴			女性のライフステージにおける各期の特徴			講義	奥田	
12	加齢とホルモンの変化(1)			更年期女性の健康問題と看護			講義	奥田	
13	加齢とホルモンの変化(2)			老年期女性の健康問題と看護			講義	奥田	
14	DVと性暴力			DVとは, 性暴力と看護支援等			講義	奥田	
15	学習のまとめ			まとめ			講義	奥田	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	80	-	20	-	-	-	100		
教科書	中込さと子他 ナーシング・グラフィカ母性看護学①概論・リプロダクティブヘルスと看護 第1版 メディカ出版 ¥2,640+税								
教材・参考図書	厚生統計協会編集 国民衛生の動向 厚生統計協会出版 ¥2,450+税								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 新聞や雑誌, テレビなどの母性看護に関するニュースに目を向けること。								

科目名	母性看護学Ⅱ							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅱ	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	奥田 佐和			科目 担当者	奥田 佐和, 益永孝子				
科目 概要	妊娠期における女性の身体的・心理的・社会的変化から、妊娠期にある対象者への看護師の役割の専門的知識の理解と看護を实践できる能力を修得する。								
到達 目標	1. 妊娠期における身体的・心理的・社会的変化を理解できる。 2. 妊娠期の看護を理解できる。 3. 妊娠期の異常を理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	マタニティサイクルにある人々の看護の主要な概念			母性看護の中心概念・母性看護実践を支える概念			講義	益永	
2	妊婦の看護(1)			妊娠期における看護師の役割, 妊婦の生理①			講義	益永	
3	妊婦の看護(2)			妊婦の生理②			講義	益永	
4	妊婦の看護(3)			妊婦と胎児のアセスメント①等			講義	益永	
5	妊婦の看護(4)			妊婦の心理・社会的変化と看護等			講義	益永	
6	妊婦の看護(5)			健康維持のためのセルフマネジメント等			講義	益永	
7	妊娠期の異常			妊娠期の異常と看護, 妊娠に伴う異常等			講義	奥田	
8	学習のまとめ			まとめ			講義	奥田	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	小林康江他 ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の实践 第1版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 新聞や雑誌, テレビなどの母性看護に関するニュースに目を向けること。								

科目名	母性看護学Ⅲ							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	奥田 佐和			科目 担当者	奥田 佐和, 益永 孝子				
科目 概要	周産期における分娩・産褥の女性の身体的・心理的・社会的変化を理解する専門的知識を修得する。また、新生児への看護師の役割と看護を実践できる能力を修得する。								
到達 目標	1. 分娩期・産褥期・新生児期における身体的・心理的・社会的変化を理解できる。 2. 分娩期・産褥期・新生児期の看護を理解できる。 3. 分娩期・産褥期・新生児期の異常を理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	産婦の看護(1)			分娩期における看護師の役割・分娩の生理 産婦と胎児のアセスメント			講義	益永	
2	産婦の看護(2)			産婦のニーズと看護, 家族の心理			講義	益永	
3	分娩期の異常(1)			産道・娩出力・娩出物の異常・臍帯の異常 等			講義	益永	
4	分娩期の異常(2)			産道・娩出力・娩出物の異常等			講義	益永	
5	産褥期の看護(1)			産褥期の定義, 看護師の役割, 産褥の生理 等			講義	益永	
6	産褥期の看護(2)			産褥期のアセスメント, 日常生活, セルフケ ア等			講義	益永	
7	産褥期の看護(3)			母乳育児と看護等			講義	益永	
8	産褥期の異常(1)			産褥期の出血・血栓症, 感染症, 排尿障害 等			講義	益永	
9	産褥期の異常(2)			乳房トラブル, 産褥精神障害, 帝王切開等			講義	益永	
10	産褥期の異常(3)			流産・死産後の女性と家族への看護等			講義	益永	
11	新生児の看護(1)			新生児期における看護師の役割等			講義	奥田	
12	新生児の看護(2)			新生児の生理, アセスメント			講義	奥田	
13	新生児の看護(3)			新生児期のケア			講義	奥田	
14	新生児期の異常			ハイリスク新生児の特徴, 看護のポイント等			講義	奥田	
15	学習のまとめ			まとめ			講義	奥田	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	10	20	-	-	-	-	100	
教科書	小林康江他 ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 第1版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 新聞や雑誌, テレビなどの母性看護に関するニュースに目を向けること。								

科目名	母性看護学Ⅳ							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	奥田 佐和			科目 担当者	奥田 佐和, 谷 由佳				
科目 概要	専門的知識・技術・態度を統合し、周産期における妊娠期・分娩期・産褥期における対象の特徴から、各期における看護を实践できる基礎的能力を修得する。								
到達 目標	1. 妊娠・出産・産褥期における看護技術が実践できる。 2. 新生児期における看護技術が実践できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	妊婦の看護に関わる技術(1)			妊婦のヘルスアセスメント等			講義・演習	奥田・谷	
2	妊婦の看護に関わる技術(2)			内診時の援助・乳房の観察とアセスメント等			講義・演習	奥田・谷	
3	妊婦の看護に関わる技術(3)			超音波診断法・NST・妊婦体操等			講義・演習	奥田・谷	
4	妊婦の看護に関わる技術(4)			マイナートラブル・切迫早産入院中のケア等			講義・演習	奥田・谷	
5	産婦の看護に関わる技術(1)			入院までのケア, 入院時の観察, 等			講義・演習	奥田・谷	
6	産婦の看護に関わる技術(2)			分娩監視装置・ドプラー法, 分娩進行の観察, 等			講義・演習	奥田・谷	
7	産婦の看護に関わる技術(3)			産婦の基本的ニーズのケア, 分娩体位等			講義・演習	奥田・谷	
8	産婦の看護に関わる技術(4)			早期母子接触, 分娩直後・帝王切開時のケア等			講義・演習	奥田・谷	
9	褥婦の看護に関わる技術(1)			環境調整, ヘルスアセスメント等			講義・演習	奥田・谷	
10	褥婦の看護に関わる技術(2)			子宮復古・排泄のアセスメントとケア等			講義・演習	奥田・谷	
11	褥婦の看護に関わる技術(3)			乳房・ポジショニング・ラッチオンのケア等			講義・演習	奥田・谷	
12	褥婦の看護に関わる技術(4)			EPDS・Bonding・パースレビューについて			講義・演習	奥田・谷	
13	新生児の看護に関わる技術(1)			出生直後の評価, 計測, バイタルサイン			講義・演習	奥田・谷	
14	新生児の看護に関わる技術(2)			沐浴, 衣類・オムツ交換, 抱き方, 授乳等			講義・演習	奥田・谷	
15	学習のまとめ			まとめ			講義	奥田・谷	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	50	30	20	-	-	-	-	100	
教科書	荒木奈緒他 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術 第4版 メディカ出版 ¥2,600+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

精神看護学

4単位（105時間）

<ねらい>

精神看護学は、すべてのライフサイクルにある人を対象とし、精神の健康を維持するための援助および、精神のバランスを崩している人々や精神障害者とその家族に対する援助について学ぶ。

健康を精神と体の両面から捉え、自身の精神の健康に関心を向けることができるような学習を取り入れていく。また、看護における関係の成立・進展の技術を修得することにより看護の学習者としての成長を促し、資質の向上に役立てることをねらいとする。

精神障害者の理解とともに、精神の健康問題に関連した保健・医療・福祉サービスの成り立ちやそれに影響を与える歴史的・時代的・文化的状況について理解する。

<目的>

すべてのライフサイクルにある精神看護の対象者を理解し、精神のバランスを崩している人々や精神障害者とその家族の援助について学ぶ。

<目標>

1. 精神の健康、精神看護の対象者および看護の役割について理解する。
2. 精神の健康の意義と精神の健康に与える要因を理解する。
3. 精神の健康・維持増進と予防について必要な援助を学ぶ。
4. 精神障害者の処遇について歴史的変遷や社会背景を理解するとともに、今後の課題について考える。
5. 精神障害者と家族に対する理解を深め、援助方法を学ぶ。
6. 精神障害者の社会復帰活動について精神保健医療・福祉の連携を通じて理解する。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
精神看護学	精神看護学Ⅰ	1	30
	精神看護学Ⅱ	1	15
	精神看護学Ⅲ	1	30
	精神看護学Ⅳ	1	30
合計		4	105

科目名	精神看護学Ⅰ						看護科			
学年	1年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位	
科目 責任者	葉室 裕子				科目 担当者	葉室 裕子, 今村 仁美, 森 智秀				
科目 概要	日本の精神医療の現状と精神保健医療福祉の歴史を知り、精神看護の対象・目的・機能及び役割を理解する。また、精神看護の基本となる人間理解を目的として、人間の健康を、身体的・心理的・社会的な視点から学ぶ。精神障害は悩みや葛藤と深く関わっており、人生のプロセスと切り離せないものであること、人格の発達過程、人の心理・行動の特性を理解する専門的知識を修得する。									
到達 目標	1. 日本における精神保健医療福祉の歴史とその変遷について理解できる。 2. 精神看護の対象・目的・機能及び役割が理解できる。 3. 人格の発達、人生各期の発達課題を理解できる。 4. 精神保健や福祉に関連した法律の概要を知り、看護師の役割を述べるができる。									
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員			
1	精神障害の基本的考え方(1)	こころの健康とは、障害のとらえ方				講義	葉室			
2	精神障害の基本的考え方(2)	精神障害が生じるきっかけとプロセス				講義	葉室			
3	精神医療の歴史と看護(1)	古代から中世迄の精神医療、鎖からの解放				講義	葉室			
4	精神医療の歴史と看護(2)	近代の精神医療と20世紀の精神医療				講義	葉室			
5	精神医療の歴史と看護(3)	日本の20世紀の精神医療				講義	葉室			
6	人間のこころと行動(1)	人のこころのさまざまな理解				講義	葉室			
7	人間のこころと行動(2)	こころと環境				講義	葉室			
8	人格の発達と情緒体験	対象関係論、母子関係の発展				講義	葉室			
9	人生各期の発達課題	乳幼児期から老年期の発達と危機				講義	葉室			
10	嗜癖と依存(1)	依存のとらえ方				講義	葉室			
11	嗜癖と依存(2)	アルコール依存症				講義	葉室			
12	精神保健医療福祉の法律(1)	精神保健医療に関わる法制度の変遷				講義	葉室			
13	精神保健医療福祉の法律(2)	精神保健福祉法の基本的な考え方				講義	葉室			
14	精神科病院の実際	精神科病院見学での学び				演習	今村・森・葉室			
15	学習のまとめ	精神看護学Ⅰのまとめ				講義	葉室			
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計			
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	100			
教科書	出口禎子他 ナーシング・グラフィカ精神看護学① 情緒の発達と精神看護の基本 第4版メディカ出版¥2,600+税									
教材・参考図書	安酸史子他 ナーシング・グラフィカ 23巻成人看護学①成人看護学概論 第3版 メディカ出版 ¥3,200+税									
オフィスアワー	月曜日から金曜日 9:00~17:00									
履修上の 注意点	精神看護の専門性がどのように位置づけられているのか、そして精神科看護師はどのような役割を担っているかを学ぶ。また、内容は専門性が高いため、心理学や保健医療論を復習しておくこと。									
担当教員の 実務経験	循環器病棟、救命救急病棟、精神科病院に計22年間勤務し、新人教育等にも携わり、教育および科目の内容に精通している。									

科目名	精神看護学Ⅱ							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅱ	時間数	15時間	単位数	1単位
科目 責任者	葉室 裕子			科目 担当者	葉室 裕子, 川野 豊				
科目 概要	主な精神障害・症状・状態について理解し, 疾患の診断と治療を理解する能力を修得し, 実践的に応用できる基礎的能力を養う。								
到達 目標	1. 主な精神症状・状態について理解できる。 2. 主な精神科疾患の診断と治療について理解できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	精神症状と精神疾患(1)			精神疾患総論, 主な精神症状			講義	葉室	
2	精神症状と精神疾患(2)			不安障害の診断と特徴, 症状と治療			講義	葉室	
3	精神症状と精神疾患(3)			統合失調症の診断と特徴, 症状と治療			講義	川野	
4	精神症状と精神疾患(4)			摂食障害の診断と特徴, 症状と治療			講義	葉室	
5	精神症状と精神疾患(5)			パーソナリティ障害の診断と特徴, 症状と治療			講義	川野	
6	精神科での治療(1)			精神科における治療の特徴			講義	葉室	
7	精神科での治療(2)			薬物療法, 精神療法			講義	葉室	
8	学習のまとめ			精神看護学Ⅱのまとめ			講義	葉室	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	-	100	
教科書	出口禎子他 ナーシング・グラフィカ精神看護学② 精神障害と看護の実践 第4版 メディカ出版 ¥3,200+税								
教材・参考図書	林正健二他ナーシング・グラフィカ1巻人体の構造と機能①解剖生理学 メディカ出版 ¥4,800+税								
オフィスアワー	月曜日から金曜日 9:00~17:00								
履修上の 注意点	“精神障害”と一言で呼ばれている心の状態にどのような病気や症状があるのか, またどのような治療や看護が必要であるのか, 新聞記事や雑誌などを併用し理解する。また講義の内容は専門性が高いため, 理解度に合わせて日程および講義内容を変更することがある。								
担当教員の 実務経験	循環器病棟, 救命救急病棟, 精神科病院に計22年間勤務し, 新人教育等にも携わり, 教育および科目の内容に精通している。								

科目名	精神看護学Ⅲ						看護科		
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	葉室 裕子			科目 担当者	葉室 裕子				
科目 概要	精神看護における対象の理解・自己理解を深め、精神症状のアセスメント方法と看護について修得する。また、精神科で治療を受けている対象者の、身体的疾患への援助方法を学び、心身両面からの看護の必要性を理解する能力を修得し、実践的に応用できる基礎的能力を養う。								
到達 目標	1. プロセスレコードを活用し、自己を振り返ることができる。 2. 精神症状・状態のアセスメントと看護について理解できる。 3. 精神科における身体的援助について理解できる。 4. 精神科以外での精神看護について理解できる。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	精神医療における検査		医学的検査と心理検査				講義	葉室	
2	治療環境の理解(1)		入院という治療環境, 精神保健福祉法				講義	葉室	
3	治療環境の理解(2)		精神保健福祉法, 障害者総合支援法				講義	葉室	
4	現代社会とこころ		現代社会の特徴, 現代社会とこころの問題				講義	葉室	
5	ストレスに対する反応		心身症の患者の看護				演習	葉室	
6	家族とその支援		家族をみる視点, 精神疾患と家族				講義	葉室	
7	ケアの人間関係		プロセスレコードを使った関係のアセスメント				講義	葉室	
8	ケアの方法論(1)		治療的関わりの考え方				講義	葉室	
9	ケアの方法論(2)		日常生活行動・服薬に関する援助				講義	葉室	
10	事例に学ぶ看護の実際(1)		統合失調症, パーソナリティ障害				講義	葉室	
11	事例に学ぶ看護の実際(2)		うつ病, パニック障害, 摂食障害				講義	葉室	
12	身体的看護の方法論(1)		リエゾン精神看護				講義	葉室	
13	身体的看護の方法論(2)		救急現場での支援(自殺企図・急性中毒)				講義	葉室	
14	身体的看護の方法論(3)		精神症状が生じる身体疾患				講義	葉室	
15	学習のまとめ		精神看護学Ⅲのまとめ				講義	葉室	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	-	100	
教科書	出口禎子他 ナーシング・グラフィカ精神看護学② 精神障害と看護の実際 第4版メディカ出版 ¥3,200+税								
教材・参考図書	宇佐美しおり他 セルフケアモデル事例を用いた看護過程 第2版 ニューベルヒロカワ ¥1,890 山本勝則他 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 メジカルフレンド社 ¥3400+税								
オフィスアワー	月曜日から金曜日 9:00~17:00								
履修上の 注意点	精神看護とは“こころ”のみの問題ではなく、心身両面からの援助が必要となる。既習した身体疾患に関しても十分な予習を行い参加すること。講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程および講義内容を変更することがある。								
担当教員の 実務経験	循環器病棟, 救命救急病棟, 精神科病院に計 22 年間勤務し, 新人教育等にも携わり, 教育および科目の内容に精通している。								

科目名	精神看護学IV							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	川野 豊			科目 担当者	川野 豊, 森 智秀				
科目 概要	精神科におけるリハビリテーションの必要性や、訪問看護など地域生活を支える支援の実際について理解する。精神障害者の入院から退院に至るまでの看護について理解し、地域生活を支援するための方法を修得し、実践的に応用できる基礎的能力を養う。								
到達 目標	1. 精神障害者の入院から退院に至るまでの看護について理解できる。 2. 精神障害者の地域生活を支援するための方法が理解できる。 3. 看護師のメンタルヘルスについて理解できる。								
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員	
1	入院環境と治療的アプローチ	治療的環境, 疾患別・課題別治療プログラム					講義	川野	
2	精神科のリハビリテーション(1)	精神科におけるリハビリテーション					講義	川野	
3	精神科のリハビリテーション(2)	社会資源の活用					講義	川野	
4	看護の倫理と人権擁護	生活の場としての治療環境					講義	川野	
5	精神看護技術(1)	身体拘束中の患者の看護の実際(1)					演習	川野・森	
6	精神看護技術(2)	身体拘束中の患者の看護の実際(2)					演習	川野・森	
7	地域における精神看護(1)	地域で生活するための原則, 生活を支える制度					講義	川野	
8	地域における精神看護(2)	地域で精神障害者を支援する方法					講義	川野	
9	地域における精神看護(3)	訪問看護の実際					講義	川野	
10	地域における精神看護(4)	事例紹介					講義	川野	
11	精神看護技術(3)	訪問看護を受けている患者の看護の実際(1)					演習	川野・森	
12	精神看護技術(4)	訪問看護を受けている患者の看護の実際(2)					演習	川野・森	
13	ストレスマネジメント	看護師のストレスマネジメント					講義	川野	
14	諸外国の精神医療	日本と諸外国の精神医療の比較, 今後のビジョン					講義	川野	
15	学習のまとめ	精神看護学IVのまとめ					講義	川野	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	20	10	-	-	-	100		
教科書	出口禎子他 ナーシング・グラフィカ 精神看護学①情緒発達と精神看護の基本第4版 メディカ出版 ¥2,600+税 出口禎子他 ナーシング・グラフィカ 精神看護学②精神障害と看護の実際 第4版 メディカ出版 ¥3,200+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	金曜日 13:00~16:00								
履修上の 注意点	“看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス”のグループワークでは、看護師自身がメンタルヘルスを保つ方法についてグループ間での討議とプレゼンテーションを取り入れる。演習に関しては看護演習室にて行う。事前に精神科看護技術の復習が必須である。								

統 合 分 野

8 単 位 (2 1 0 時 間)

<ねらい>

- 在宅ケアシステムにおける看護のあり方を学ぶ。
- 療養者と家族の心身の健康状態の回復・維持・増進を目指す看護の基礎を学ぶ。
- 療養者が望む生き方，暮らし方を考え，生活の質の維持・向上を目指す。
- 家族の発達課題を達成するためのセルフケア機能を支援する方法を学ぶ。
- 看護管理の原則を理解し，よりよい看護サービスとは何かを考える。
- 医療安全についての基礎知識を学び，安全を守るための看護の方法を理解する。
- 災害サイクルに応じた看護の必要性について理解し，災害時の看護について考える。
- 事例研究を行い，発表を通して自己の看護観を養う。
- 看護実践能力を評価し，自己の課題を明確にする。

<構 成>

教育内容	科 目	単 位	時間数
在宅看護論	在宅看護論Ⅰ	1	30
	在宅看護論Ⅱ	1	30
	在宅看護論Ⅲ	1	30
	在宅看護論Ⅳ	1	15
看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	1	30
	看護の統合と実践Ⅱ	1	30
	看護の統合と実践Ⅲ	1	30
	看護の統合と実践Ⅳ	1	45
合 計		8	240

在宅看護論

4単位（105時間）

<ねらい>

在宅看護論は、すべてのライフサイクルにある人々とその家族を対象として、地域生活における看護のあり方を修得する。また在宅療養者の家庭に出向いて行う看護であり、対象者へのマナーや看護者としての配慮ある行動が必要とされる。在宅看護は療養者を含め、家族全体のダイナミクスをとらえた幅広い視野を持ち、病状や生活上の問題に対する的確な判断能力と援助技術及び社会資源の活用や他職種との連携について理解し、看護を実践できる能力を養う。

<目的>

在宅療養者とその家族に対して、在宅看護に必要な知識と看護技術を修得し、在宅療養を支援できる看護能力を養う。

<目標>

1. 在宅看護の必要性を理解する。
2. 在宅看護の概念と変遷について理解する。
3. 在宅看護の対象は療養者のみに限定せず、その家族を含め支援することを理解する。
4. 在宅看護の基盤となる法律・政策を理解する。
5. 療養者の日常生活上の援助技術を修得する。
6. 医療依存度の高い療養者と家族への援助を理解する。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
在宅看護論	在宅看護論Ⅰ	1	30
	在宅看護論Ⅱ	1	30
	在宅看護論Ⅲ	1	30
	在宅看護論Ⅳ	1	15
合計		4	105

科目名	在宅看護論 I						看護科		
学年	2年	学期	前期	分野	統合	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	西田 美香			科目 担当者	西田 美香, 南 博子, 岩崎 瑞枝				
科目 概要	在宅看護の対象者とその家族の社会的な背景を知り, 在宅看護の必要性, 目的・役割と支援に行われている継続看護のための支援の在り方を理解する。また, 訪問看護の展開について必要な専門的知識を修得する。								
到達 目標	1. 在宅看護の対象者とその家族の社会的な背景を知り, 在宅看護の必要性・目的・役割が理解できる。 2. 対象に行われている継続看護のための支援のあり方が理解できる。 3. 保健医療福祉機関における訪問看護活動について理解できる。 4. 在宅療養者・家族の理解と権利保障のあり方が理解できる。 5. 地域での保健・医療・福祉機関との連携の必要性が理解できる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	社会情勢の変化(1)	地域療養を支える看護, 在宅看護の位置づけ				講義	西田		
2	社会情勢の変化(2)	地域における看護活動の変遷と現状				講義	西田		
3	社会情勢の変化(3)	在宅ケアニーズの動向, 在宅ケアと在宅看護				講義	西田		
4	継続看護の本質	継続看護とその実際				講義	南		
5	訪問看護活動	保健医療福祉機関における訪問看護活動				講義	西田		
6	在宅療養者の人権の保障と権利	在宅療養者の権利保障				講義	岩崎		
7	在宅看護の対象者の理解	在宅看護の対象となる個人				講義	岩崎		
8	在宅看護における家族の理解	ケア単位としての家族 家族の介護負担とその軽減				講義	岩崎		
9	訪問看護活動の方法(1)	訪問前の準備				講義	西田		
10	訪問看護活動の方法(2)	初回訪問時のコミュニケーション				講義	西田		
11	訪問看護活動の方法(3)	家庭訪問の計画と継続訪問, 訪問看護記録				講義	西田		
12	訪問看護活動の方法(4)	訪問看護過程の展開				講義	西田		
13	訪問看護活動の方法(5)	訪問看護の評価				講義	西田		
14	訪問看護活動の方法(6)	訪問看護療養費について				講義	西田		
15	地域との連携と社会資源	在宅療養を支える制度と社会資源の活用				講義	西田		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	-	30	-	-	-	100		
教科書	臺有桂他編 ナンシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第6版 メディカ出版 ¥3,740+税 臺有桂他編 ナンシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 第6版 メディカ出版 ¥3,080+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								
担当教員の 実務経験	回復リハビリ病棟, 地域包括センターに計19年間勤務し, 新人教育等にも携わり, 教育および科目の内容に精通している。								

科目名	在宅看護論Ⅱ							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	統合	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	西田 美香, 一宮 美香				科目 担当者	西田 美香, 一宮 美香			
科目 概要	在宅看護で求められる看護技術を理解し、援助方法を学ぶ。また、訪問時の看護師のマナーについて実践できる専門的知識・技術・態度を統合して応用できる能力を修得する。								
到達 目標	1. 訪問時に必要な基本的姿勢と基本技術を身につけることができる。 2. 基本的な看護技術を応用し、在宅における生活援助技術を習得する。 3. 在宅で生活する療養者・その家族の生活支援を、個性・自己決定権を尊重しながら展開する方法を理解する。 4. 訪問看護において看護計画を実践していく過程で、訪問看護における援助の方法を理解する。								
回数	単元項目		授業内容				形態	担当教員	
1	在宅での基本技術		在宅に必要な基本技術について				講義	西田	
2	在宅での生活援助技術(1)		清潔の援助(1)				演習	一宮	
3	在宅での生活援助技術(2)		清潔の援助(2)				演習	一宮	
4	在宅での生活援助技術(3)		休息と活動、睡眠の援助(1)				演習	一宮	
5	在宅での生活援助技術(4)		休息と活動、睡眠の援助(2)				演習	一宮	
6	在宅での生活援助技術(5)		食生活の援助(1)				演習	一宮	
7	在宅での生活援助技術(6)		食生活の援助(2)				演習	一宮	
8	在宅での生活援助技術(7)		排泄の援助(1)				演習	一宮	
9	在宅での生活援助技術(8)		排泄の援助(2)				演習	一宮	
10	在宅での生活援助技術(9)		移動・移乗の援助(1)				演習	一宮	
11	在宅での生活援助技術(10)		移動・移乗の援助(2)				演習	一宮	
12	在宅での生活援助技術(11)		服薬の援助(1)				演習	一宮	
13	在宅での生活援助技術(12)		服薬の援助(2)				演習	一宮	
14	在宅での生活援助技術(13)		日常生活補助具・福祉用具の活用方法と住宅改修				演習	一宮	
15	学習のまとめ		訪問看護における援助技術のまとめ				演習	西田	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	実技試験	-	-	合計		
評価割合(%)	40	-	-	60	-	-	100		
教科書	臺有桂他編 ナンシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第6版 メディカ出版 ¥3,740+税 臺有桂他編 ナンシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 第6版 メディカ出版 ¥3,080+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること								
履修上の 注意点	事例を通してグループワークを行う。担当した事例担当者をどのように看護するのかをグループで考え、ロールプレイ形式で実技試験を行う。演習は看護実習室または在宅実習室を使用する。								

科目名	在宅看護論Ⅲ							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	統合	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	西田 美香			科目 担当者	西田 美香, 葉室 裕子				
科目 概要	在宅における医療的援助における基本的なアセスメントや援助技術の具体的展開方法を学ぶ。また、さまざまな事例から、療養者と家族、その取り巻く環境と状況に応じた在宅看護の実際を学び、既存の看護の知識を応用し、在宅看護の実践に結び付ける。								
到達 目標	1. 在宅における療養者とその家族の生活上の課題を理解することができる。 2. 在宅療養者とその家族の状況に応じた生活支援の方法と技術を理解することができる。 3. 医療ケアを必要とする療養者やその家族の状況に応じた安全な管理方法を理解することができる。								
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員		
1	在宅での特殊援助技術(1)	在宅における感染予防・防止技術				講義	西田		
2	在宅での特殊援助技術(2)	経管栄養の管理と家族指導(1)				講義	西田		
3	在宅での特殊援助技術(3)	経管栄養の管理と家族指導(2)				講義	西田		
4	在宅での特殊援助技術(4)	尿道カテーテルの留置の管理と家族指導(1)				講義	西田		
5	在宅での特殊援助技術(5)	尿道カテーテルの留置の管理と家族指導(2)				講義	西田		
6	在宅での特殊援助技術(6)	褥瘡援助技術(主治医との連携・家族指導)(1)				講義	西田		
7	在宅での特殊援助技術(7)	褥瘡援助技術(主治医との連携・家族指導)(2)				演習	西田・葉室		
8	在宅での特殊援助技術(8)	在宅酸素療法の管理と家族指導				講義	西田		
9	在宅での特殊援助技術(9)	人工呼吸器装着時のケア				演習	西田・葉室		
10	在宅での特殊援助技術(10)	家族への吸引指導				講義	西田		
11	在宅での特殊援助技術(11)	気管カニューレの管理と家族指導				演習	西田・葉室		
12	在宅での特殊援助技術(12)	在宅中心静脈栄養法の管理と家族指導(1)				講義	西田		
13	在宅での特殊援助技術(13)	在宅中心静脈栄養法の管理と家族指導(2)				講義	西田		
14	在宅での特殊援助技術(14)	疼痛の管理と療養者・家族への指導				講義	西田		
15	学習のまとめ	在宅での特殊援助技術のまとめ				講義	西田		
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合(%)	70	-	30	-	-	-	100		
教科書	臺有桂他編 ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第6版 メディカ出版 ¥3,740+税 臺有桂他編 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 第6版 メディカ出版 ¥3,080+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 演習は看護実習室または在宅実習室を使用する。								
担当教員の実務経験	回復リハビリ病棟、地域包括センターに計19年間勤務し、新人教育等にも携わり、教育および科目の内容に精通している。								

科目名	在宅看護論Ⅳ						看護科			
学年	2年	学期	後期	分野	統合	時間数	15時間	単位数	1単位	
科目 責任者	西田 美香			科目 担当者	西田 美香, 葉室 裕子					
科目 概要	訪問看護を必要とする対象者と家族, 取り巻く環境と状況に応じた在宅看護を実践する能力を修得する。さまざまな事例から, 療養者と家族, その取り巻く環境と状況に応じた在宅看護の実際を学び, 既存の看護の知識を応用し, 在宅看護の実践に結び付ける。									
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅における療養者とその家族の生活上の課題を検討することができる。 2. 在宅療養者とその家族の状況に応じた生活支援の方法と技術を検討することができる。 3. 医療ケアを必要とする療養者やその家族の状況に応じた安全な管理方法を検討することができる。 4. 療養者とその家族が望む在宅療養生活を実現するためのケアマネジメントの展開について検討することができる。 									
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員			
1	訪問看護を必要とする対象者の疾患と支援方法(1)	PBL 演習 オリエンテーション・グループ演習				講義 演習	西田・葉室			
2	訪問看護を必要とする対象者の疾患と支援方法(2)	PBL 演習 グループ演習				演習	西田・葉室			
3	訪問看護を必要とする対象者の疾患と支援方法(3)	PBL 演習 グループ演習				演習	西田・葉室			
4	訪問看護を必要とする対象者の疾患と支援方法(4)	PBL 演習 グループ演習				演習	西田・葉室			
5	訪問看護を必要とする対象者の疾患と支援方法(5)	PBL 演習 グループ演習				演習	西田・葉室			
6	訪問看護を必要とする対象者の疾患と支援方法(6)	PBL 演習 グループ演習				演習	西田・葉室			
7	訪問看護を必要とする対象者の疾患と支援方法(7)	グループ発表				演習	西田・葉室			
8	学習のまとめ	訪問看護における支援方法のまとめ				講義	西田			
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	グループ発表	-	-	合計			
評価割合(%)	40	-	-	60	-	-	100			
教科書	臺有桂他編 ナンクグラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第6版 メディカ出版 ¥3,740+税 臺有桂他編 ナンクグラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 第6版 メディカ出版 ¥3,080+税									
教材・参考図書	適宜紹介する。									
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること									
履修上の 注意点	事例を通してグループワークを行う。担当した事例担当者をどのように看護するのか, またどのような社会資源を利用することができるのかをグループで考え, Powerpoint で発表を行う。他者の学びを共有できるように, 学生主体でグループ発表を運営する。									
担当教員の実務経験										

看護の統合と実践

4単位（135時間）

<ねらい>

看護の統合と実践では、既習の知識・技術・態度（倫理）を統合し、より現実性のある状況に対応できる基礎的能力を養う。

<目的>

看護の統合と実践では、看護管理、医療安全、災害看護・国際看護、看護研究・基礎看護技術評価に必要な知識・技術・態度（倫理）を修得する。また、統合した知識・技術をもとに対象の状況判断、対象者の状態に応じた方法の選択と実施ができる能力を修得する。

<ねらい>

1. 保健医療福祉機関における活動を取り巻くものについて知り、看護管理の原則を理解する。
2. 医療事故の原因を理解し、安全対策の方法が理解できる。
3. 災害サイクル各期の看護の介入法を理解する。
4. 国際社会の中で、看護職として広い視野を持ち協働することを理解する。
5. 看護研究の基本的知識・態度を修得し、研究計画から発表までの一連の流れの実施できる。
6. 看護実践能力を評価し、自己の課題を明確にすることができる。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	1	30
	看護の統合と実践Ⅱ	1	30
	看護の統合と実践Ⅲ	1	30
	看護の統合と実践Ⅳ	1	45
合計		4	135

科目名	看護の統合と実践 I							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	統合	時間数	24時間	単位数	0.8単位
科目 責任者	野田 建二, 加村 眞知子 神田 久美子			科目 担当者	野田 建二, 加村 眞知子, 神田 久美子				
科目 概要	看護サービスを提供するためにあらゆる社会資源をどのように活用するかは重要なことであり、それらの維持と活用するための仕組みを学ぶ。看護マネジメントに必要な専門的知識や技術を習得し、看護職個人として及び組織としての管理の実践を学ぶ。そして、専門職としての「看護職者」のキャリア形成についての知識を修得する。								
到達 目標	1. 保健医療福祉機関における活動を取りまくものについて学び、看護管理の原則を理解できる。 2. 組織内における看護管理の実践について理解できる。 3. 看護職者のキャリア形成について理解できる。								
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員	
1	看護管理の基本となるもの	看護管理とは、専門職とは					講義	野田	
2	看護師の仕事とその管理(1)	マネジメントとは、人材マネジメント					講義	関谷	
3	看護師の仕事とその管理(2)	モノ・情報・コストの管理, 看護提供システム					講義	関谷	
4	看護の質向上(1)	看護管理と倫理, 医療安全					講義	関谷	
5	看護の質向上(2)	感染対策(1)					講義	加村	
6	看護の質向上(3)	感染対策(2)					講義	加村	
7	看護管理に求められる能力(1)	セルフマネジメントスキル					講義	関谷	
8	看護管理に求められる能力(2)	人とかかわるためのスキル					講義	関谷	
9	看護管理に求められる能力(3)	集団に働きかけるスキル					講義	関谷	
10	看護職とキャリア	社会人になる, 看護職としてのキャリア					講義	野田	
11	看護と経営	医療と経済, 看護職にかかわる制度 病院経営と看護管理					講義	野田	
12	看護活動を取りまく法律・制度	看護管理に関連する法律, 保健医療福祉政策と最近の動向, 看護と専門機関・職能団体					講義	野田	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	100		
教科書	上坂良子他 ナーシング・グラフィカ 看護管理 第3版 メディカ出版 ¥2,315+税								
教材・参考図書	厚生統計協会編集 国民衛生の動向 厚生統計協会出版 ¥2,400+税								
オフィスアワー	木曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	看護の統合と実践 I							看護科	
学年	3年	学期	前期	分野	統合	時間数	6時間	単位数	0.2単位
科目 責任者	瀬戸山 美和			科目 担当者	南里 紗矢佳, 神田 昭子, 瀬戸山 美和				
科目 概要	看護サービスを提供するためにあらゆる社会資源をどのように活用するかは重要なことであり、それらの維持と活用するための仕組みを学ぶ。看護マネジメントに必要な専門的知識や技術を習得し、看護職個人として及び組織としての管理の実際を学ぶ。そして、専門職としての「看護職者」のキャリア形成についての知識を修得する。								
到達 目標	1. 保健医療福祉機関における活動を取りまくものについて学び、看護管理の原則を理解できる。 2. 組織内における看護管理の実際について理解できる。 3. 看護職者のキャリア形成について理解できる。								
回数	単元項目			授業内容				形態	担当教員
13	チーム医療の実際 (1)			病院外で働く看護師の声, 患者の声 (1)				講義	南里
14	チーム医療の実際 (2)			病院外で働く看護師の声, 患者の声 (2)				講義	神田
15	学習まとめ			看護管理のまとめ				講義	瀬戸山
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	上坂良子他 ナーシング・グラフィカ 看護管理 第3版 メディカ出版 ¥2,315+税								
教材・参考図書	厚生統計協会編集 国民衛生の動向 厚生統計協会出版 ¥2,400+税								
オフィスアワー	木曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので、理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	看護の統合と実践Ⅱ							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	統合	時間数	30時間	単位数	1単位
科目 責任者	田中 初枝			科目 担当者	田中 初枝, 西田 美香, 有田 裕子, 宮永 美津子				
科目 概要	医療安全における基本的な知識, および看護職の責務と役割について理解する。また, 医療現場における危険の予知と回避, および事故防止などの安全対策の理論と方法を習得し, 多職種と協働・連携の重要性を理解し, 実際の医療事故から安全対策を考える能力を修得する。								
到達 目標	1. 医療安全に関する国の取り組みが理解できる。 2. 医療事故の原因を理解し, 安全対策に取り組む姿勢を養うことができる。 3. 過去に起こった実際の医療事故を通して, 安全な対策を述べることができる。								
回数	単元項目	授業内容					形態	担当教員	
1	医療安全と看護理念	医療安全の意味 看護職の法的規定と医療安全					講義	田中	
2	事故発生メカニズム	ヒューマンエラーとは・事故分析・事故対策					講義	田中	
3	看護における医療事故	看護業務と事故発生要因					講義	宮永	
4	看護における医療事故	医療事故の種類 その分析と対策					講義	宮永	
5	看護における医療事故	誤薬・輸血・患者取り違え・針刺し					講義	宮永	
6	看護における医療事故	転倒転落・誤嚥・異物遺残・皮膚障害					講義	宮永	
7	看護における医療事故	医療機器トラブル・チューブ類のトラブル					講義	宮永	
8	看護における医療事故	電子カルテ等情報伝達時のトラブル					講義	宮永	
9	看護学生の実習と安全	実習中の事故予防および事故発生時の学生の対応					講義	田中	
10	医療事故の予防	危険予知力を高める〈危険予知トレーニング KYT〉					演習	田中・西田	
11	医療従事者の安全	医療従事者の安全を脅かすリスクと対策					講義	田中	
12	医療事故の対応	医療事故発生時の初期対応					講義	田中	
13	医療安全への取り組み	医療安全への取り組みと医療の質の評価					講義	有田	
14	安全文化の醸成	患者・家族との協働と安全文化の醸成					講義	有田	
15	学習のまとめ	医療安全のまとめ					演習	田中	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	82	8	10	-	-	-	100		
教科書	松下由美子他 ナーシング・グラフィカ 42巻 医療安全 第4版 メディカ出版 ¥3,000+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いので, 理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。								

科目名	看護の統合と実践Ⅲ（国際看護）						看護科			
学年	2年	学期	後期	分野	統合	時間数	14時間	単位数	0.46単位	
科目 責任者	瀬戸山 美和				担当 教員	瀬戸山 美和				
科目 概要	国際看護学の定義と意義を理解し、異文化の中で看護活動を展開する際に必要な配慮や心構えについて修得する。さらに、専門的知識・技術を統合し、海外における日本の国際看護活動と、看護職者に必要な視点を養い、国際協力における看護師の役割について考える能力を修得する。									
到達 目標	1. 看護職として国際的視野をもち、看護を取り巻く社会の情勢を理解できる。									
回数	単元項目				授業内容			形態	担当教員	
1	国際看護とは				国際看護学の定義、世界の人口と地域区分及び保健指標の格差、（調査グループ編成）			講義	瀬戸山	
2	先進国の保健医療制度				先進国と開発途上国の区分、日本・米・豪の保健医療制度の比較			講義	瀬戸山	
3	国際協力機関・組織とそのシステム、協力の展開				我が国の政府開発援助（ODA と JICA）、国際及び国内非政府組織（NGO）、異文化への配慮と看護の視点			講義	瀬戸山	
4	開発途上国及び先進国の健康問題の背景と現状				選定国調査・アクティブラーニング			演習	瀬戸山 大森	
5	同 上				選定国調査・アクティブラーニング			演習	瀬戸山 大森	
6	学習発表・まとめ				調査内容の共有、国際協力における看護師の役割			演習	瀬戸山 大森	
7	学習のまとめ				災害看護と国際看護のまとめ			演習	瀬戸山	
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	-	-	100	-	-	-	-	-	100	
教科書	ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践 災害看護 第4版 メディカ出版 ¥2,800+税									
教材・参考図書	適宜紹介する。									
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 演習に必要な物品を各自準備して臨むこと。（事前連絡あり）									

科目名	看護の統合と実践Ⅲ（災害看護）						看護科		
学年	3年	学期	前期	分野	統合	時間数	16時間	単位数	0.52単位
科目 責任者	立岡 孝之			担当 教員	立岡 孝之, 平井 亨樹				
科目 概要	過去の大規模災害における活動の経験知を基盤に、災害が地域や人々の健康と暮らしに多大な影響をおよぼすことを理解し、災害発生時に看護職として適切に行動できるように、災害サイクルに合わせた知識・技術・態度を統合し応用できる基礎的能力を養う。								
到達 目標	1. 災害及び災害看護に関する基礎知識と、災害時における看護の役割を理解できる。 2. 災害が人々の健康や生活に及ぼす影響を理解できる。 3. 災害サイクルや活動現場の特性、看護に役割とその実際を学ぶ。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	災害看護の基礎知識			災害のとらえ方, 求められる災害看護 災害看護の定義と役割, 災害看護の対象者			講義	立岡	
2	災害サイクルと看護(1)			①発災～災害急性期 ②亜急性期～慢性期			講義	立岡	
3	災害サイクルと看護(2)			③復興期 ④静穏期 ⑤前兆期			講義	立岡	
4	災害時の社会の対応			災害に関連する制度, 災害と情報			講義	立岡	
5	災害時の個人の備え			個人の備え, 地域防災, 災害ボランティア活動			演習	立岡 平井	
6	災害看護と心のケア			被災者特性に対する災害看護 被災者・遺族・被災救援者・救援者の心のケア			講義	立岡	
7	トリアージ・応急処置・搬送法(1)			トリアージ・応急処置・搬送法とは			講義	立岡	
8	学習のまとめ			災害看護のまとめ			演習	立岡	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	-	-	-	-	-	合計
評価割合(%)	60	20	20	-	-	-	-	-	100
教科書	ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践 災害看護 第4版 メディカ出版 ¥2,800+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	講義時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 演習に必要な物品を各自準備して臨むこと。(事前連絡あり)								

科目名	看護の統合と実践Ⅳ						看護科		
学年	2年	学期	後期	分野	統合	時間数	16時間	単位数	0.35単位
科目 責任者	瀬戸山 美和				科目 担当者	瀬戸山 美和			
科目 概要	既習した専門的知識・技術を統合して、実践的に応用し、看護の質を向上するために、看護研究に対する基礎知識を学習し、研究能力を養う。事例研究を実際に行い、研究計画書の作成からプレゼンテーションまでのプロセスを体験する。看護研究の科学的な視点によりクリティークする能力を修得する。								
到達 目標	1. 事例研究を実際に行い、論文作成からプレゼンテーションまでのプロセスを体験し、理解できる。 2. 看護技術を総合的に実践できる。								
回数	単元項目			授業内容			形態	担当教員	
1	看護研究とは 看護研究のクリティーク			質的研究と量的研究, 研究の種類, 研究の必要性, クリティークするために必要な能力と留意点			講義	瀬戸山	
2	研究における倫理			研究において擁護される権利, 文献とは			講義	瀬戸山	
3	看護研究の実際(1)			研究発表の参加			講義	瀬戸山	
4	看護研究の実際(2)			研究発表の参加			講義	瀬戸山	
5	看護研究の実際(3)			研究発表の参加			講義	瀬戸山	
6	看護研究の実際(4)			研究発表の参加			演習	瀬戸山	
7	看護研究の実際(5)			研究計画書の書き方			演習	瀬戸山	
8	看護研究の実際(6)			プレゼンテーション方法			演習	瀬戸山	
評価方法									
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	実技	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	-	-	70	30	-	-	-	-	
教科書	古川裕之他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学④ 看護研究 第3版 メディカ出版 ¥2,400+税								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00								
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 演習に必要な物品を各自準備して臨むこと。(事前連絡あり)								

科目名	看護の統合と実践Ⅳ						看護科			
学年	3年	学期	前後期	分野	統合	時間数	29時間	単位数	0.65単位	
科目 責任者	瀬戸山 美和			科目 担当者	瀬戸山 美和					
科目 概要	既習した専門的知識・技術を統合して、実践的に応用し、看護の質を向上するために、看護研究に対する基礎知識を学習し、研究能力を養う。事例研究を実際に行い、研究計画書の作成からプレゼンテーションまでのプロセスを体験する。看護研究の科学的な視点によりクリティックする能力を修得する。また、看護技術の総合的な実践能力を修得する。									
到達 目標	1. 事例研究を実際に行い、論文作成からプレゼンテーションまでのプロセスを体験し、理解できる。 2. 看護技術を総合的に実践できる。									
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員			
9	看護研究の実際(7)	事例研究の書き方(1)				演習	瀬戸山			
10	看護研究の実際(8)	事例研究の書き方(2)				演習	瀬戸山			
11	看護研究の実際(9)	事例研究の書き方(2)				演習	瀬戸山			
12	看護研究の実際(10)	事例研究発表(1)				演習	瀬戸山			
13	看護研究の実際(11)	事例研究発表(2)				演習	瀬戸山			
14	看護研究の実際(12)	事例研究発表(3)				演習	瀬戸山			
15	看護研究の実際(13)	事例研究発表(4)				演習	瀬戸山			
16	技術評価(1)	看護場面に応じたケアの提供(1)				演習	瀬戸山			
17	技術評価(2)	看護場面に応じたケアの提供(2)				演習	瀬戸山			
18	技術評価(3)	看護場面に応じたケアの提供(3)				演習	瀬戸山			
19	技術評価(4)	看護場面に応じたケアの提供(4)				演習	瀬戸山			
20	技術評価(5)	看護場面に応じたケアの提供(5)				演習	瀬戸山			
21	技術評価(6)	看護場面に応じたケアの提供(6)				演習	瀬戸山			
22	技術評価(7)	看護場面に応じたケアの提供(7)				演習	瀬戸山			
23	技術評価(8)	看護場面に応じたケアの提供(8)				演習	瀬戸山			
評価方法										
評価指標	定期試験	小テスト	レポート	実技	-	-	合計			
評価割合(%)	-	-	70	30	-	-				
教科書	適宜紹介する。									
教材・参考図書	適宜紹介する。									
オフィスアワー	火曜日 14:00~18:00									
履修上の 注意点	講義の内容は専門性が高いため理解度に合わせて日程及び講義内容を変更することがある。 演習に必要な物品を各自準備して臨むこと。(事前連絡あり)									

専 門 分 野 I 臨 地 実 習

3 単 位 (1 3 5 時 間)

<ねらい>

- 生活者としての人間を包括的に理解する。
- 基本的欲求と環境的条件を把握し、日常生活援助を実施する。
- 対象者に必要な援助は何か、なぜその援助が必要なのかという援助の根拠や必要性和、実施する際の留意事項を明確にし実施する。
- 対象者の理解と同時に自分自身の考えや行動に気づいて自己の振り返りをする。

<目 的>

学んだ知識や方法を臨地で体験し、対象者の理解および看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を修得する。

<目 標>

1. 看護者としての基本的態度を修得する。
2. 入院生活をしている対象者の生活を整える援助を行う。
3. 看護過程を通して看護を実践するための基本的方法を修得する。
4. 自己の看護観を養う。

<構 成>

教育内容	科 目	単 位	時 間 数
基礎看護学	基礎看護学実習 I	1	45
	基礎看護学実習 II	2	90
合 計		3	135

科目名	基礎看護学実習 I							看護科	
学年	1年	学期	後期	分野	専門 I	時間数	45 時間	単位数	1 単位
科目 責任者	瀬戸山 美和			科目 担当者	大森 幸江, 平井 亨樹, 田中 初枝, 村田 大輔 西田 美香, 小川 美穂子, 葉室 裕子 箱崎 奈々子, 奥田 佐和, 立岡 孝之, 谷 由佳				
科目 概要	生活者としての人間を包括的に理解する必要がある。特にコミュニケーションを通して対象者を理解する。対象者の療養生活や, 日常生活援助を通して, 看護活動の必要性を認識し, 看護を実施するための専門的知識と技術を実践的に応用できる基礎的な方法を修得する。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病院の概要や機能について知り, 患者の療養環境について理解できる。 2. 患者のセルフケア能力を含めた情報収集方法がわかる。 3. 収集した情報のアセスメントにより, 看護診断を抽出することができる。 4. 患者のセルフケア能力に応じた生活を整えるための看護計画の立案ができる。 5. 安全・安楽に残存機能を活かした看護を実践する必要性がわかる。 6. 良好な人間関係構築のための看護師の姿勢を理解できる。 7. 看護師として基本的態度を身につけるための, 自己の課題を考えることができる。 								
	実習場所	授業内容						形態	担当教員
	学内 病棟	<p>実習期間：令和3年11月22日～12月10日（5日間） 令和3年12月13日（1日間）</p> <p>実習時間：8：00～16：00（実習時間7.5時間）</p> <p>実習先：福岡記念病院 牟田病院 別府病院</p> <p>実習方法：学生5～6名を1グループとし, 11月～12月に病棟実習, 病棟実習終了後1日の学内実習を行う。</p> <p>実習の詳細：病棟実習にて入院患者を1名受け持ち, 療養環境を知り, 日常生活援助を実践し, 実習記録に記載する。実習終了後, 受け持ち患者への援助を振り返り, 学びを共有する。詳細は実習要項を参照する。</p>						実習	大森 平井 田中 村田 西田 小川 葉室 箱崎 奥田 立岡 谷
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 第6班 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	実習オリエンテーション時に適宜紹介する。								
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。								
履修上の 注意点	学習内容は, 事前の実習オリエンテーション時に提示する。病院および施設内での実習となるため, 自己の健康管理に努めること。								

科目名	基礎看護学実習Ⅱ							看護科	
学年	2年	学期	前期	分野	専門Ⅰ	時間数	90時間	単位数	2単位
科目 責任者	瀬戸山 美和			科目 担当者	大森 幸江, 平井 亨樹, 田中 初枝, 村田 大輔 西田 美香, 小川 美穂子, 葉室 裕子 箱崎 奈々子, 奥田 佐和, 立岡 孝之, 谷 由佳				
科目 概要	病気の進行, 合併症や再発予防に向けたセルフケアが必要な入院患者を対象に, 看護過程を展開しながら患者の捉え方と, 援助の人間関係構築に向けた看護師の姿勢について学ぶ。患者のセルフケア能力のアセスメントを行い, 病状に応じた日常生活自立のための援助方法, 残存機能や健康障害の程度に応じた日常生活行動の拡大・自立への援助の方法を考え, 専門的知識と技術を統合し, 看護計画に取り入れ, 実施できる能力を養う。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受け持ち患者の情報をアセスメントし, 基本的ニーズに基づく援助の必要性を理解する。 2. 収集した情報を分析し, 看護診断をあげる。 3. 看護診断により看護目標を設定し, 看護計画を立案する方法を知る。 4. 看護計画に沿って安全・安楽に看護を実践することができる。 5. 患者の反応や満足度から, その効果について評価し, 計画の追加修正を行う必要性を理解する。 6. 良好な人間関係構築のための方法を理解する。 7. 自己の看護観を養う。 8. 看護者として基本的態度を身につけ, 自ら学び続ける姿勢をもつ。 								
	実習場所	授業内容						形態	担当教員
	学内 病棟	実習期間: 令和3年5月29日(1日間) 令和3年5月31日~6月25日(10日間) 令和3年6月26日2(1日間) 実習時間: 8:00~16:00(実習時間7.5時間) 実習先: 福岡記念病院 牟田病院 福西会病院 実習方法: 実習前, 学内実習1日後, 学生5~6名を1グループとし, 10日間の病棟実習を行う。実習終了後学内実習を1日行う。 実習の詳細: 実習前に事例によるシミュレーション演習を1日, 10日間の病棟実習にて入院患者を1名受け持ち, 看護過程の展開を行い, ADL 拡大や自立に向けて必要な看護を実践し, 実習記録に記載する。実習終了後, 受け持ち患者への援助を振り返り, 学びを共有する。詳細は実習要項を参照する。						実習	大森 平井 田中 村田 西田 小川 葉室 箱崎 奥田 立岡 谷
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	志自岐康子他 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 第6班 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	実習オリエンテーション時に適宜紹介する。								
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。								
履修上の 注意点	学習内容は, 事前の実習オリエンテーション時に提示する。病院および施設内での実習となるため, 自己の健康管理に努めること。								

専門分野Ⅱ 臨地実習

16単位（720時間）

<ねらい>

- 人が生まれること、生むこと、健やかに育むことを支援するための基礎能力を養う。
- 人間のもつ機能と能力の障害・喪失により生じる様々な影響を理解し、その人がその人らしく生活するための日常生活の援助を実践する。
- 各発達段階において多彩な健康課題を有する対象者に、科学的根拠に基づき看護実践ができる基礎的能力を養う。
- 人生の終焉にある人とそれをとりまく人々へ対する看護を学ぶ。
- 対象者に共感しながら寄り添う姿勢を養う。
- 看護の専門職業人として、総合保健医療における看護の役割を認識し、その役割を果たす能力を養う。
- 自己の看護観を深める。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	2	90
	成人看護学実習Ⅱ	2	90
	成人看護学実習Ⅲ	2	90
老年看護学	老年看護学実習Ⅰ	2	90
	老年看護学実習Ⅱ	2	90
小児看護学	小児看護学実習	2	90
母性看護学	母性看護学実習	2	90
精神看護学	精神看護学実習	2	90
合計		16	720

成人看護学実習（6単位 270時間）

【目的】

成人期にある対象とその家族の健康問題を理解し、基礎看護学で学んだ看護過程のプロセスを用い、対象に応じた看護を実践する能力を修得する。

【目標】

1. さまざまな健康段階にある対象者を四側面から捉えることができる。
2. QOLを高め、日常生活を円滑に行うための援助が実施できる。
3. 対象者の健康段階に応じた看護過程の展開ができる。
4. 保健医療福祉チームメンバーの連携と看護の役割を理解する。
5. 看護介入の視点を明らかにし、個別性をとらえた看護実践ができる。
6. 健康の維持・増進にむけた看護の役割を理解することができる。
7. 他者とのかかわりを通し、自己と他者への気づきを深めるとともに、自己の看護観を育む。

【構成】

成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	回復期・慢性期・リハビリテーション期の対象者の健康段階に応じた看護	2単位
	成人看護学実習Ⅱ	QOLを高めるために健康教育が必要な対象者への看護	2単位
	成人看護学実習Ⅲ	急性期・回復期の対象者の回復を促進する看護	2単位

原則として、1実習で受け持ち対象者1名を通して看護の実際を学ぶ。

科目名	成人看護学実習 I							看護科	
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	90時間	単位数	2単位
評価担当	平井 亨樹			担当教員	大森 幸江, 平井 亨樹, 田中 初枝 箱崎 奈々子, 立岡 孝之, 谷 由佳				
科目概要	成人期にある対象の特徴を総合的に理解し, 専門的知識・技術・態度を統合し, 発達段階および健康レベルに応じた看護が実践できる基礎的能力を修得する。								
到達目標	1. 回復期・慢性期・リハビリテーション期の対象者を身体的・精神的・社会的側面から理解することができる。 2. 回復期・慢性期・リハビリテーション期の対象者の健康段階に応じた看護過程の展開ができる。 3. QOLを高め, 日常生活を円滑に行うための援助が実施できる。 4. 回復期・慢性期・リハビリテーション期の対象者との関わりを通じて, 自己の看護観を養うことができる。								
	実習場所	授業内容					形態	担当教員	
	学内 病棟	実習期間: 令和5年1月12日～1月13日(2日間) 令和5年1月16日～2月24日(10日間) 実習時間: 8:00～16:00(実習時間7.5時間) 実習先: 福岡記念病院 実習方法: 実習前に事例によるシミュレーション演習を2日実施後, 学生5～6名を1グループとし, 10日間の病棟実習を行う。 実習の詳細: 病棟で学生1名に対して回復期・慢性期・リハビリテーション期にある対象者を1名受け持ち, 機能回復・退院に向けて必要な看護を実践し, 実習記録に記載する。詳細は実習要項を参照する。					実習	大森 平井 田中 箱崎 立岡 谷	
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	実習オリエンテーション時に適宜紹介する。								
教材・参考図書	実習オリエンテーション時に適宜紹介する。								
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。								
履修上の 注意点	学習した日常生活援助は, グループで演習計画を立て演習を行い, 実習に臨む。 事前学習内容は, 実習オリエンテーション時に提示する。								

科目名	成人看護学実習Ⅱ							看護科	
学年	3年	学期	通年	分野	専門Ⅱ	時間数	90時間	単位数	2単位
科目 責任者	立岡 孝之			科目 担当者	大森 幸江, 平井 亨樹, 田中 初枝, 立岡 孝之				
科目 概要	慢性期・リハビリテーション期にある対象者の健康障害, 診断・治療についての専門的知識・技術・態度を統合した看護過程の展開を通し, 対象者および家族へのセルフケアやQOLを高めるための看護の実践能力を修得する。また, 健康を維持・増進するための看護の役割を学び, ヘルスプロモーションについての知識を修得する。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 慢性期・リハビリテーション期の対象者を身体的・精神的・社会的・霊的側面から理解することができる。 慢性期・リハビリテーション期の対象者の健康段階に応じた看護過程の展開ができる。 QOLを高め, 日常生活を円滑に行うための援助が実施できる。 健診センターの概要を理解し, ヘルスプロモーションについて考えることができる。 慢性期・リハビリテーション期の対象者との関わりを通じて, 自己の看護観を養うことができる。 								
	実習場所	実習内容					形態	担当教員	
	学内 病棟	実習期間：令和5年4月3日～5月2日（1日間） 令和5年5月8日～11月10日（10日間） 実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間） 実習先：福岡記念病院, 福西会病院 実習方法：実習前1日間, 事例によるシミュレーション演習を行い, 学生4～5名1グループとし, 10日間の病棟実習を行う。 実習の詳細：病棟で学生1名に対して慢性期・リハビリテーション期にある対象者を1名受け持ち, 機能回復・退院に向けて必要な看護を実践し, 実習記録に記載する。詳細は実習要項を参照する。					実習	立岡 大森 平井 田中	
	健診センター	実習期間：令和5年5月8日～11月10日（2日間） 実習時間：8:30～16:30（実習時間7.5時間） 実習先：福岡記念病院総合健診センター 実習方法：学生2～3名を1グループとし, 2日間の実習を行う。 実習の詳細：健診センター受診者に行われる検査について学ぶ。また, 受診者とコミュニケーションをとることで, 健康について考える機会とする。詳細は実習要項を参照する。					実習	大森 平井	
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	実習オリエンテーション時に提示する。								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。								
履修上の 注意点	病棟実習は看護過程を展開するため, 実習病棟の特徴を踏まえた疾患別, 症状別看護の学習を行っておく事。実習要項の内容を把握し, 実習に臨むこと。								

科目名	成人看護学実習Ⅲ							看護科	
学年	3年	学期	通年	分野	専門分野Ⅱ	時間数	90時間	単位数	2単位
科目 責任者	田中 初枝			科目 担当者	田中 初枝, 平井 亨樹, 菅崎奈々子				
科目 概要	<p>侵襲的治療, 健康危機状況にある対象が回復していくための専門的知識・技術・態度を統合し, 実践的に応用できる能力を養う。また, 事故や疾病により障害をもつ対象者とその家族への看護を実践する。その中で回復期における看護の役割として, 機能回復につながる日常生活動作の援助, 再発予防と健康管理, 退院支援と調整の基礎的能力を修得する。</p>								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 健康危機的状況にある対象とその家族への看護が理解できる。 回復期・リハビリテーション期を対象を身体的・精神的・社会的・霊的側面から理解できる。 回復期・リハビリテーション期の対象の回復過程に応じた看護過程の展開ができる。 対象に応じた看護が実践できる。 								
	実習場所	実習内容					形態	担当教員	
	学内 病棟	<p>実習期間：令和5年4月3日～5月2日（1日間） 令和5年5月8日～11月2日（10日間）</p> <p>実習時間：8：00～16：00（実習時間7.5時間）</p> <p>実習先：福岡記念病院, 福西会病院</p> <p>実習方法：実習前1日間, 事例によるシミュレーション演習を行い, 学生4～5名1グループとし, 10日間の病棟実習を行う。実習の詳細は実習要項を参照すること</p> <p>実習の詳細：病棟で学生1名に対して侵襲的治療を行った対象者や, 回復期にある対象者を1名受け持ち, 生体侵襲に対する看護や, 機能回復に必要な看護を実践し, 実習記録に記載する。詳細は実習要項を参照する。</p>					実習	田中 平井 菅崎	
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	<p>安酸 史子他 ナーシング・グラフィカ 24巻 健康危機状況/セルフケアの再獲得 第1版 メディカ出版 ¥3,600+税</p> <p>安酸 史子他 ナーシング・グラフィカ 25巻 セルフマネジメント 第3版 メディカ出版 ¥3,000+税</p> <p>中島 恵美子他 ナーシング・グラフィカ 26巻 周術期看護 第3版 メディカ出版 ¥3,600+税</p> <p>奥宮 暁子他 ナーシング・グラフィカ 27巻 リハビリテーション看護 第3版 メディカ出版 ¥3,600+税</p>								
教材・参考図書	高木永子 看護過程に沿った対症看護 Gakken 2010 ¥4,600+税								
オフィスアワー	実習時に適宜確認すること。								
履修上の 注意点	<p>学習内容は, 事前の実習オリエンテーション時に提示する。</p> <p>病院内での実習となるため, 自己の健康管理に努めること。</p>								

老年看護学実習（4単位 180時間）

【目的】

老年期にある対象者を理解し、既に修得した老年看護学の諸理論、知識、技術、態度に基づいた看護実践の基礎的能力を養う。

【目標】

1. 老年期にある対象者の特徴を生活機能の観点から総合的に理解することができる。
2. 老年期にある対象者の健康課題を把握し、個々に応じた看護を実践する。
3. 保健医療福祉の連携の重要性について理解できる。
4. 対象者の個人史に触れ、老年観を養う。

【構成】

老年看護学	老年看護学実習Ⅰ	老年期の特徴の理解と日常生活援助	2単位
	老年看護学実習Ⅱ	入院治療を受ける高齢者への看護	2単位

科目名	老年看護学実習 I						看護科		
学年	2年	学期	後期	分野	専門Ⅱ	時間数	90時間	単位数	2単位
科目 責任者	村田 大輔			科目 担当者	村田 大輔, 小川 美穂子, 西田 美香, 葉室 裕子 奥田 佐和				
科目 概要	加齢や疾患に伴う機能障害によって入院生活を送る高齢者を理解し, 生活を営むために必要な生活行動への影響を考え, 対象に必要とされる生活援助は何かを導き出し, 援助を実施するための専門的知識・技術・態度を統合し, 実践的に応用できる能力を養う。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 短期入所施設・デイサービスセンターを利用する高齢者の特徴を理解することができる。 2. 高齢者の生活を支える短期入所施設・デイサービスセンターの役割を理解することができる。 3. 高齢者の健康を支える関係職種との連携・協力について考えることができる。 4. 加齢に伴う高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を理解することができる。 5. 加齢や疾患に伴う機能障害による生活行動への影響を理解することができる。 6. 生活上の問題点とその人の持つ力から生活援助を導き出すことができる。 7. 個別性に応じた自立支援と生活援助を実施することができる。 								
	実習場所	授業内容					形態	担当教員	
	学内 病棟	実習期間：令和4年12月1日～1月13日（2日間） 令和5年1月16日～2月24日（7日間） 実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間） 実習先：牟田病院, 別府病院, 西福岡病院 実習方法：実習前に事例によるシミュレーション演習を2日実施後, 学生4～5名を1グループとし, 7日間の病棟実習を行う。 実習の詳細：実習要項を参照する。					実習	村田 小川 葉室 奥田	
	ショートステイ デイサービス	実習期間：令和5年1月16日～2月24日（3日間） 実習時間：9:00～17:00（実習時間7.5時間） 実習先：特別養護老人ホームサンガーデン 実習方法：学生10名を1グループとし, ショートステイとデイサービスに分かれて, 3日間の実習を行う。 実習の詳細：実習要項を参照する。					実習	小川 西田	
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	堀内ふき他 ナーシンググラフィック 老年看護学②高齢者看護の実践 第5版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	三好春樹他 完全図解 遊びリハビリテーション大全集 第1刷 講談社 森木勇一郎 楽しい! 高齢者向け人気レクリエーション 第1刷 学研パブリッシング ¥2,090(税込) 他								
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。								
履修上の 注意点	学習した日常生活援助は, グループで演習計画を立て演習を行い, 実習に臨む。 事前学習内容は, 実習オリエンテーション時に提示する。								

科目名	老年看護学実習Ⅱ							看護科	
学年	3年	学期	通年	分野	専門Ⅱ	時間数	90時間	単位数	2単位
科目 責任者	小川 美穂子			科目 担当者	小川 美穂子, 村田 大輔				
科目 概要	<p>老年期の身体的・精神的・社会的特徴をふまえ、健康を障害された入院生活を送る高齢者を理解し、専門的知識・技術・態度を統合して、対象の生活機能の傷害と程度を踏まえ対象のニーズに応じ、実践的に応用できる能力を養う。</p>								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢に伴う変化や健康障害を抱えながら入院している高齢者を理解することができる。 2. 対象の生活機能の障害と程度を踏まえ対象のニーズに応じた看護を理解することができる 3. 高齢者の退院後の生活を支える継続看護が理解できる。 4. 自己の高齢者観を深めることができる。 								
	実習場所	授業内容					形態	担当教員	
	学内 病棟	<p>実習期間：令和5年4月3日～5月2日（2日間） 令和5年5月8日～11月10日（10日間）</p> <p>実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間）</p> <p>実習先：牟田病院，別府病院</p> <p>実習方法：実習前3日間，事例によるシミュレーション演習を行い，学生4～5名を1グループとし，10日間の病棟実習を行う。</p> <p>実習の詳細：病棟実習では，学生1名に対して高齢期にある患者を1名受け持ち，機能回復・退院に向けて必要な看護を実践し，実習記録に記載する。詳細は実習要項を参照する。</p>					実習	小川 村田	
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	古川裕之他 ナーシング・グラフィカ高齢者の健康と障害 第6版 メディカ出版 ¥3,400+税								
教材・参考図書	実習オリエンテーション時に適宜紹介する。								
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。								
履修上の 注意点	<p>学習した日常生活援助は，グループで演習計画を立て演習を行い，実習に臨む。</p> <p>事前学習内容は，実習オリエンテーション時に提示する。</p>								

小児看護学実習（2単位 90時間）

【目的】

小児期の特徴を理解し、健康児と健康を障害された小児および家族に対する看護実践能力を養う。

【目標】

1. 小児各期の成長発達を理解し、発達段階に応じた日常生活の基本的援助ができる。
2. 健康障害が小児とその家族に及ぼす影響を理解できる。
3. 小児と家族の健康問題を明確にし、解決に向けての援助を実施できる。
4. 小児を取り巻く保健医療チームの役割について理解を深められる。
5. 小児の安全管理における看護師の責任を自覚し、事故防止対策に努めることができる。
6. 子どもと子どもの健やかな育成への関心を深めることができる。

【構成】

小児看護学	小児看護学実習	健康な小児の発達過程と生活習慣の獲得過程の理解	2単位
		健康を障害された小児の看護	

科目名	小児看護学実習						看護科			
学年	2年	学期	通年	分野	専門Ⅱ	時間数	90時間	単位数	2単位	
科目 責任者	谷 美佳			科目 担当者	谷 美佳					
科目 概要	小児期にある対象の健康・健康障害を把握し、個々に応じた看護を実践する。保育所において健康な小児と接することにより、年齢に応じた発達を理解し、専門的な知識・技術・態度を統合して実践的に応用し、病院において健康障害を持つ小児の看護の実際を修得する。									
到達 目標	1. 小児の成長発達を理解し、発達段階に応じた適切な日常生活援助の方法を理解することができる。 2. 小児の発達段階や健康段階に応じた安全について考えることができる。 3. 小児にとっての家族、養育者との関係について考えることができる。									
実習場所		授業内容					形態	担当教員		
保育園		実習期間：令和4年7月20日（0.5日） 令和4年7月25日～8月26日（5日間） 実習時間：8:30～16:30（実習時間7.5時間） 実習先：西新保育園 高取保育園 第2高取保育園 早緑保育園 まいづる幼稚園 実習方法：実習前に現地オリエンテーションを行い、学生6～10名を1グループとし、3日間の実習を行う。 実習の詳細：学生1人が1人の園児を通し発達状況を確認し、年齢に応じた発達をグループメンバーの学びから理解する。詳細は実習要項を参照する。					実習	谷		
学内 病棟		実習期間：令和5年4月3日～5月2日（3日間） 令和5年5月8日～11月10日（5日間） 実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間） 実習先：福岡記念病院 実習方法：実習前3日間、事例によるシミュレーション演習を行い、学生3～4名を1グループとし、5日間の病棟実習を行う。 実習の書齋：詳細は実習要項を参照する。					実習	谷		
評価方法										
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合(%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	実習オリエンテーション時に提示する。									
教材・参考図書	実習オリエンテーション時に適宜紹介する。									
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。									
履修上の 注意点	学習した日常生活援助は、グループで演習計画を立て演習を行い、実習に臨む。 事前学習内容は、実習オリエンテーション時に提示する。									

母性看護学実習（2単位 90時間）

【目的】

妊娠・分娩・産褥期における母性および新生児の身体的・心理的な特徴を理解するとともに、母性看護の基本的な実践能力を養う。

【目標】

1. 妊娠・分娩・産褥各期の経過を理解し、必要な援助ができる。
2. 新生児の生理的特性を理解し、必要な援助ができる。
3. 母性意識，母と子の絆，家族についての理解を深める。
4. 周産期から育児期における多職種連携看護の役割について理解を深める。
5. 母子とその家族への援助，周産期医療チームとの関わりを通して自己の母性看護観を深める。

【構成】

母性看護学	母性看護学実習	妊婦の看護 産婦の看護 新生児の看護 褥婦の看護 ハイリスクな状況にある母子への看護 育児期の地域母子保健と多職種連携	2単位
-------	---------	--	-----

科目名	母性看護学実習							看護科	
学年	3年	学期	通年	分野	専門Ⅱ	時間数	90時間	単位数	2単位
科目 責任者	奥田 佐和			科目 担当者	奥田 佐和				
科目 概要	周産期における母性機能および新生児の身体的特性、心理的・社会的変化を理解するとともに、妊産褥婦・新生児とその家族を対象に次世代の健全な育成に向けての適切な専門的援助技術と態度を統合し、母性看護に応用できる基本的な能力を修得する。								
到達 目標	1. 周産期における母性機能および新生児の身体的特性、心理的・社会的変化を理解する。 2. 妊産褥婦・新生児とその家族を対象に次世代の健全な育成に向けての適切な援助技術と、母性看護の基本的な実践能力を養い、自己の母性観・父性観を深める。								
	実習場所	授業内容					形態	担当教員	
	学内 病棟	実習期間：令和5年4月3日～5月2日（6日間） 令和5年5月8日～11月10日（5日間） 令和5年11月13日～14日（2日間） 実習時間：8:00～16:00, 8:30～16:30（実習時間7.5時間） 実習先：ながかわ産婦人科 大牟田市立病院 助産院 mamita 福岡市早良区保健福祉センター 実習方法：実習前6日間、事例によるシミュレーション演習を行い、学生2～4名を1グループとし、5日間の病棟実習を行う。実習終了後、事例をまとめて学びを共有する。 実習の詳細：実習要項を参照する。					実習	奥田	
評価方法									
評価指標	実習評価	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	荒木奈緒他 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術 第4版 メディカ出版 ¥2,600+税 小林康江他 ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 第1版 メディカ出版 ¥3,600+税								
教材・参考図書	実習オリエンテーション時に適宜紹介する。								
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。								
履修上の 注意点	学習した日常生活援助は、グループで演習計画を立て演習を行い、実習に臨む。 事前学習内容は、実習オリエンテーション時に提示する。								

精神看護学実習（2単位 90時間）

【目的】

精神障害のある対象者を理解し、必要な基礎知識・技術・態度を学び、看護の役割と方法を学習する。

【目標】

1. 精神に障害がある対象者を理解できる。
2. 精神に障害がある対象者の治療的環境とそれに伴う看護の役割が理解できる。
3. 看護の人権と安全を守る為に看護がどのように行われているか理解できる。
4. 精神に障害がある対象者の日常生活行動を観察し、必要な援助が理解できる。
5. 社会復帰活動における看護の役割を理解できる。
6. 精神に障害がある対象者との関わりを通して、自己の内面の変化に気づき自己洞察ができる。
7. 精神障害者の社会復帰に向けた看護の役割について考えることができる。
8. 地域社会保健福祉活動の連携と看護の役割を理解できる。

【構成】

精神看護学	精神看護学実習	精神科病棟に入院している対象者の看護	2単位
-------	---------	--------------------	-----

科目名	精神看護学実習							看護科		
学年	3年	学期	通年	分野	専門Ⅱ	時間数	90時間	単位数	2単位	
科目 責任者	葉室 裕子				科目 担当者	葉室 裕子				
科目 概要	精神の健康障害を持つ対象者のこれまでの生活を身体的、精神的、社会的な側面から捉え、人間理解をする。また、専門的な知識・技術・態度を統合し、対象者が参加している治療の目的を対象者の今後や希望から考える過程を通して、精神の健康障害を持つ対象への実践的に応用できる看護援助能力を修得する。									
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の健康障害を持つ対象者のこれまでの生活を発達段階（身体的・精神的・社会的）から理解することができる。 2. 対象者が抱える精神症状を理解し、治療的環境が持つ意味を理解できる。 3. 対象者が参加している治療に共に参加し、行われている治療の意味や目的を考えることができる。 4. 対象者との関わりの過程を通し精神の健康障害を持つ人への看護観を深めることができる。 									
	実習場所	授業内容					形態	担当教員		
	学内 病棟	実習期間：令和5年4月3日～5月2日（3日間） 令和5年5月8日～11月10日（10日間） 実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間） 実習先：のぞえ総合心療病院 虹と海のホスピタル 実習方法：実習前3日間、現地オリエンテーション・事例によるシミュレーション演習を行い、学生4～5名を1グループとし、10日間の実習を行う。 実習の詳細：実習要項を参照する。					実習	葉室		
評価方法										
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	合計		
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100		
教科書	出口禎子他 ナーシング・グラフィカ精神看護学①情緒発達と精神看護の基本 第4版 メディカ出版 ¥2,600+税 出口禎子他 ナーシング・グラフィカ精神看護学②精神障害と看護の実践 第4版 メディカ出版 ¥3,200+税									
教材・参考図書	実習オリエンテーション時に紹介する。									
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。									
履修上の 注意点	既習した全領域の学習が必要なため、自己にて積極的に学習を行うことが必要となる。精神看護学実習では対象者に必要な身体的な看護も実践するため、必要な物品は確認し準備すること。判断に困った際は、臨床指導者・指導教員へ積極的に相談を行い、問題解決をすること。体調管理には十分に留意すること。									

統合分野 臨地実習

4単位（180時間）

<ねらい>

- 地域で生活する対象者の多彩なニーズに対応する在宅ケアシステムにおける看護のあり方を学ぶ。
- 対象者の心身の健康状態の回復・維持・増進をめざす援助を体験する。
- 対象者が望む生き方，暮らし方を支え，生活の質の維持・向上について考える。
- 在宅福祉資源の利用を支援する方法を学ぶ。
- 地域保健活動の実際を理解し，地域における看護の役割と関連職種との連携について学ぶ。
- チーム医療および他職種と協働しながら，看護の実際をマネジメントする。
- 看護への探求心を高め自らの看護観を明らかにする。

<構成>

教育内容	科目	単位	時間数
統合分野	在宅看護論実習	2	90
	統合実習	2	90
合計		4	180

科目名	在宅看護論実習							看護科	
学年	3年	学期	通年	分野	統合	時間数	90時間	単位数	2単位
科目 責任者	西田 美香			科目 担当者	西田 美香				
科目 概要	地域で生活するさまざまなライフステージ・健康レベルにある人々や家族を理解し、健康を保持・増進し、QOLを向上させるための看護活動について学ぶ。また、対象を支える社会資源を知り、現状の生活をふまえた看護を実践できる専門的知識・技術・態度を統合して実践できる基礎的能力を修得する。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療機関の訪問看護・訪問看護ステーションの概要や特徴を理解する。 2. 地域で生活する療養者とその家族を理解し、ニーズに応じた援助の実際と社会資源の活用方法・関係機関・職種との連携や看護師の役割を学ぶ。 3. 介護老人福祉施設（地域密着型特別養護老人ホーム）の役割や短期入所生活介護の実際を理解し、関連職種との連携の必要性を学ぶ。 4. 病院から地域に戻り療養生活を送るために、患者とその家族の主体性を尊重しながら、退院後の療養生活への支援を行う医療職者の役割を理解する。 5. 病院での退院支援の実際から退院支援の方法や、診療所外来での在宅療養支援の実際から在宅療養支援の方法を学び、関係職種との連携、社会資源の活用方法を学ぶ。 								
	実習場所	授業内容					形態	担当教員	
	学内 訪問看護ス テーション	実習期間：令和5年4月3日～5月2日（3日間） 令和5年5月8日～11月10日（5日間） 実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間） 実習先：友田病院訪問看護リハビリステーション アップルハート訪問看護ステーション福岡西 アップルハート訪問看護ステーション博多 訪問看護ステーションひまわり 実習方法：実習前3日間、現地オリエンテーション・事例によるシミュレーション演習を行い、学生2名を1グループとし、5日間の実習を行う。 実習の詳細：実習要項を参照する。					実習	西田	
	地域連携室	実習期間：令和5年5月8日～11月10日（5日間） 実習時間：8:30～16:30（7.5時間） 実習先：福岡記念病院、福西会病院、友田病院、別府病院 実習方法：学生2名を1グループとし、5日間の実習を行う。 実習の詳細：実習要項を参照する。					実習	西田	
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	合計	
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	100	
教科書	臺有桂他編 ナッシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア 第6版 メディカ出版 ¥3,740+税 臺有桂他編 ナッシンググラフィカ 在宅看護論② 在宅療養を支える技術 第6版 メディカ出版 ¥3,180+税								
教材・参考図書	実習オリエンテーション時に適宜紹介する。								
オフィスアワー	実習オリエンテーション時に提示する。								
履修上の 注意点	学習した日常生活援助は、グループで演習計画を立て演習を行い、実習に臨む。 事前学習内容は、実習オリエンテーション時に提示する。								

科目名	統合実習							看護科	
学年	3年	学期	通年	分野	統合	時間数	90時間	単位数	2単位
科目 責任者	大森 幸江			科目 担当者	大森 幸江, 平井 亨樹, 田中 初枝, 立岡 孝之, 箱崎 奈々子				
科目 概要	臨床実践に近い形で知識・技術を統合する必要がある。卒業後、臨床現場にスムーズに適応することができるように、既習実習で学んだ内容をチーム医療及び他職種との協働の中で看護をマネジメントできる基礎的能力を修得する。また、また近い将来、死をまぬがれない対象者および家族のニーズを知り、終末期看護の基礎的能力を修得する。								
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護管理の実際を理解する。 2. 援助の優先順位の考え方と時間管理の必要性を理解する。 3. 患者の状況に応じた看護実践の実際を理解する。 4. 終末期における看護の役割りと他職種の連携の実際を理解する。 5. 看護チームの一員であることを自覚し、自らの判断・行動に対する責任を養う。 6. 看護専門職者としての自己の課題を明確にし、自己研鑽する能力を養う。 								
	実習場所	授業内容						形態	担当教員
	一般病棟	実習期間：令和5年8月2日～11月10日（5日間） 実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間） 実習先：福岡記念病院 実習方法：学生4～5名を1グループとし、5日間の実習を行う。 実習の詳細：受け持ち看護師と行動し、多重課題状況下における優先順位について理解する。詳細は実習要項を参照する。						実習	平井 田中 立岡 箱崎
	緩和病棟	実習期間：令和5年7月5日～11月10日（5日間） 実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間） 実習先：西福岡病院, 友田病院, 牟田病院 実習方法：学生2～3名を1グループとし、5日間の実習を行う。 実習の詳細：緩和ケアの実際を学ぶ。また、多職種との協働・連携について理解する。詳細は実習要項を参照する。						実習	大森
	一般病棟 シャドウイング	実習期間：令和5年8月2日～11月10日（3日間） 実習時間：8:00～16:00（実習時間7.5時間） 実習先：福岡記念病院 実習方法：遅出・師長・リーダーへ各1日間のシャドウイング実習を行う。 実習の詳細：看護管理・病棟管理について理解し、自己の課題を明確にする。詳細は実習要項を参照する。						実習	平井 田中 立岡 箱崎
評価方法									
評価指標	実習評価表	-	-	-	-	-	-	-	合計
評価割合 (%)	100	-	-	-	-	-	-	-	100
教科書	実習内容、受け持ち対象者に応じて必要なもの。								
教材・参考図書	適宜紹介する。								
オフィスアワー	火曜日 14:00～18:00								
履修上の 注意点	一般病棟実習は成人看護学実習ⅡもしくはⅢの病棟で行う。								